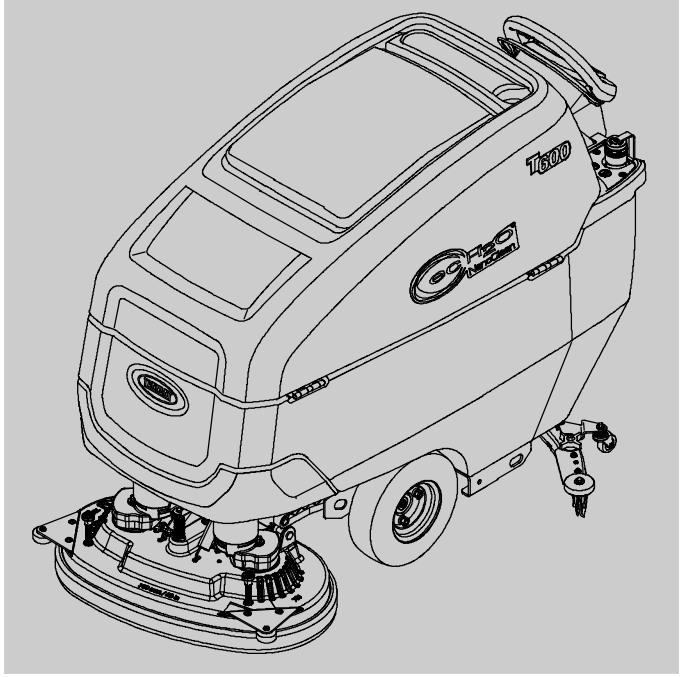
T600e/T600

歩行型スクラバー

日本語版 JP

オペレーターマニュアル



Hygenic® ハイジェニックタンク
Tennant *True*® テナント純正部品
Pro-Panel® プロパネルコントロール
Insta-Fit™ インスタフィットアダプター
Smart-Fill™ 自動バッテリー補水装置 (スマートフィル)

ec H2O® NanoClean

Japan

最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーターマニュアルについては、以下のサイトをご覧ください。
www.tennantco.com/manuals

9016639
Rev. 00 (06-2018)

はじめに

本マニュアルはそれぞれの製品に同梱されています。製品の操作やメンテナンスに必要な説明が記載されています。

本マニュアルをよく読み、本機について理解した上で操作や点検整備を行ってください。

本機は優れた機能を提供します。
最小限のコストで最良の結果を得るためには、次の事項にご留意ください。

- 本機は相応の注意を払って操作してください。
- 本機は記載されたメンテナンス手順に従って、定期的に整備してください。
- 本機はテナント社純正パーツまたは同等品を使用して整備してください。

オンラインでのマニュアルの閲覧、印刷、ダウンロードを行うには、www.tennantco.com/manuals のウェブサイトにアクセスしてください

環境の保護

梱包材やバッテリーなどの使用済部品を廃棄するときは、現地の廃棄物処理規制に従って、環境に安全な方法で廃棄してください。

必ずリサイクルしてください。

Tennant Company
テナントカンパニー
PO Box 1452
Minneapolis, MN 55440
電話番号: (800) 553- 8033
www.tennantco.com

株式会社テナントカンパニージャパン
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町2番地
産業貿易センタービル9階
電話: 81-45-640-5630
Fax: 81-45-640-5604
www.tennant.co.jp

1-STEP、Pro-Membrane、Severe Environment、Zone Settings、Quiet-ModeはTennant Companyの商標です。
TrojanおよびHydroLINKは、Trojan Battery Companyの登録商標です。
本製品には、複数の第三者ライセンスが付与されたソフトウエアの要素が含まれている可能性があります。
詳細については、次のリンクを使用してください。
www.tennantco.com/opensource
本書に記載された仕様やパーツは予告なく変更される場合があります。
オペレーターマニュアル（原本） Copyright ©2018 Tennant Company.
無断複写·転載を禁じます。

使用目的

このT600e/T600歩行型フロアスクラバーは、ホテル、学校、病院、工場、店舗、事務所やレンタル事業といった商業施設での利用を目的としています。
屋内の硬質床面（コンクリート、タイル、石、合成物質など）の洗浄用に設計されています。
本機は、カーペットの清掃や木製床のサンディング（研磨）の用途を目的としていません。
推奨パッド/ブラシおよび商用のフロアクリーナーのみを使用してください。
本オペレーターマニュアルに記載されていない方法で本機を使用しないでください。

本機のデータ

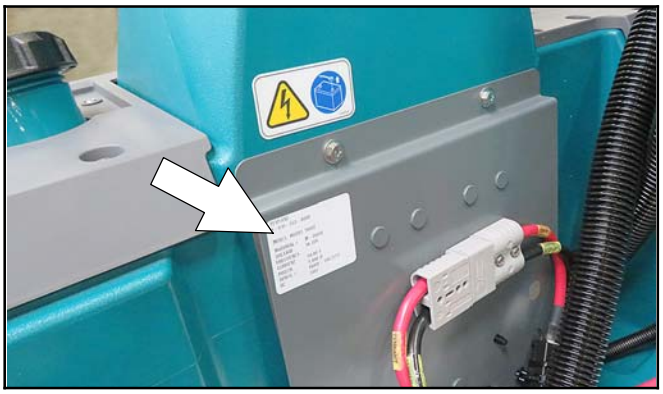
後日確認できるように、設置時に記入してください。

モデル番号 - _____

シリアル番号 - _____

設置日 - _____

シリアル番号のラベル位置



本機の開梱

本機に損傷の兆候がないか注意深く点検してください。
損傷がある場合は、直ちに輸送業者に報告してください。
欠品がある場合は、販売店またはTennant社にご連絡ください。
本機を開梱するには、ストラップ、輪留め、輸送用ブラケットを取り外します。
同梱のランプを使用して、本機をパレットから慎重に積み降ろします。
洗浄ヘッドが上がった位置にあることを確認してください。
注意：本機をパレットから積み降ろす際は必ずランプを使用してください。ランプを使用しないと本機が損傷する恐れがあります。

安全

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください 6
安全ラベル 9

操作

本機の構成 10
本機の構成 11
洗浄ヘッドのタイプ 11
コントロールパネル構成部品 12
T600eのコントロールパネルモデル 12
T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル 12
T600のPRO-PANELコントロール装備モデル . 13
本機の表示記号 14
T600のPRO-PANELの記号 14
バッテリーの据付け 15
本機の概要 16
ブラシとパッドについて 16
本機のセットアップ 17
スクイージーアセンブリーの取付け 17
-ディスクブラシ/パッドの取り付けと取り外し（ディスク洗浄ヘッドモデル） 19
オービタル用パッドの取り付け（オービタルヘッドモデル） 20
シリンダーブラシの取り付け（シリンダーブラシ洗浄ヘッドモデル） ... 20
洗浄液タンクへの注水 21
洗浄液タンクの自動充填機能の使用（オプション） 22
Severe Environment洗浄液タンクの充填（T600のec-H2Oモデルオプション） 23
ec-H2O 水質調整カートリッジ（ec-H2O モデル） 23
自動バッテリー補水タンクの充填（オプション） 24
アクセサリーレール 25
コントロールパネルの操作 25
T600eコントロールパネル 25
1-STEPボタン 25
ブラシ圧ボタン 25
洗浄液流量ボタン 26
ec-H2Oインジケーター（オプション） 26
サービスインジケーター 26
バッテリー放電インジケーター 27
自動バッテリー補水インジケーター（オプション） 27
T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネル 28
1-STEPボタン 28
ブラシ圧ボタン 28
洗浄液流量ボタン 28
Severe Environmentボタン（ec-H2Oモデルオプション） 28
Quiet-Modeボタン 29
プリセットゾーンコントロールボタン 29
ec-H2Oインジケーター（オプション） 30
サービスインジケーター 30
バッテリー放電インジケーター 30
自動バッテリー補水インジケーター（オプション） 31
スプレーノズルインジケーター（T600のオプション） 31
T600のPRO-PANELコントロール 32
ホーム画面 32
ヘルプボタン 32
ログイン画面 32
ec-H2Oインジケーター（オプション） 33
1-STEPボタン 33
ブラシ圧ボタン 33
洗浄液流量ボタン 33
Severe Environmentボタン（ec-H2Oモデルオプション） 34
最大洗浄速度ボタン 34
Quiet-Mode ボタン 34
スプレーノズルインジケーター（T600のオプション） 35
バッテリー放電インジケーター 35
ビデオチュートリアルボタン（オペレーターモードのホーム画面） 35
プリセットゾーンコントロールボタン 36
サービスインジケーターボタン 37
故障画面 37
本機の設定ボタン 38
本機の操作 39
運転前のチェックリスト 39
本機の操作 39
ダブル洗浄 41
非常停止ボタン 41
スプレーノズルの操作（T600のオプション） 41
本機の運転時 42
サーキットブレーカーパネル 42
アワーメーター 43
タンクの排水 43
汚水回収タンクの排水 43
洗浄液タンクの排水 44
サービスインジケーターコード 45
T600eモデルのサービスインジケーターコード 45
T600eのサービスインジケーターコード - 続き 46
T600モデルのサービスインジケーターコード 47
T600のサービスインジケーターコード - 続き 48
T600のサービスインジケーターコード - 続き 49
T600e/T600の搭載型充電器サービスインジケーターコード 50
T600e/T600 ec-H2Oシステムのサービスインジケーターコード - オプション 51

メンテナンス

メンテナンス表 52
本機の点検整備 53
黄色のタッチポイント 53
毎日の整備後 53
毎週の使用後 56
50時間の運転毎の整備 56
100時間の運転毎の整備 57
200時間の運転毎の整備 58
電動式モーター 58
BELTS（シリンダーブラシモデル） 58
バッテリー 59
メンテナンスフリーバッテリー 59
液式（湿式）鉛酸バッテリー 59
接続の点検/清掃 59
バッテリーの充電 60
バッテリー充電器の設定 61
定置型充電器ソケット設定: 62
バッテリーの種類の選択（T600のPro-Panelモデル） 63
HYDROLINK®バッテリー補水システム（Trojan®バッテリーオプション） 64
自動バッテリー補水システム（Trojan®バッテリーオプション ） 65
バッテリー室のドレインホース 66
スクイージーブレードの交換 66
ec-H2O 水質調整カートリッジの交換 67
本機のジャッキアップ 68
本機の後押し・輸送 69
本機の後押し 69
本機の輸送 69
本機の保管 70
凍結防止 70
トラブルシューティング 72

仕様

故障診断 -続き 73
故障診断 -続き 74
本機の一般的な寸法/容量/性能 75
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き 76
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き 76
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き 77
本機の寸法 78

管理者コントロール

管理者コントロール 81
T600eモデル 81
T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル 82
T600のPRO-PANELコントール装備モデル . 84
ユーザープロファイルの追加/編集 86
ログイン画面の有効化 87
ログイン画面の無効化 88
工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更 90

重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

下記の注意事項はそれぞれの説明に示すように、本マニュアル全体を通して使用されています。

⚠ 警告：重度の人身傷害や死亡に至る可能性がある危険性や危険行為について警告します。

安全のために：
装置の安全な操作のために従う必要がある行動を特定します。

以下の情報は、オペレーターに対して潜在的な危険を伴う状況を示します。
このような状況が存在する可能性を理解してください。 本機の安全装置の位置をすべて確認してください。
本機に損傷や誤動作が生じた場合は、
直ちに報告してください。

⚠ 警告：
発火、爆発、感電、負傷のリスクを軽減するために、次の事項にご留意ください。

- **本機の操作前にマニュアルをお読みください。**
- **引火性物質や反応金属の使用や接触を避けてください。**
- **可燃性の液体やガスまたは粉塵の近くでは使用しないでください。**

  本機には、防爆モーターは搭載されていません。電気モーターは起動時や運転時に火花を発するため、可燃性のガス/液体または粉塵が存在する工リアで本機を使用した場合、突発的な火災または爆発が生じる恐れがあります。
- **バッテリーは水素ガスを排出します。**
  爆発や発火の危険があります。
  充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
- **本機の清掃および点検整備を行う前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。**
- **破損したコードでバッテリーを充電しないでください。 プラグを改造しないでください。**

  充電器の電源コードが損傷または破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたはその代理店、あるいは専門の担当者に交換を依頼してください。
- **屋外で使用しないでください。**
  屋内に保管してください。
- **回転パッド/ブラシには手を近づけないでください。**

安全のために：

1. **以下の場合、本機を使用しないでください。**
   - **トレーニングと認定を受けていない。**
   - **オペレーターマニュアルを読んだ上でその内容を理解していない。**
   - **本機の操作手順に従う知力および体力がない。**
   - **アルコールや薬物の影響下にある。**
   - **携帯電話やその他の電子機器の使用中。**
   - **適切な動作状態にない。**
   - **屋外。**
     本機の使用は屋内用途に限定されています。
   - **可燃性の気体· 液体または粉塵が存在する場所。**
   - **テナント社純正またはテナント社認定以外のパッドまたはアクセサリーとの使用。**
     他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
   - **落下物の危険が存在する場所。**
   - **本機のコントロールを目で確認する、または本機を運転するのに必要な視界が確保できないほど暗い場所。**
2. **本機を操作する前に：**
   - **作動油の漏れを点検してください。**
   - **すべての安全装置が所定の位置にあり、適切に動作することを確認してください。**
   - **スタートペイルを引く前に方向レバーを設定してください。**
3. **本機を使用するとき：**
   - **本取扱説明書に記載されていない方法で使用しないでください。**
   - **本機に損傷や誤動作が生じた場合は、直ちに報告 してください。**
   - **つま先が覆われた、ノンスリップ (滑り止め付き) の作業靴を履いてください。**
   - **方向転換するときは速度を落としてください。**
   - **斜面や滑りやすい表面ではゆっくりと進んでください。**
   - **本機の運転中は常に周囲に注意してください。**
   - **出入り口や狭い開口部を通る際はゆっくり運転してください。**
   - **人や障害物の近くでは、スクイージーの扱いに注意してください。**
   - **本機が動いている間は、ビデオ/ヘルプ画面にアクセスしないでください。 (Pro-Panel)**

- 傾斜が2%を超える斜面で本機を使用または移動することは避けてください。
- 濡れた床に関する現場安全対策に従ってください。
- 化学薬品の混合、取り扱い、廃棄については、容器の説明に従ってください。
- 本機に同乗者を乗せないでください。
- 本機を後退させる際は十分に注意してください。
- お子様や権限のない人を本機に近づけないでください。
- 本機をおもちゃとして使用しないでください。
- 滑る危険性があるため、オフアイル洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを充填する際は、本機を放置しないでください。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを充填する際は、本機を平坦な表面に停めてください。

4. 本機から離れる前に、または本機を点検整備する前に：
   - 本機を平坦な表面に停めてください。
   - 本機の電源スイッチを切り、キーを外してください。
5. 本機を点検整備するとき：
   - 本機の点検作業を開始する前に、バッテリーの接続と充電器のコードを外してください。
   - コンセントから抜く際は、充電器コードを引っ張らないでください。
     コンセントのプラグ部分をしっかりと持って抜いてください。
   - すべての作業は必ず十分な照明と視界が確保された状況で実施してください。
   - すべての修理は訓練を受けた担当者が行ってください。
   - テナント社製またはテナント社の承認を受けた交換部品を使用してください。
   - 本機の原設計の改造は行わないでください。
   - 本機をジャッキで持ち上げる前に、タイヤ止めで固定してください。
   - 指定された位置にのみジャッキをかけて本機を持ち上げてください。
     ジャッキスタンドで本機を支えてください。
   - 本機の重量に対応するホイストまたはジャッキを使用しください。
   - オペレーターが本機を操作していない状態で、本機を押したり牽引したりしないでください。
   - ブレーキが作動していない状態で、本機を斜面で押さないでください。
   - 回転パッドなど作動中の箇所には近づき過ぎないようにしてください。
     ゆったりした衣服やアクセサリーは着用せず、髪が長い場合はまとめてください。
   - 充電器を使用しているときは、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。
     アーク放電が発生することがあります。
     充電サイクルを中断する必要がある場合は、最初にAC電源コードを外してください。
   - 互換性のない充電器を使用しないでください。バッテリーパックが損傷し、火災を引き起こす恐れがあります。
   - 充電器のコードに損傷がないか定期的に点検してください。
   - 充電器の先が濡れている場合は差し込まないでください。
   - 充電中に温度が27℃以上になった場合は、汚水回収タンクを開けてバッテリーに風を通してください。
   - 作業場の換気を良い状態に保つようにしてください。
   - バッテリー液には触れないでください。
   - バッテリー室の液体を廃棄する際は、常に現場安全規則に従ってください。
   - バッテリー取り外しの際は、現場安全規則に従ってください。
   - すべての金属製品はバッテリーのそばに置かないでください。
   - 非伝導性のバッテリー除去装置を使用してください。
   - 本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
     電気系統が故障する可能性があります。
     湿らせたウエスを使用してください。
   - バッテリーを持ち上げるときは、ホイストを使用するか、適切な援助を受けてください。
   - バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。
   - 自動バッテリー補水タンクを充填する際は、必ず蒸留水のみを使用してください。
   - 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、個人用保護具を着用してください。

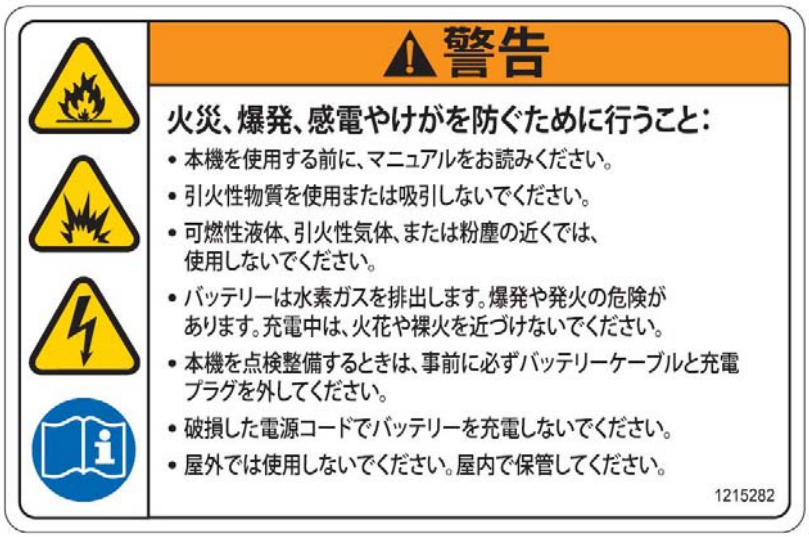

安全のために：保護手袋を着用してください。


安全のために：保護眼鏡を着用してください。

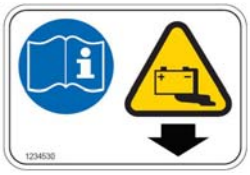
6. 本機のトラックまたはトレーラーへの積み込み/からの積み降ろしを行うとき：
   - 本機を積み込む前にタンクを空にしてください。
   - 本機および運転者の重量を支えられるランプを使用してください。
   - 滑りやすくなっているランプの上で操作しないでください。
   - ランプの上で操作する際は注意してください。
   - 本機の操作は最大2%の傾斜角度に限定してください。
   - 本機を固定用ロープで固定する前に、洗浄ヘッドとスクイージーを下げてください。
   - 本機の電源を切り、キーを外してください。
   - タイヤに輪留めを装着してください。
   - 固定用ロープで本機を固定してください。

安全ラベル

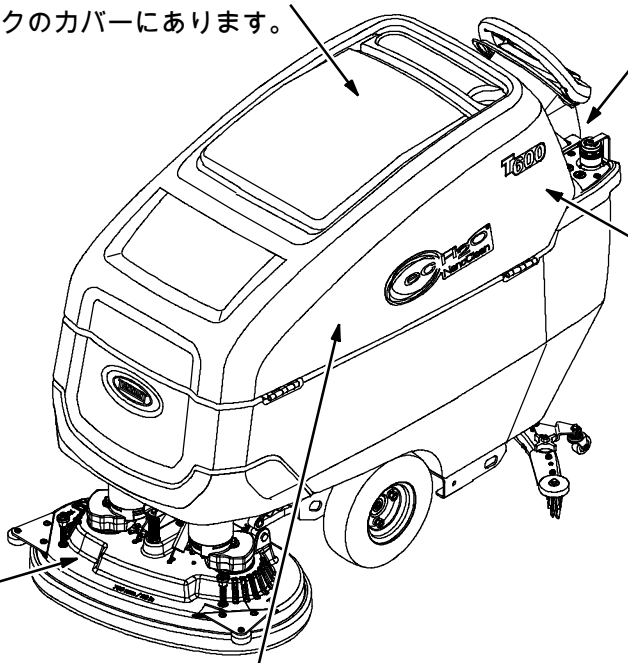
安全ラベルは、本機の以下に示す位置に貼付されています。
ラベルの欠損や破損がある、またはラベルが判読できない場合は、新しいラベルと貼り替えてください。

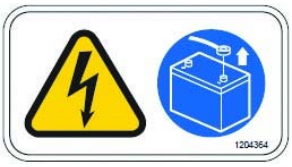


警告ラベル - 汚水回収タンクのカバーにあります。



安全ラベル -
取扱説明書をお読みください。
バッテリー室のドレインホース。
バッテリー液には触れないでください。
バッテリー室のドレインホースの上にあります。





警告ラベル - 感電の危険。
本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルを外してください。
バッテリーケーブルコネクターの上にあります。

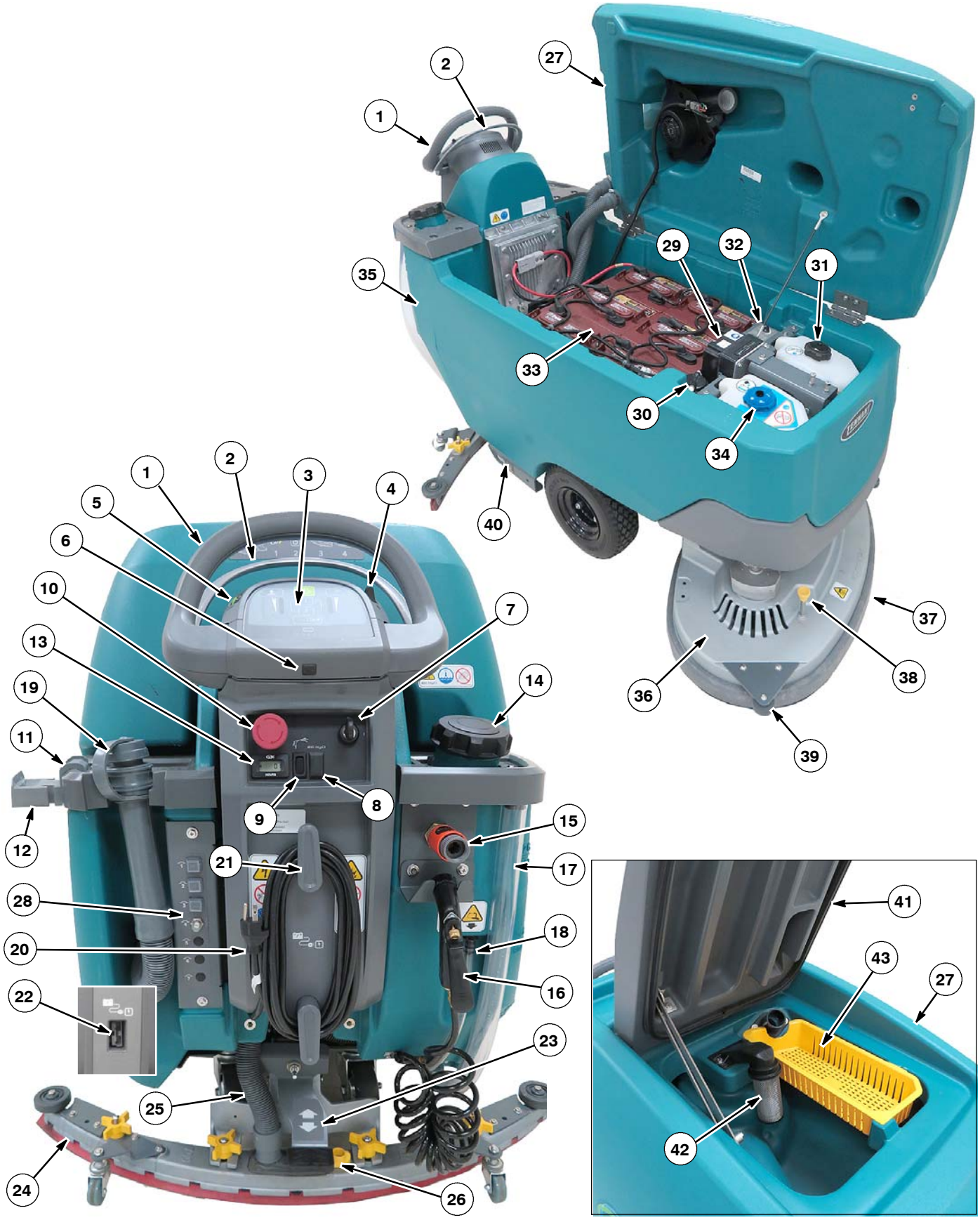


警告ラベル -
回転ブラシに手を近づけないでください。
洗浄ヘッドに貼付されています。



警告ラベル - バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。
汚水回収タンクの底面に貼付されています。

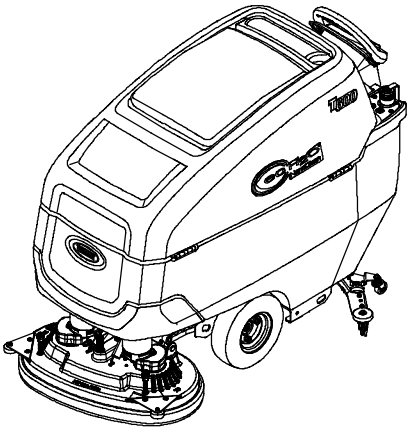
本機の構成


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43

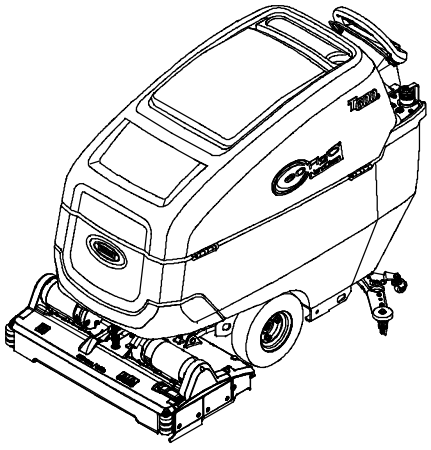
本機の構成

1. コントロールハンドル
2. 可変速度コントロールスタートペイル
3. コントロールパネル
4. 方向レバー
5. 速度調整ダイヤル
6. USBポート（保守専用）
7. キースイッチ
8. ec-H2O オン/オフスイッチ（オプション）
9. スプレーノズルスイッチ（T600のオプション）
10. 非常停止ボタン
11. アクセサリーレール
12. アクセサリーレールクリップ（オプション）
13. アワーメーター
14. 洗浄液タンク注入口
15. 洗浄液タンクの自動充填ホースポート（オプション）
16. タンク洗浄スプレーノズル（T600のオプション）
17. 洗浄液タンクレベル/ドレンホース
18. バッテリー室のドレインホース
19. 汚水回収タンクドレンホース
20. 搭載型充電器コード
21. 搭載型充電器コードフック
22. 定置型充電器ソケット
    （定置型バッテリー充電器モデル）
23. スクイージーロワー/リフトフットペダル
24. スクイージーアセンブリー
25. スクイージーバキュームホース
26. スクイージーごみ取り/ドリップトレー
27. 汚水回収タンク
28. サーキットブレーカーパネル
29. ec-H2O モジュール（オプション）
30. ec-H2O 水質調整カートリッジ
31. Severe Environment 洗浄タンク
    （T600のec-H2Oオプション）
32. 洗浄洗剤混合比率ノブ
    （T600のSevere Environmentオプション）
33. バッテリー室
34. 自動バッテリー補水タンク（オプション）
35. 洗浄液タンク
36. 洗浄ヘッド
37. 洗浄ヘッドスカート
38. パッドリリースプランジャー
39. 壁面用ローラー
40. 輸送用固定ブラケット
41. 汚水回収タンク蓋
42. 汚水回収タンクのフロート停止スクリーン
43. 汚水回収タンクごみ取りトレー

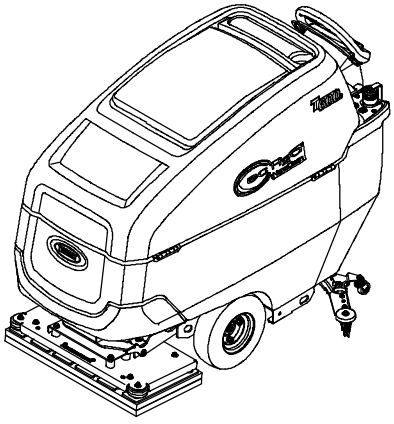
洗浄ヘッドのタイプ



700 mmデュアルディスク
800 mmデュアルディスク
900 mmデュアルディスク



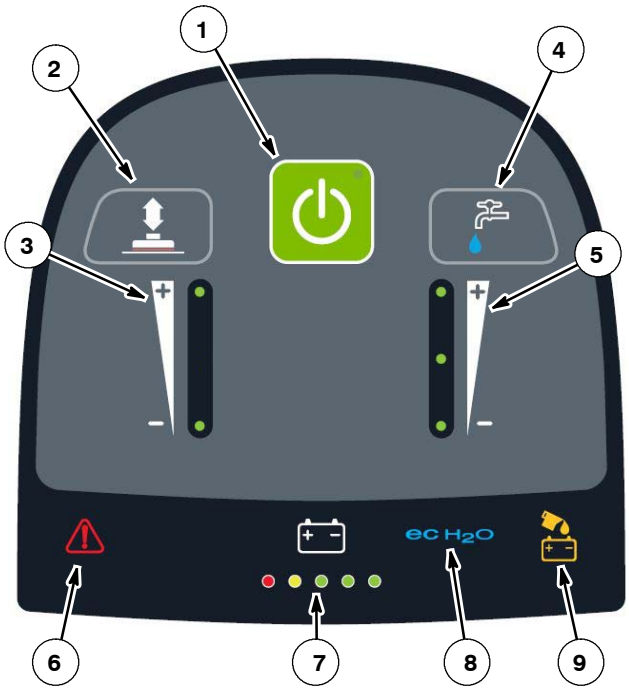
700 mmシリンダーブラシ
800 mmシリンダーブラシ



700 mmオービタル

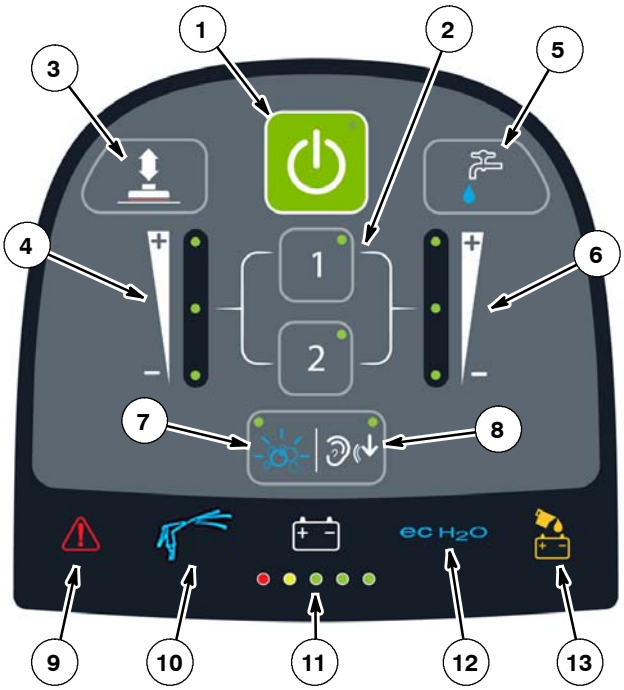
コントロールパネル構成部品

T600eのコントロールパネルモデル



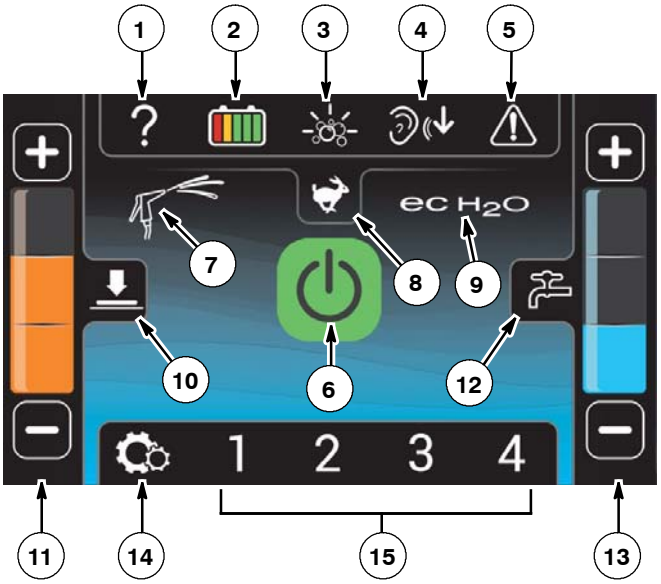
1. 1-Step ボタン
2. ブラシ圧ボタン
3. ブラシ圧インジケーター
4. 洗浄液流量ボタン
5. 洗浄液流量インジケーター
6. サービスインジケーター
7. バッテリー放電インジケーター（BDI）
8. ec-H2O インジケーター（オプション）
9. 自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル



1. 1-STEPボタン
2. プリセットゾーンコントロールボタン
3. ブラシ圧ボタン
4. ブラシ圧インジケーター
5. 洗浄液流量ボタン
6. 洗浄液流量インジケーター
7. Severe Environment ボタン（オプション）
8. Quiet-Modeボタン
9. サービスインジケーター
10. スプレーノズルインジケーター（オプション）
11. バッテリー放電インジケーター（BDI）
12. ec-H2Oインジケーター（オプション）
13. 自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

T600のPRO-PANELコントロール装備モデル



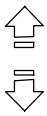
1. ヘルプボタン
2. バッテリー放電インジケーター（BDI）
3. Severe Environment ボタン
4. Quiet-Mode ボタン
5. サービスインジケーターボタン
6. 1-STEPボタン
7. スプレーノズルインジケーター（オプション）
8. 最大洗浄速度ボタン
9. ec-H2Oインジケーター（オプション）
10. ブラシ圧ボタン
11. ブラシ圧インジケーター
12. 洗浄液流量ボタン
13. 洗浄液流量インジケーター
14. 本機の設定ボタン
15. プリセットゾーンコントロールボタン

本機の表示記号


マニュアルをお読みください

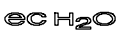

高速（駆動モデル）


低速（駆動モデル）

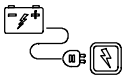

前進 / 後退（駆動モデル）

キーがオン


キーがオフ



ec-H2O 洗浄（オプション）


バッテリー充電


アクセサリーレールをつかんで本機を持ち上げないでください


足を掛けないでください


自動バッテリー補水タンク（オプション）


洗剤（ec-H2O Severe Environment オプション）


洗剤なし（ec-H2O オプション）



水温（ec-H2Oオプション）


サーキットブレーカー


高圧スプレーは使用しないでください

T600のPRO-PANELの記号


ホーム画面


左向き矢印


ログイン


コントロールに関するヘルプ


スタートアップビデオ


詳細情報


ビデオリストボタン


ビデオボタン


ビデオ回転ビュー


本機の設定


オペレーター向けビデオ


管理者メニュー


ビデオに関するヘルプ


プロファイルの追加/編集


バッテリーの選択


ログインを有効にする


ログインを無効にする


タッチのキャリブレーション


工場出荷時の状態に戻す


オペレーター


管理者


プロファイルの追加


プロファイルの編集


プロファイルのコピー

プロファイルの削除

ユーザーログイン

入力

バックスペース

バッテリーの据付け

安全のために：
バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。

⚠ 警告：バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

安全のために：
本機を点検整備する際は、必要に応じて、適切な個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

バッテリーの仕様

360Ah（20時間率容量）以下の6Vディープサイクルバッテリーが6個必要です。推奨バッテリーについては、販売店またはテナント社までご連絡ください。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げてバッテリー室にアクセスします（図1）。

注記：バッテリー室に液体がある場合、バッテリーを据付ける前にバッテリー室の液体を抜き取ってください。「バッテリー室のドレインホース」を参照してください。



図　1

2. 図に示すように、バッテリーを慎重にバッテリー室のトレーに据え付け、バッテリーポストを配置します。(図 2)
   図に示すように、バッテリーの周りにフォームスペーサーを差し込みます。

安全のために：
本機の点検整備時にバッテリーを持ち上げる際は、ホイストを使用するか、または適切な援助を受けてください。

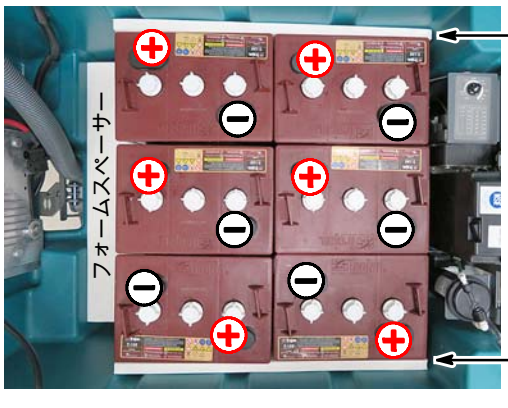


図　2

3. 供給されたバッテリーポストブーツを使用し、赤をプラス（＋）側、黒をマイナス（－）側にしてケーブルをバッテリーポストに接続します（図3）。

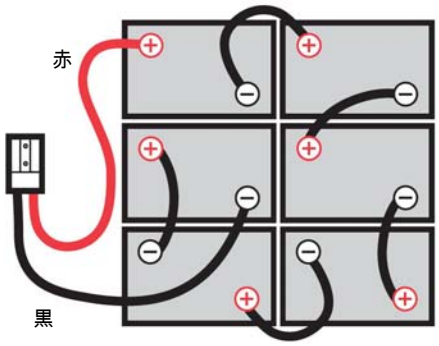


図　3

重要:
バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器と本機のバッテリー放電インジケーターがバッテリーの種類に対応するように適切に設定されていることを確認してください。 設定を誤るとバッテリーが破損します。「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

本機の概要

従来の洗浄：
従来の洗浄モードを使用する場合、
洗浄液タンクから水と洗剤の混合液が床に流れ、回転ブラシ/パッドが床を洗浄します。
本機が前進すると、真空吸引機能付きのスクイージーが汚れた洗浄液を床から吸い取り、汚水回収タンクに回収します。

ec-H2O NanoClean テクノロジー（オプション）：
ec-H2O NanoClean
テクノロジーを使用する場合、通常の水がモジュールを通過する際に水が電気分解して洗浄液に変化します。
この電解水が汚れを分解し、浮いた汚れを本機で容易に取り除くことができます。
この変換された水は、汚水回収タンクに入ると通常の水に戻ります。

ブラシとパッドについて

最良の洗浄効果を得るには、洗浄用途に適したブラシやパッドを使用してください。
以下のリストには、ブラシとパッドについての説明やそれぞれの最適な用途が記載されています。

注記：
使用するブラシまたはパッドのタイプを選択する場合、汚れの程度と種類が重要な要素になります。
具体的な推奨品については、テナント社代理店までご連絡ください。

ソフトナイロン洗浄ブラシ（白）-
表面仕上げを剥がさずに、コーティングを施した床面の洗浄用に推奨されます。
表面を擦らずに洗浄します。

ポリプロピレン洗浄ブラシ（黒） -
この汎用ポリプロピレン洗浄ブラシは、薄く堆積した汚れを洗浄する場合に使用してください。
このブラシはコンクリート製、木製、タイル製の床面のメンテナンスの用途に効果を発揮します。

スーパーアブレーシブ洗浄ブラシ（灰色）-
しみや汚れを取り除くために、研磨用の粗粒がナイロンファイバー繊維に含まれています。
あらゆる床面に強力な効果を発揮します。
蓄積された汚れ、油脂、タイヤマークに効果を発揮します。

突起付きパッドドライバー -
標準パッドドライバーは、突起付きの裏面でパッドを保持します。

研磨パッド（白）-
高度な研磨仕上げまたは光沢仕上げの床面のメンテナンスに使用します。

バフパッド（赤）-
床の表面仕上げを剥がさずに軽度の洗浄の用途に使用します。

洗浄パッド（青）-
中程度から強力な洗浄の用途に使用します。
床面の塗り直しができるよう、汚れ、染み、擦り傷を取り除きます。

ストリッピングパッド（茶） -
床の塗り直しの下準備のために、床の表面仕上げを剥がすために使用します。

ヘビーストリッピングパッド（黒）-
濃厚な表面加工や下地用塗料の強力な剥離洗浄や非常に強力な研磨洗浄の用途に使用します。

下地調整用パッド（えび茶） -
床の塗り直しの下準備のために、化学薬品を使用しない床の表面仕上げの強力な除去に使用します。

ターフ洗浄パッド（緑）-
亀裂部、ひび、深いグラウトラインのある不規則な床面の洗浄に使用します。

メラミン洗浄パッド（環状洗浄ヘッドモデル）-
床面から黒い汚れを取り除き、タイルをきれいにする連続気泡ポリマーフォームで作られています。

本機のセットアップ

スクイージーアセンブリーの取付け

洗浄ヘッドとスクイージーアセンブリーは、サイズによって識別されます（図4）。
特定の洗浄ヘッドのサイズに対するスクイージーアセンブリーのサイズについては、下記テーブルを参照してください。



図　4

洗浄ヘッドのサイズ	標準のスクイージーのサイズ	狭い通路用のスクイージーのサイズ
700 mmディスク	650 mm	データなし
800 mmディスク	700 mm	650 mm
900 mmディスク	800 mm	700 mm
700 mmシリンダー	650 mm	データなし
800 mmシリンダー	700 mm	650 mm
700 mm環状	650 mm	データなし

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. スクイージー取り付けブラケットを上昇位置まで持ち上げます。
   ペダルの下に足を入れて持ち上げます（図5）。



図　5

2. スクイージーアセンブリーをスクイージー取り付けブラケットに取り付けます（図6）。
   ノブをしっかりと締めて、スクイージーアセンブリーをブラケットに固定します。

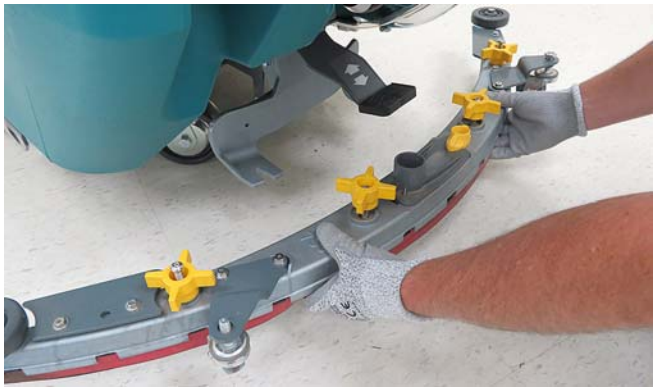


図　6

3. バキュームホースをスクイージーアセンブリーに接続します（図7）。

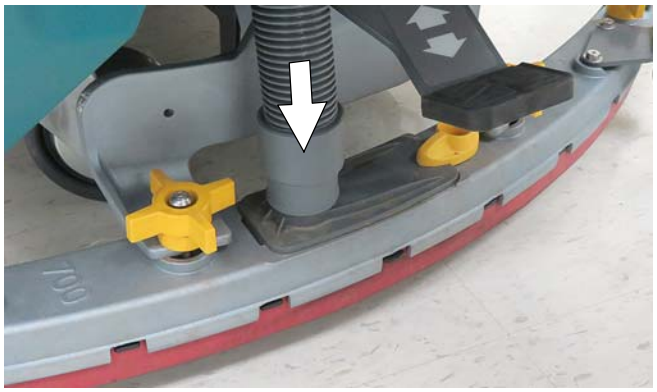


図　7

4. スクイージーブレードの反りが適正かを点検してください。
   スクイージーを床に下ろし、本機を前に少し進めます。
   図に示すように、リヤブレードがスクイージー全体で均等に反り返ります（図8）。
   スクイージーキャスターが通常の位置にあることを確認してください。

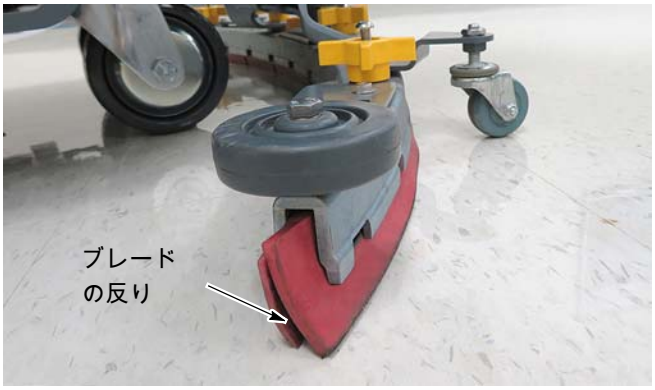


図　8

5. ブレードの反りを適正に調整するには、キャスターの固定ナットを緩め、キャスターの高さを82.7 mmに調整します（図9）。
   固定ナットを再度締め付け、他のキャスターに対してこの手順を繰り返します。

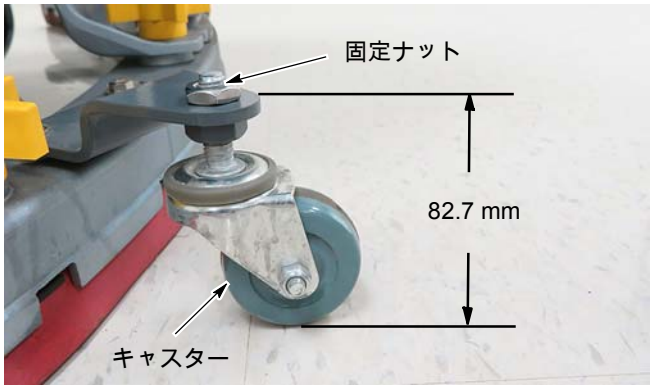


図　9

6. キャスターを適切に調整した後にスクイージーブレードがスクイージー全体で均等に反り返らない場合は、ブレードピッチの調整にずれがある可能性があります（図10）。

注記：
ブレードピッチの調整は出荷時に設定されているため、これ以上の調整は必要ないはずです。
しかし、ブレードの先端部がスクイージーの中心より高いか低い場合は、ブレードピッチの調整が必要です。

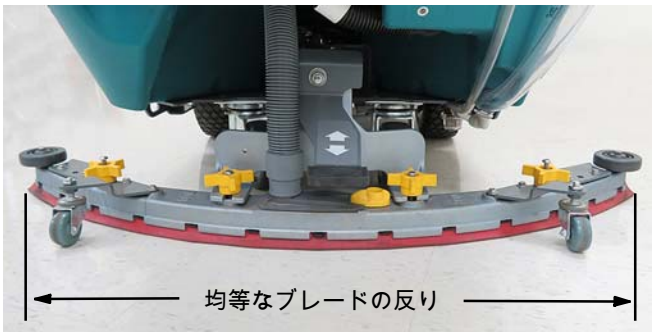


図　10

7. ブレードピッチを再調整するには、調整シャフトの固定ナットを緩め、シャフトを反時計回りに回転させてスクイージーの先端部を上げるか、時計回りに回転させてスクイージーの先端部を下げます（図11）。 7 mmと17 mmのレンチが必要です。

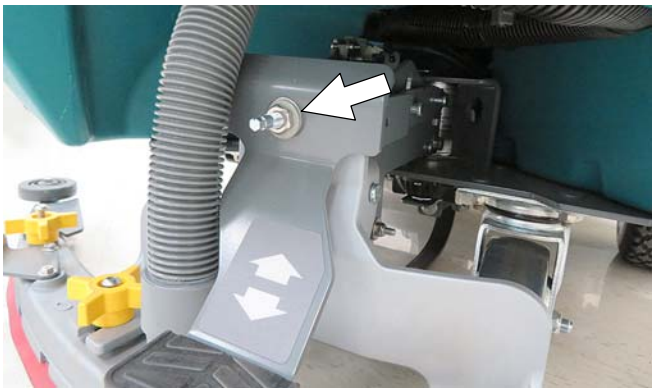


図　11

ディスクブラシ/パッドの取り付けと取り外し（ディスク洗浄ヘッドモデル）

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. ドライバーを取り付ける前に、パッドをパッドドライバーに取り付けてください。
センターロックでパッドを固定します（図12）。



図　12

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。
他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

3. ブラシを簡単に取り付けられるように、黄色のスプリングクリップを開の位置に合わせます。
スプリングクリップを一緒に押してから下向きに押し、固定します（図13）。

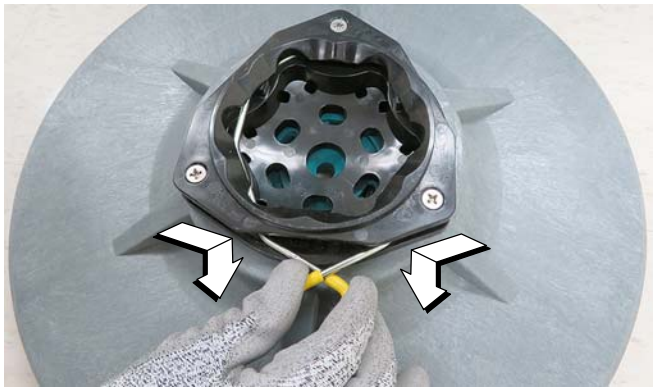


図　13

4. パッドドライバーまたはブラシをモーターハブの下に配置し、上向きに押しながらハブにかみ合わせて固定します（図14）。

清掃効果がなくなった、またはディスクブラシの毛先が摩耗して黄色のインジケーターが点灯したら、パッドまたはブラシを交換してください（図14）。

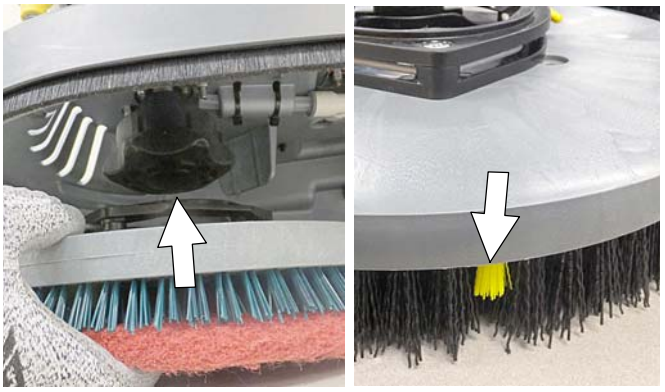


図　14

5. パッドドライバー/ブラシを取り外すには、洗浄ヘッドを上げ、黄色のパッドリリースプランジャーを下向きに押します。図15）
パッドが床に落ちます。

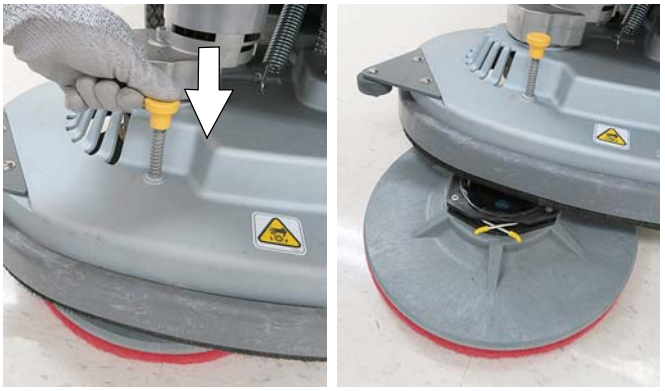


図　15

オービタル用パッドの取り付け
（オービタルヘッドモデル）

最良の洗浄効果を得るために、またパッドライバープレートや床面の損傷を防ぐために、常にワークパッドにバッカーパッドを使用してください（図16）。

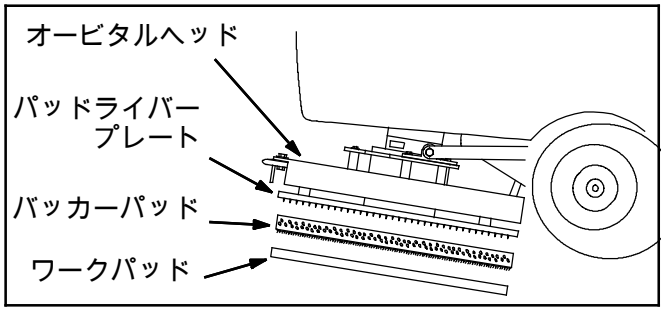


図　16

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

安全のために：
本機には、テナント社製純正のパッドまたはテナント社認定のパッド以外を使用しないでください。
他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。

2. バッカーパッドと固定ひもの表を下向きにして、ワークパッドに取り付けます（図17）。



図　17

3. 2つのパッドを洗浄ヘッドの底部に取り付けます（図18）。
パッドが洗浄ヘッドの中心に取り付けられていることを確認してください。

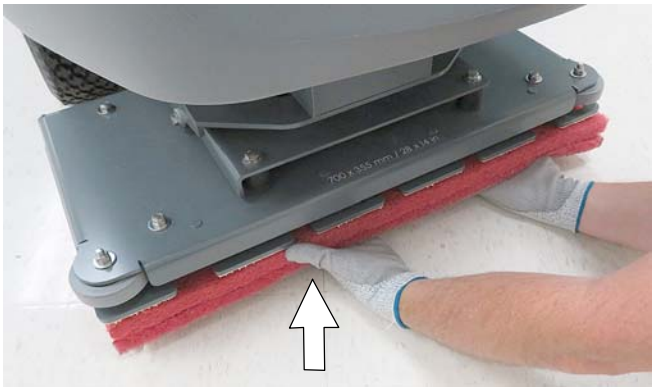


図　18

シリンダーブラシの取り付け
（シリンダーブラシ洗浄ヘッドモデル）

1. 洗浄ヘッドを床から上げて、キーを外します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. 黄色のラッチを外して、アイドラープレートを洗浄ヘッドから取り除きます（図19）。



図　19

3. アイドラープレートを2列の毛ブラシの付いたブラシの端に取り付けます（図20）。



図　20

4. ブラシをドライブハブに配置し、ラッチを留め直します（図 21）。

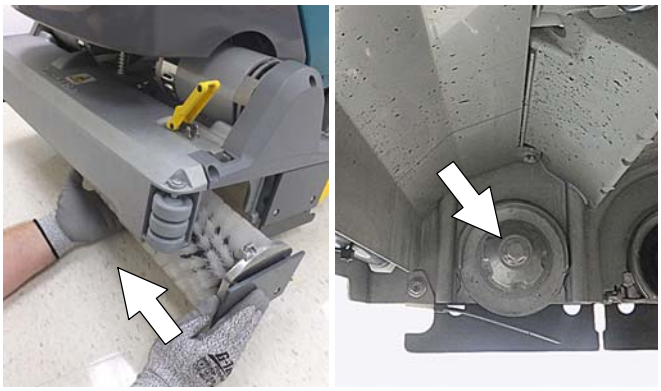


図　21

洗浄液タンクへの注水

安全のために：

本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 洗浄液タンクからキャップを取り外します。
   黄色のストレーナーに注水ホースを差し込みます。
   ストレーナーの底面にあるリブにより、給水中にホースが所定の位置に固定されます（図22）。



図　22

2. 水位が洗浄液タンクインジケーターの「32 G/120 L」の印に達するまで注水します（図23）。

ec-H2O 洗浄（オプション）-

洗浄液タンクには、きれいな冷水（21℃以下）のみを充填してください。
従来タイプの床用洗剤を追加しないでください。
洗剤を追加すると、ec-H2O
システムが故障する可能性があります。

従来の洗浄 -

洗浄液タンクに水を入れます（水温は60℃を越えないこと）。
容器に記載された混合比率に従って、推奨される洗剤を洗浄液タンクに注入してください。



図　23

注意：
従来の洗浄を行う場合、推奨する洗剤のみを使用してください。
不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

⚠ 警告：
引火性物質は、爆発や火災の原因になります。
タンクに引火性物質を入れないでください。

注記：
従来タイプの洗浄洗剤を洗浄液タンクに入れた状態で、ec-H2O システムを使用しないでください。 ec-H2O システムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜いて洗浄してから、きれいな冷水を補充してください。
従来タイプの洗剤が原因でec-H2Oシステムが故障する可能性があります。

3. 給水を終了し、黄色のストレーナーから注水ホースを取り外します。
4. 洗浄液タンクのキャップを元に戻します。

洗浄液タンクの自動充填機能の使用（オプション）

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 取り外し簡単な自動充填カプラを給水ホースに接続し、ニップルコネクターを本機に接続します（図24）。



図　24

2. 取り外し簡単なカプラをカチッと音がするまでニップルコネクターに押し込みます（図25）。
タンクに注水中にホースがタンクから抜けることを防止するために、カプラのカラーを時計回りに回して接続をロックします。

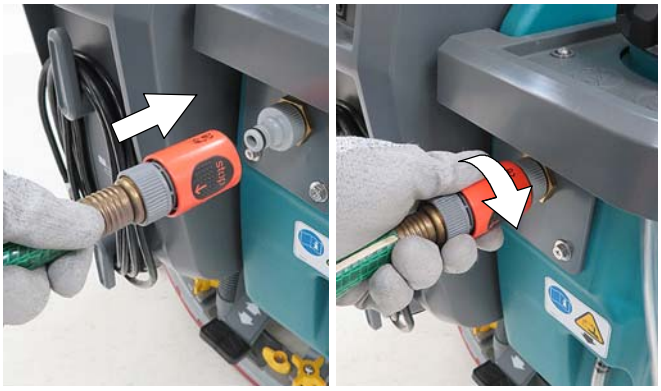


図　25

3. 自動充填オプションを使用して洗浄液タンクに注水する前に、洗浄液タンクのキャップがしっかりと固定されていることを確認してください（図26）。



図　26

4. 給水を開始します。
給水の流れは洗浄液タンクが満杯になると自動的に停止します。

安全のために：
本機を操作する際、自動充填機能を使用して洗浄液タンクの充填中は本機を放置しないでください。

5. 洗浄液タンクが満杯になったら、給水を停止します。。
6. カプラのカラーを左に回して接続のロックを解除します。
次に、カプラを手前に引いて本機から接続を外します（図27）。

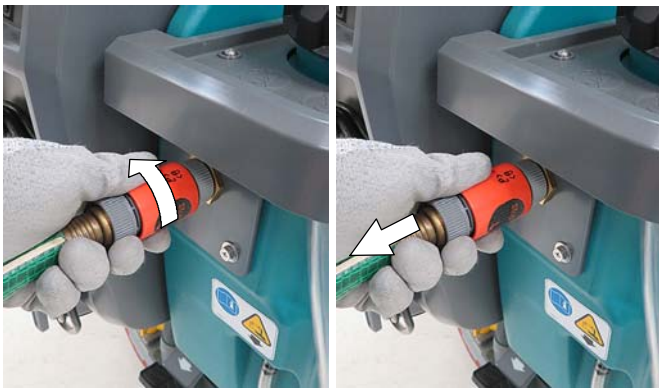


図　27

7. 取り外し簡単な自動充填カプラを給水ホースから取り外し、安全な場所に保管します。

Severe Environment洗浄液タンクの充填（T600のec-H2Oモデルオプション）

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げてSevere Environment洗浄液タンクにアクセスします（図28）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。



図　28

2. 洗浄液タンクから黒色のキャップを外し、推奨洗浄洗剤を希釈せずに追加します（図29）。
   水を追加しないでください。
   漏斗を使用して、液体が下のスクラブヘッドモーターにかからないようにします。



図　29

警告：
引火性物質は、爆発や火災の原因になります。
タンクに引火性物質を入れないでください。

注意： Severe Environment
タンクには商業用の承認を受けた洗浄洗剤のみを使用してください。
d-リモネンベースの洗剤は使用しないでください。
不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

注記：
操作中に洗剤が切れることを防ぐため、洗浄液タンクの充填時に Severe Environment タンクも充填することを推奨します。

3. 洗浄液タンクのキャップを締めます。
4. 洗浄洗剤に記載された混合比率に従って、洗浄剤の混合比率ノブを調整します（図30）。



図　30

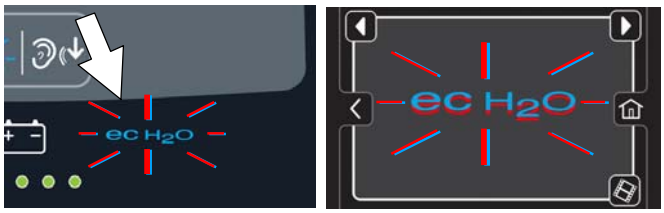
ec-H2O 水質調整カートリッジ（ec-H2O モデル）

ec-H2O
システムには水質調整カートリッジが装備されています（図31）。
カートリッジは本機の配管系統のスケール付着を防止するように設計されています。
カートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。
本機の使用状況や取り扱い方によりますが、新しいカートリッジの耐用期間は12～24ヶ月です。



図　31

カートリッジの交換が必要になると、コントールパネルは以下のコードでお知らせします（図32）。
ec-H2Oアイコンが青色と赤色に交互に点滅します。
詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。



Pro-Membraneモデル　Pro-Panelモデル

図　32

カートリッジには製造日が記載されています。
未使用のカートリッジの品質保持期間は製造日から1年です。
新しいカートリッジに交換した際には、ec-H2Oモジュールのタイマーをリセットしてください。「ec-H2O水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

注意：本機を初めて使用するとき、また水質調整カートリッジの交換後は、ec-H2Oシステムによって選択した洗浄液流量の設定が自動的に最長75分間無効になります。

自動バッテリー補水タンクの充填（オプション）

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1. 汚水回収タンクを持ち上げて自動バッテリー補水タンクでの操作ができるようにします（図33）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。



図　33

2. 自動バッテリー補水タンクから青色のキャップを外します（図34）。
3. 蒸留水をタンクに注入します（図34）。
   漏斗を使用して、液体が下のスクラブヘッドモーターにかからないようにします。

安全のために：
本機を操作する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

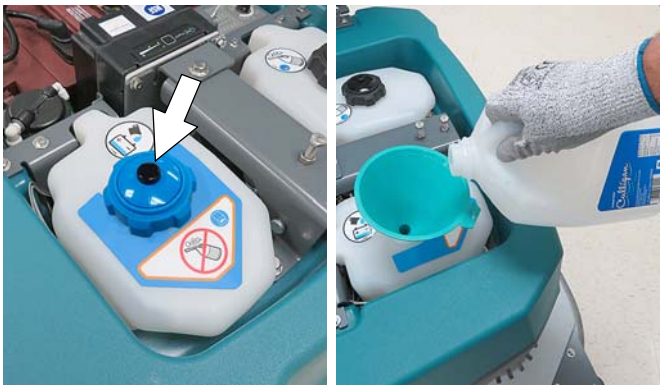
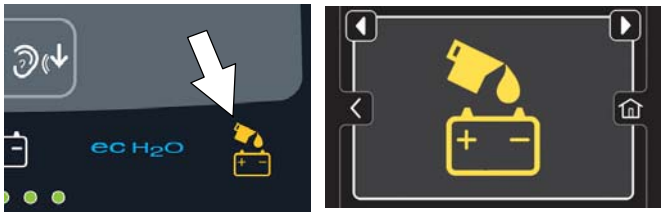


図　34

4. タンクの再充填が必要になると、ユーザーに蒸留水の追加を促す自動バッテリー補水インジケーターが点滅します（図35）。
   詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。



Pro/Membraneモデル　Pro-Panelモデル

図　35

アクセサリーレール

本機にはコントロールコンソールをまたぐアクセサリーレールが2個装備されています。
オプションのアクセサリーレールクリップには、濡れた床に注意の看板、スプレーボトル、ダストバッグなどを収納できます（図36）。



図　36

アクセサリーレールクリップを取り付けるには、クリップをレールにかけ、クリップが固定されるまで下向きに押します。
クリップを取り外すには、クリップの下側を持ち、レールから外れるまでラッチタブを慎重に下に引きます（図37）。

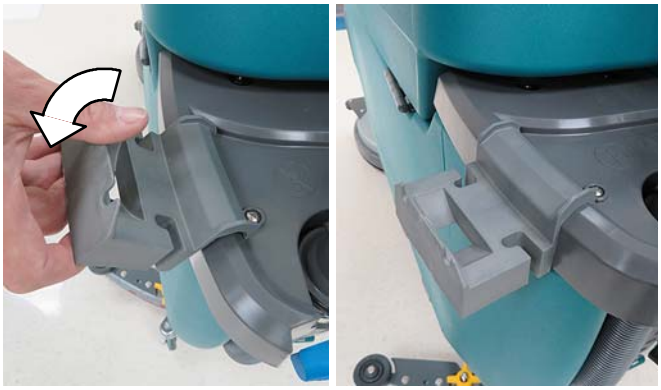


図　37

注意：アクセサリーレールを使用して本機を持ち上げないでください。本機を損傷する恐れがあります。

注意：アクセサリーレールに足を掛けないでください。本機を損傷する恐れがあります。

コントロールパネルの操作

コントロールパネル操作では、管理者コントロール機能を使用して、ロックアウト機能を設定できます。この機能は、オペレーターによる設定の変更や保存を防止します。
マニュアルの裏面に記載された「**管理者コントロール**」を参照してください。
管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で再現可能な清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を短縮できます。

T600eコントロールパネル

1-STEPボタン

キーの電源スイッチがオンの状態で 1-STEP ボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図38）。洗浄ヘッドが床へと下がります。
洗浄動作を停止させて、洗浄ヘッドを上げるには、ボタンをもう一度押します。



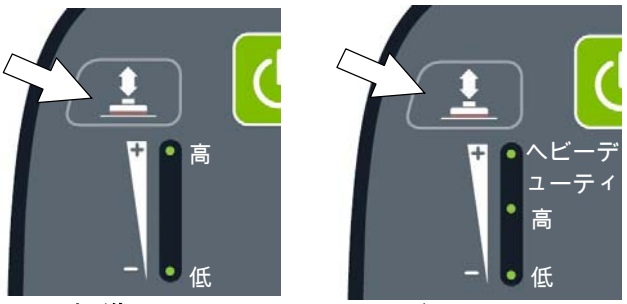
図　38

ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧を増減します（図39）。ブラシ圧LEDインジケーターに圧力設定が表示されます。

標準モデル:
LED 1個 = 低圧、LED 2個 = 高圧。

ヘビーデューティ用接地圧モデル:LED 1個 = 低圧、LED 2個 = 中圧、LED 3個 = ヘビーデューティ用接地圧。



標準モデル　**ヘビーデューティ**

図　39

洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押して洗浄液の流量を増減します（図40）。
洗浄液流量インジケーターに洗浄液の流量設定が表示されます。
LED消灯 = 流量なし、LED 1個 = 低流量、LED 2個 = 中流量、LED 3個 = 高流量。

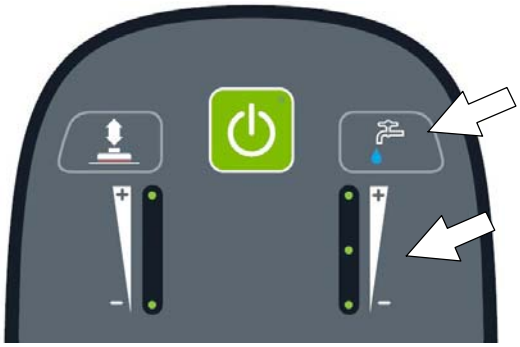


図　40

ec-H2Oインジケーター（オプション）

ecH2Oシステムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。
青色のec-H2Oインジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます。
ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oスイッチを押します。
青色のec-H2Oインジケーターが消えます（図41）。

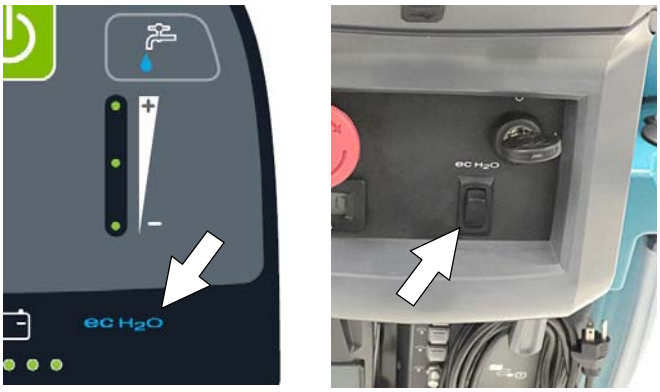


図　41

注記： ec-H2O
システムで異常が発生した場合、本機は ec-H2O システムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。
ec-H2Oの故障が修復するまでサービスインジケーターのアイコンは赤色に点灯し続けるか赤色に点滅し続けます。

ec-H2O インジケーター	状態
青色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	システム障害が発生しました。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

サービスインジケーター

本機または搭載充電器が故障を検出すると、サービスインジケーターが点灯した後、点滅し始めます（図42）。
バッテリー放電インジケーターライトも故障コードを点滅します。
本機の故障診断については「サービスインジケーターコード」を参照してください。

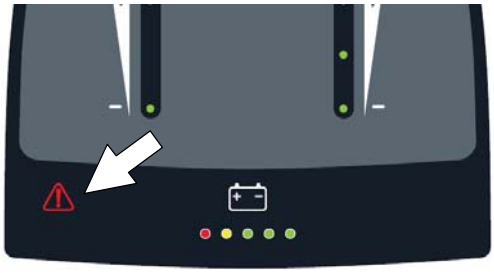


図　42

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図43）。
放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
つまり、ユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

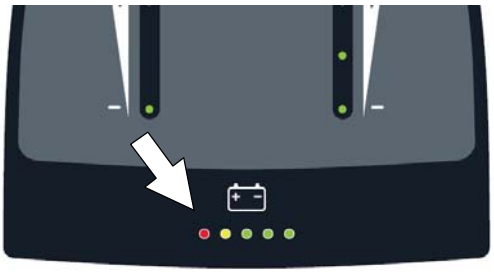


図　43

自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

自動バッテリー補水（ABW）インジケーターは、バッテリー補水タンクが空になり、補水が必要になるとオンになり、点滅し始めます（図44）。

タンクが再充填されない場合、バッテリーの損傷を防止するために、本機の洗浄機能は10時間の連続運転後に停止します。
インジケーターが高速点滅すると、洗浄機能が停止します。
蒸留水を追加して、キースイッチで再始動するとインジケーターの点滅が止まります。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

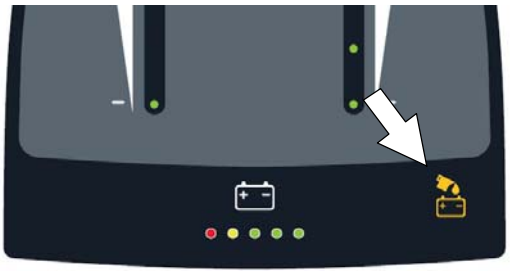


図　44

ABWインジケーター	状態
点滅	ABWタンクが空です。 タンクを充填し、キーを再始動させます。
ソリッド	ABWシステムがバッテリーに水を補充しようとしましたが、バッテリーがすでにいっぱいであるか、注水ホースがねじれています。 ねじれていないか確認してください。 キーを再始動させてください。
急速点滅	ABWタンクが空である状態が長すぎたため、洗浄機能が無効になっています。 タンクを充填し、キーを再始動させます。

T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネル

1-STEPボタン

キーの電源スイッチがオンの状態で 1-STEP ボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図45）。洗浄ヘッドが床へと下がります。
洗浄動作を停止させて、洗浄ヘッドを上げるには、ボタンをもう一度押します。



図　45

ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧を増減します（図46）。
ブラシ圧LEDインジケーターに圧力設定が表示されます。

標準モデル: LED 1個 = 低圧、
LED 2個 = 中圧、LED 3個 = 高圧。



ヘビーデューティ用接地圧モデル:

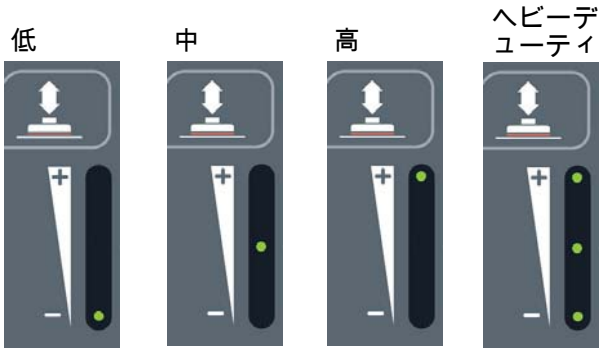


図　46

注記： ブラシ圧が洗浄条件に対して高すぎる圧力に設定されている場合、より低いブラシ圧の設定に自動的に変わり、インジケーターが点滅し始めます。
点滅中の LED
は、ブラシモーターの過負荷を防止するためにブラシ圧の設定を低下させるように、オペレーターにアラートを通知します。

洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押して洗浄液の流量を増減します（図47）。
洗浄液流量インジケーターに洗浄液の流量設定が表示されます。
LED消灯 = 流量なし、LED 1個 = 低流量、LED 2個 = 中流量、LED 3個 = 高流量。



図　47

Severe Environmentボタン （ec-H2Oモデルオプション）

Severe Environmentボタンを押すと、
蓄積された頑固な汚れのある工リアに対して洗浄洗剤の強化された効果が発揮されます
（図48）。

ボタンを1回押すと、30秒間ほど散布が増強されます。
散布時に隅にある緑色のLEDがゆっくりと点滅します。
最後の5秒間はLEDが速く点滅し、散布がまもなく終了することを通知します。

洗浄剤散布の増強を継続させるには、緑色の LED が緑色の点灯に変わるまで、ボタンを2秒間押し続けてください。
ボタンを押すといつでも停止できます。

タンクが空になると、気泡アイコンが 15 秒間点滅して、ユーザーにアラートを通知します。
タンクが空の状態でボタンが押された場合は、タンクが再充填されるまで気泡アイコンが15秒間点滅し続けます。

注記： Severe Environment モードがオンになると、ec-H2Oシステムは自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量は「高」の設定に上がります。
オフになると元の設定に戻ります。 Severe Environmentモードを長期間作動させる場合、必要に応じて洗浄液の流量と接地圧をより低い設定に変更すると洗浄液と洗剤の使用量が抑えられ、バッテリーの稼働可能時間を最適化できます。

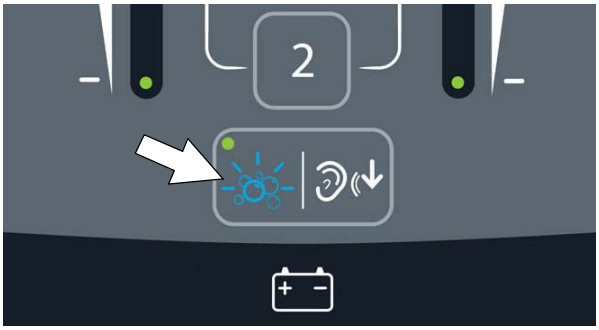


図　48

Quiet-Modeボタン

Quiet-Modeボタンを押すと、バキュームモーター音が下がります。
設定が有効になると隅にある緑色のLEDが点灯します。 ボタンを押してオフにします。（図49）

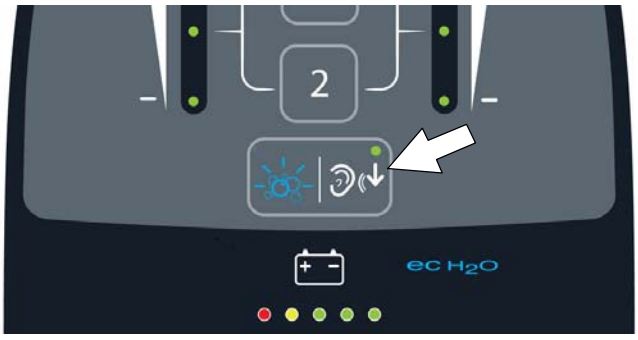


図　49

プリセットゾーンコントロールボタン

ゾーンコントロールボタンを使用して、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択して、最大3つのゾーンをプリセットします（図50）。

ゾーン 1 =
プリセットゾーンコントロールボタン 1
ゾーン 2 =
プリセットゾーンコントロールボタン 2
ゾーン 3 =
プリセットゾーンコントロールボタン 1 と 2

ゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。
設定が有効になると隅にある緑色のLEDが点灯します。 ゾーン 3 を使用するには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押してください。

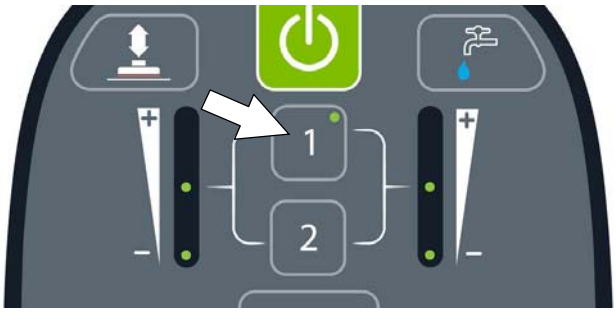


図　50

ゾーンコントロールボタンを異なる洗浄用途向けにプリセットするには、以下のリストから希望する設定を選択して、緑色の LED が3回点滅するまでゾーンボタンを押し続け、プリセットの設定を保存します。 ゾーン 3 をプリセットするには、ゾーンボタン 1 と 2 を同時に押し続けてください。

- ブラシ圧の設定
- 洗浄液の流量
- Quiet-Mode のオン/オフ
- ec-H2Oシステムのオン/オフ（オプション）
- Severe Environmentモードのオン/オフ（T600のオプション）
- 最大洗浄速度（管理者コントロール」を参照してください）

注記： Severe Environment モードとec-H2Oシステムを組み合わせたプリセットはできません。

ec-H2Oインジケーター（オプション）

ecH2Oシステムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。
青色のec-H2Oインジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます。
ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oスイッチを押します。
青色のec-H2Oインジケーターが消えます（図51）。

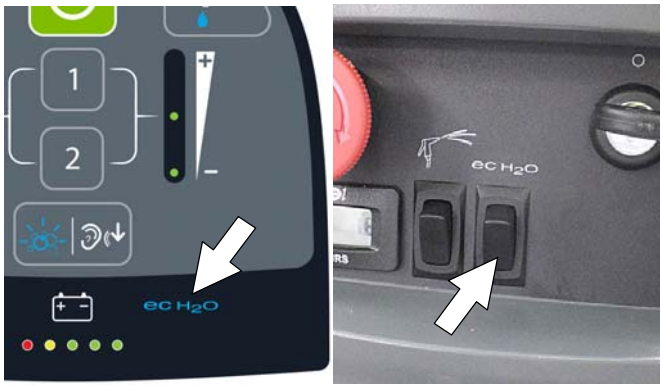


図　51

注記：
ec-H2Oシステムで障害が発生した場合、本機はec-H2Oシステムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。
ec-H2Oの故障が修復するまでサービスインジケーターのアイコンは赤色に点灯し続けるか赤色に点滅し続けます。

ec-H2O インジケーター	状態
青色の点灯	正常な動作状態
青色/赤色の点滅	水質調整カートリッジの有効期限が経過しました。カートリッジを交換してください。
赤色の点灯または点滅	システム障害が発生しました。「サービスインジケーターコード」を参照してください。

サービスインジケーター

本機または搭載充電器が故障を検出すると、サービスインジケーターが点灯した後、点滅し始めます（図52）。
バッテリー放電インジケーターライトも故障コードを点滅します。
本機の故障診断については「サービスインジケーターコード」を参照してください。

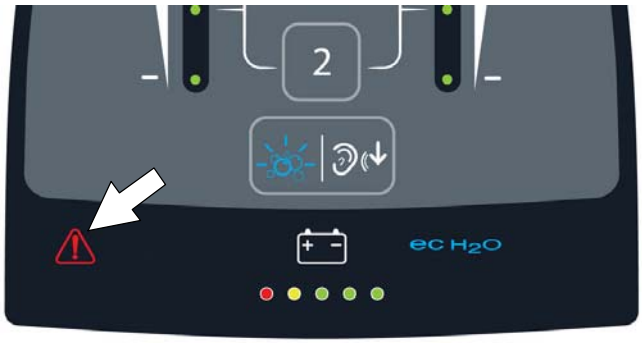


図　52

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図53）。
放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
つまり、ユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

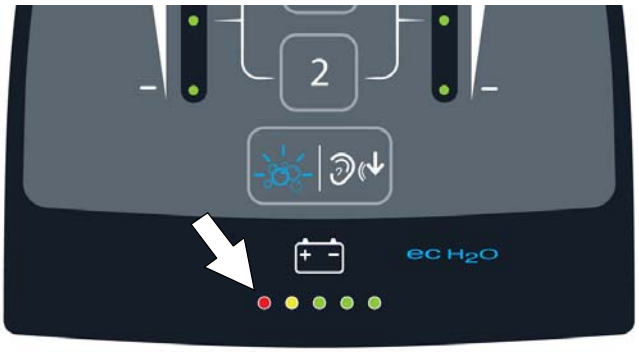


図　53

自動バッテリー補水インジケーター（オプション）

自動バッテリー補水（ABW）インジケーターは、バッテリー補水タンクが空になり、補水が必要になると点滅します（図54）。

タンクが再充填されない場合、バッテリーの損傷を防止するために、本機の洗浄機能は10時間の連続運転後に停止します。

インジケーターが高速点滅すると、洗浄機能が停止します。

蒸留水を追加して、キースイッチで再始動するとインジケーターの点滅が止まります。

「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。



図　54

ABWインジケーター	状態
点滅	ABWタンクが空です。 タンクを充填し、キーを再始動させます。
ソリッド	ABWシステムがバッテリーに水を補充しようとしましたが、バッテリーがすでにいっぱいであるか、注水ホースがねじれています。 ねじれていないか確認してください。 キーを再始動させてください。
急速点滅	ABWタンクが空である状態が長すぎたため、洗浄機能が無効になっています。 タンクを充填し、キーを再始動させます。

スプレーノズルインジケーター（T600のオプション）

スプレーノズルインジケーターは、スプレーノズルのスイッチが押されると表示されます（図55）。

このスイッチを押すと、スプレーノズルポンプが始動し、使用中は本機の走行が停止します。

スタートベイルを引くと、スプレーノズルインジケーターが点滅して、スプレーノズルポンプが始動されたことを知らせます。

スイッチをもう一度押して、スプレーノズルポンプをオフにします。

「スプレーノズルの操作」を参照してください。

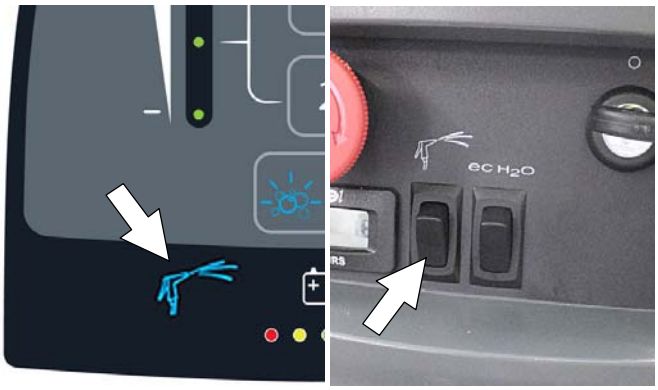


図　55

T600のPRO-PANELコントロール

ホーム画面

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

工場出荷時の初期状態では本機は管理者モードで始動します。

管理者モード -
すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対して許可と制限やログイン機能を設定することができます。

オペレーターモード -
管理者によって制御された許可と制限の下で本機を運転することができます。

オペレーターモードに対する許可と制限やログイン機能を使用してホーム画面を設定するには、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

管理者モードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスすることができます（図56）。

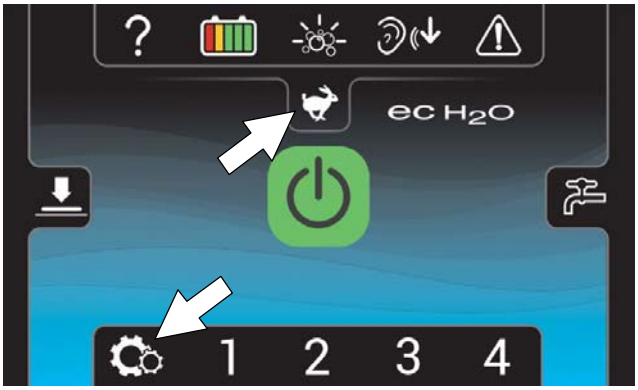


図　56

オペレーターモードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます（図57）。



図　57

ヘルプボタン

初めて本機を使用するユーザーは、ヘルプボタン（？）を押してヘルプ画面にアクセスできます。
ヘルプ画面では、画面上に表示する異なる言語の選択、ログイン設定の有効化、コントロールパネルのアイコンの識別、本機のスタートアップビデオの参照、本機のシステム情報へのアクセスを行うことができます（図58）。

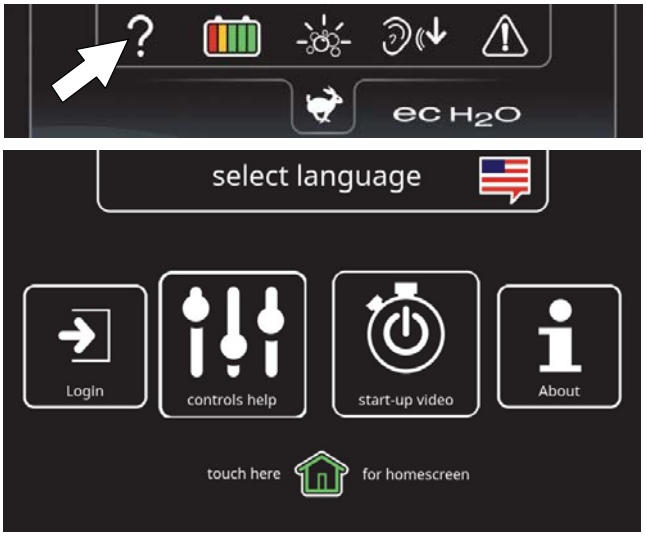


図　58

ログイン画面

管理者モードのログインが有効になっている場合、キースイッチでの始動時にログイン画面が表示されます（図59）。
割り当てられたログインコードを入力し、緑色の矢印を押して、ホーム画面にアクセスします。
始動時にログインを有効化する方法については、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

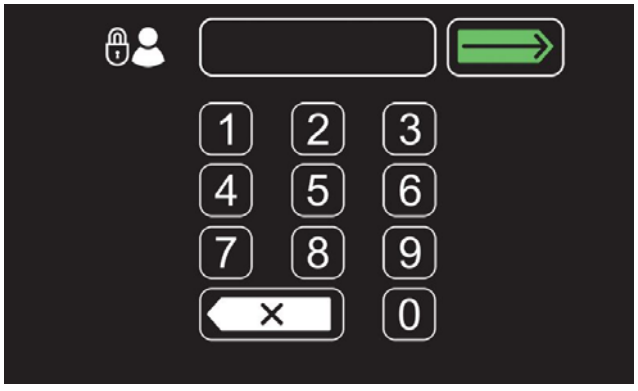


図　59

ec-H2Oインジケーター（オプション）

ecH2Oシステムは、キースイッチで始動するたびに自動的に作動します。 ec-H2O
アイコンがホーム画面に表示され、システムが始動したことを知らせます（図60）。
ec-H2Oシステムをオフにするには、キースイッチ下のec-H2Oスイッチを押します。
斜線のかかったアイコンは、ec-H2O
システムのオフ状態を示します。



図　60

1-STEPボタン

1-STEP
ボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図61）。
洗浄ヘッドが床へと下がります。
洗浄動作を停止させて、洗浄ヘッドを上げるには、ボタンをもう一度押します。



図　61

ブラシ圧ボタン

ブラシ圧ボタンを押してブラシ圧インジケーターを表示します（図62）。
（+）ボタンを押して、ブラシ圧を上げます。
（-）ボタンを押して、ブラシ圧を下げます。



標準モデル:

ヘビーデューティ用接地圧モデル:

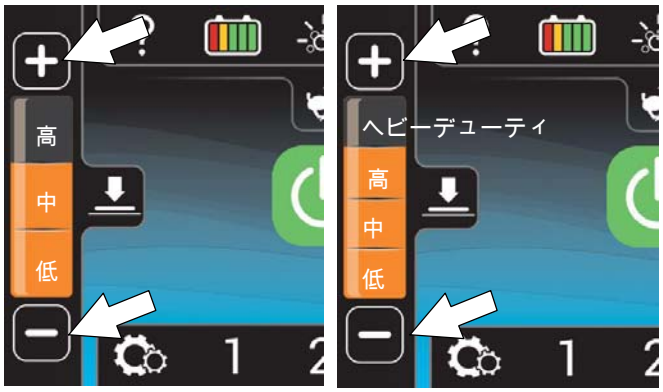


図　62

注記：ブラシ圧が洗浄条件に対して高すぎる圧力に設定されている場合、より低いブラシ圧の設定に自動的に変わり、インジケーターが点滅し始めます。
インジケーターが点滅したら、ブラシモーターの過負荷を防止するためにブラシ圧を下げてください。

洗浄液流量ボタン

洗浄液流量ボタンを押すと洗浄液流量インジケーターが表示されます（図63）。
（+）記号を押して洗浄液流量を上げます。
（-）記号を押して洗浄液流量を下げます。

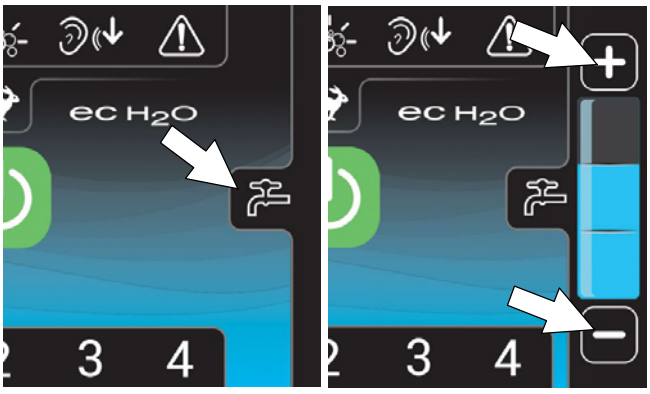


図　63

Severe Environmentボタン（ec-H2Oモデルオプション）

Severe Environmentボタンを押すと、蓄積された頑固な汚れのある工リアに対して洗浄洗剤の強化された効果が発揮されます（図64）。

ボタンを1回押すと、30秒間の洗剤洗浄力の強化機能が有効になります。
ボタンが緑色に変わり、タイマーが30秒間のカウントダウンを開始します。
ボタンを押すといつでも停止できます。

洗浄力の強化機能を継続させるには、緑色のLEDが緑色の点灯に変化するまでボタンを2秒間押し続けてください。
ボタンを押すといつでも停止できます。

Severe Environment
洗剤タンクが空になると、ユーザーにアラートを通知するために、ボタンが黄色に点滅します。

注記： Severe Environment
モードがオンになると、ec-H2Oシステムは自動的に停止し、ブラシ圧と洗浄液流量は「高」の設定に上がります。
オフになると元の設定に戻ります。 Severe Environmentモードを長期間作動させる場合、必要に応じて洗浄液の流量と接地圧をより低い設定に変更すると洗浄液と洗剤の使用量が抑えられ、バッテリーの稼働可能時間を最適化できます。

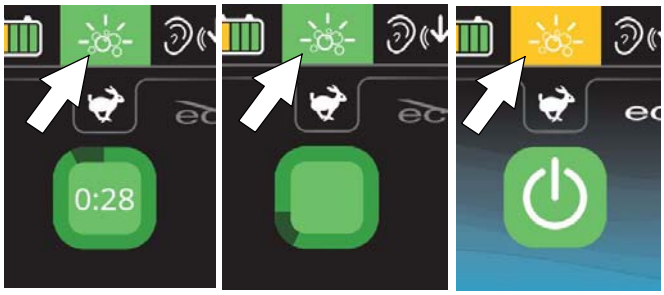


図　64

最大洗浄速度ボタン

最大洗浄速度ボタンを押して、最大洗浄設定にアクセスします（図65）。
（+）ボタンを押して、最大洗浄速度を上げます。
（-）ボタンを押して、最大洗浄速度を下げます。
最大洗浄速度ボタンは、管理者モードでのみアクセスすることができます。
詳細については、マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

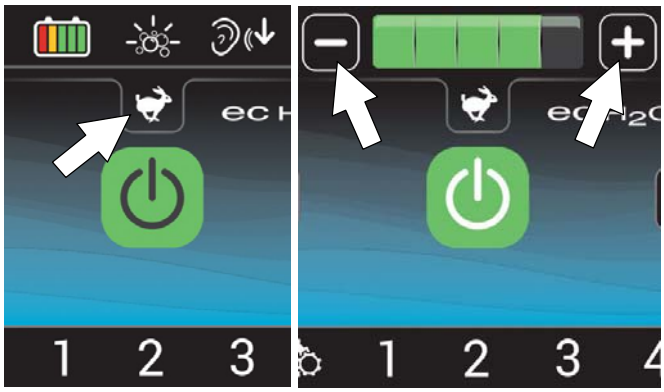


図　65

Quiet-Mode ボタン

音量規制のある場所では、静音モードボタンを押して、バキュームモーター音を下げます（図66）。
作動するとボタンが緑色に変わります。
ボタンをもう一度押すとオフになります。

注記： Quiet-Mode
が作動していると水の吸引力が若干低下します。



図　66

スプレーノズルインジケーター（T600のオプション）

スプレーノズルインジケーターは、スプレーノズルのスイッチが押されると表示されます（図67）。
このスイッチを押すと、スプレーノズルポンプが始動し、使用中は本機の走行が停止します。
スタートベイルを引くと、スプレーノズルインジケーターが点滅して、スプレーノズルポンプが始動されたことを知らせます。
スプレーノズルをオフにするには、スプレーノズルインジケーターを押すか、スイッチをもう一度押します。 *「スプレーノズルの操作」を参照してください。*

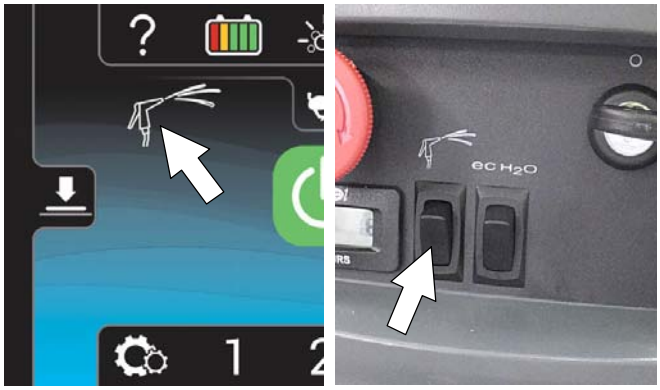


図　67

バッテリー放電インジケーター

バッテリー放電インジケーター（BDI）は、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。
バッテリーが完全に充電されている場合、5つのインジケーターライトがすべて点灯します（図68）。
放電レベルが赤いライトに到達した場合は、洗浄を停止してバッテリーを充電してください。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
赤いライトが点滅し始めると、バッテリーの完全放電を防止するため、自動的に洗浄機能が停止します。
つまり、ユーザーは本機を充電ステーションまで移動させることができます。

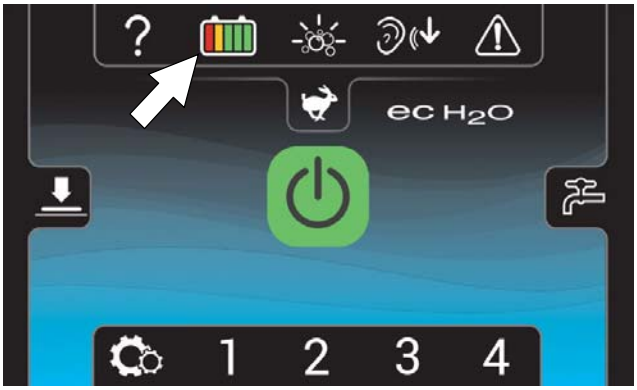


図　68

ビデオチュートリアルボタン（オペレーターモードのホーム画面）

ビデオチュートリアルボタンを押して、ビデオチュートリアル画面にアクセスします（図69）。
このチュートリアルには、具体的な操作方法や整備手順についてのビデオが含まれています。
ビデオボタンを押して、ビデオを開始します。
回転ボタンを押すと、他のビデオも参照できます。
右下のビデオボタンを押すと、他のチュートリアルビデオのリストが表示されます。



図　69

プリセットゾーンコントロールボタン

ゾーンコントロールボタンを使用して、異なる洗浄液の流量、ブラシ圧、洗浄速度、洗浄モードを選択し、最大4つのゾーンをプリセットします（図70）。

4つのゾーンコントロールボタンは、異なる洗浄用途向けに工場出荷時にプリセットされています。
ゾーンコントロールボタンは、ゾーンが有効になると緑色に変化します。

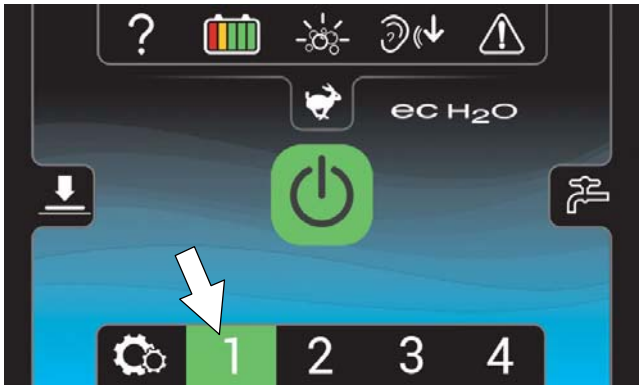


図　70

異なる洗浄用途向けにゾーンコントロールボタンをプリセットするには、以下を実行してください。

注記：
工場出荷時のゾーン設定を変更できるのは管理者モードのみです（マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照）。

1. 以下のリストから希望する設定を選択します。
   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - 静音モードのオン/オフ
   - ec-H2O
     システムのオン/オフ（オプション）
   - Severe Environment
     モードのオン/オフ（オプション）
   - 最大洗浄速度

   注記：Severe Environment モードとec-H2Oシステムを組み合わせたプリセットはできません。
2. 次に、新規のプリセットゾーンの名前を付けるように指示されるまで、ゾーンボタンを押し続けます。
   プリセットゾーンの名前を付けるには「はい」を選択します（図71）。

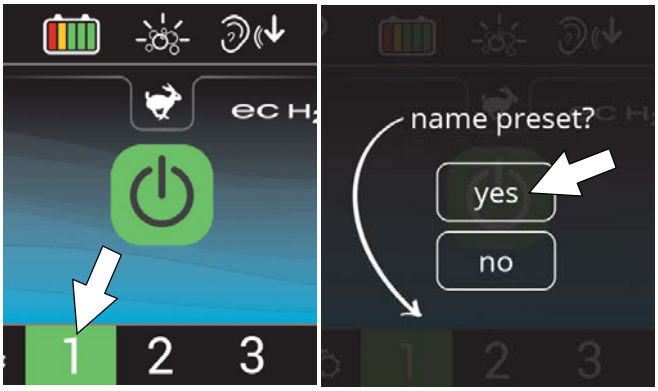


図　71

3. 例えば、ゾーン設定を口ビーの洗浄用に設定した場合は、ゾーン名を「口ビー」と入力します（図72）。
   緑の矢印を押して、新しいゾーンのプリセットを保存します。



図　72

4. ゾーンボタンを押すとゾーン設定番号の上に名前が表示されます（図73）。
   他のゾーンについても同じ手順を繰り返します。

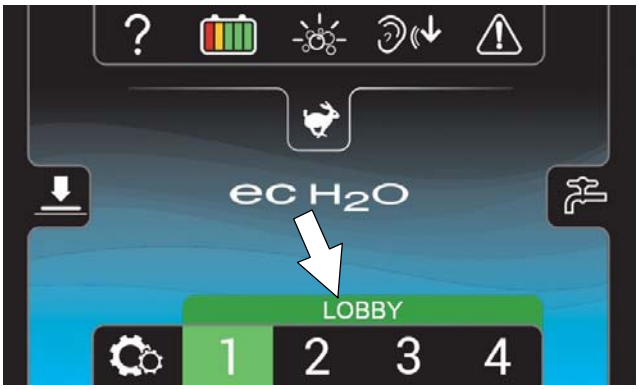


図　73

サービスインジケーターボタン

本機で異常が検出されると、サービスインジケーターボタンが黄色または赤色に点滅します（図74）。
サービスインジケーターボタンを押して、故障画面を表示します。

黄色の点滅は本機を修理する必要がある警告を示しますが、本機は運転可能です。
赤色に点滅した場合、本機の電源が切れ、修理を必要とする故障を知らせます。
以下の「故障画面」を参照してください。

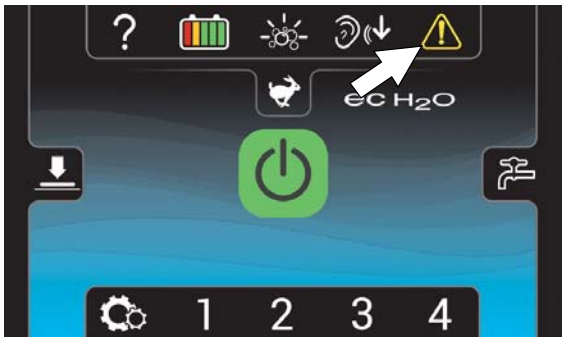


図　74

故障画面

異常が最初に検出されると、異常を知らせるために以下の故障画面が自動的に表示されます。

画面上部の左と右の矢印ボタンを押して、故障画面全体をスクロールします。

黄色の本機の故障画面（図75）-
本機で異常が検出されました。
故障コードは故障アイコンの下に表示されます。
「サービスインジケーターコード」を参照してください。



図　75

青色と赤色に点滅する ec-H2O 画面（図76）-
水質調整カートリッジの有効期限が切れました。
「ec-H2Oナノクリーン水質調整カートリッジの交換」を参照してください。

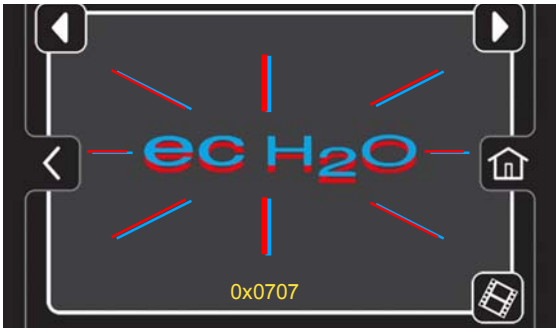


図　76

黄色のec-H2O故障画面 -
本機がec-H2Oシステムの水質または配管の異常を検出しました（図77）。

赤色のec-H2O故障画面 -
本機がec-H2Oシステムの電気系統の異常を検出しました（図 77）。

故障コードはecH2Oアイコンの下に表示されます。
「サービスインジケーターコード」を参照してください。

注記：
ec-H2Oシステムで障害が発生した場合、本機はec-H2Oシステムを自動的に停止し、従来の洗浄モードに切り替えます。
サービスインジケーターボタンは、ec-H2Oの故障が修理されるまで点滅し続けます。

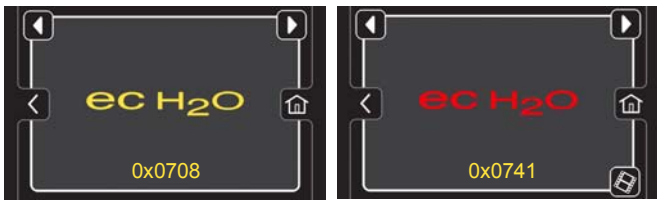


図　77

黄色の自動バッテリー補水故障画面 - コード0x0B06 - 自動バッテリー補水タンクが空で補水が必要です（図78）。
タンクが再充填されない場合、バッテリーの損傷を防止するために、本機の洗浄機能は10時間の連続運転後に停止します。
蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、故障コードの表示を消すためにキースイッチで始動します。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。

コード0x0B05 -
ABWシステムがバッテリーに水を補充しようとしましたが、バッテリーがすでにいっぱいであるか、注水ホースがねじれています。
ねじれていないか確認してください。
キースイッチで再始動して故障コードの表示を消してください。

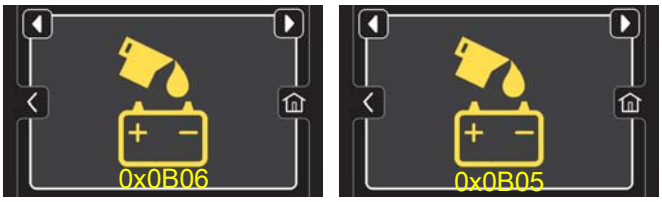


図　78

赤色の自動バッテリー補水故障画面 - コード0x0B07 - 自動バッテリー補水タンクが空で補水が必要です。
洗浄機能はタンクが再充填されるまで無効になります（図79）。
蒸留水をバッテリー補水タンクに追加して、故障コードの表示を消すためにキースイッチで始動します。
「自動バッテリー補水タンクの充填」を参照してください。



図　79

本機の設定ボタン

本機の設定ボタンを押して、以下のメニューオプションにアクセスします（図80）。

本機の設定ボタンにアクセスするには、ホーム画面が管理者モードに設定されている必要があります。
マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

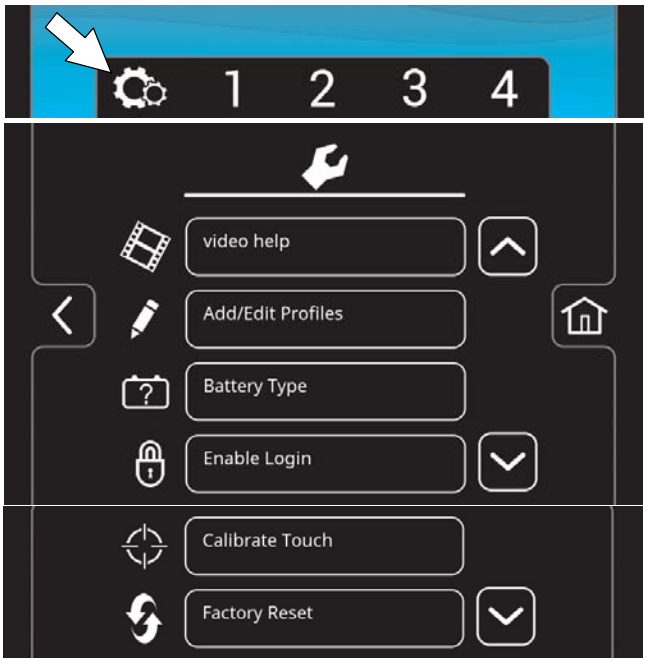


図　80

ビデオに関するヘルプ -
特定の操作とメンテナンスの手順を参照するために使用します。 図69を参照。

プロファイルの追加/編集 -
本機の用途に対応するように、ユーザープロファイルを追加/編集するために使用します。
「管理者コントロール」を参照してください。

バッテリーの種類 -
異なる種類のバッテリーに対応するように本機を設定するために使用します。
搭載型充電器の充電プロファイルが、本機に搭載のバッテリーの種類に適切に対応するようにプログラミングされることを確保します。
「バッテリー」を参照してください。

ログイン可 -
本機の始動時に、本機を運転するのに必要なログインコードを有効化するために使用します。

タッチ補正アイコン -
タッチポイントの位置ずれがある場合にタッチ画面を補正するために使用します。

工場出荷時の状態にリセット -
管理者ログインコードを工場出荷時のデフォルトコードにリセットするほか、ユーザープロファイルを削除し、カスタマイズされたプリセットゾーンコントロールボタンを工場出荷時のプリセットゾーンにリセットします。
「管理者コントロール」を参照してください。

本機の操作

安全のために：
オペレーターマニュアルを読み、その内容を理解するまで、本機を操作しないでください。

運転前のチェックリスト

- ❑ 床を掃除し、障害物を取り除いてください。
- ❑ バッテリー液を確認してください。
  必要に応じて充填してください。
- ❑ Smart-Fill自動バッテリー補水オプションを装備した機種:
  自動バッテリー補水タンクを点検してください。
  必要に応じて蒸留水を充填してください。
- ❑ バッテリー充電レベルを点検してください。
  必要に応じて充電してください。
- ❑ ブラシやパッドの磨耗や損傷を点検してください。
- ❑ 洗浄ヘッドスカートの磨耗や損傷を点検してください。
- ❑ スクイージーブレードが磨耗または損傷してないか点検し、適切に調整してください。
- ❑ スクイージーのドリップトラップリザーバーを洗浄してください。
- ❑ スクイージーバキュームホースのごみや詰まりを点検してください。
- ❑ 回収タンクが空で、きれいなことを確認してください。
- ❑ 回収タンクのごみトレーがきれいなことを確認してください。
- ❑ 回収タンクのフロート停止スクリーンがきれいなことを確認してください。
- ❑ シリンダーブラシモデル -
  ごみ容器が空できれいなことを確認してください。
- ❑ ec-H2O 洗浄：
  洗浄液タンクがきれいな冷水のみで充填されていることを確認してください。
- ❑ ec-H2O 洗浄：
  従来タイプの洗剤/還元剤がすべて排出され、洗浄液タンクのすすぎが完了していることを確認してください。
- ❑ 本機が正しく動作するか点検してください。

本機の操作

コントロールパネルの操作手順については、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

1. キーをオン (I) の位置に回します (図81)。



図　81

2. ec-H2Oモデル -
   本機をキースイッチで始動すると、ecH2Oシステムは自動的に作動します。 ec-H2O インジケーターがコントロールパネルに表示され、システムが始動したことを知らせます (図82)。

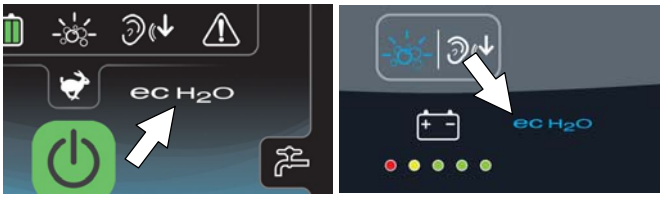


図　82

注意：洗浄液タンクに洗浄洗剤を入れて操作する従来の洗浄の場合、ec-H2O スイッチを押して、ec-H2O システムの電源スイッチが切れていることを確認してください (図83)。
誤って洗剤がec-H2Oシステム内を循環すると、システム障害が発生します。
故障コードの表示を消すには、洗浄液タンクを空にして、きれいな水を補充して、ec-H2Oシステムを作動させます。
故障が繰り返し発生する場合、故障コードの表示が消えるまで、キースイッチを押し続けます。
詳細は「サービスインジケーターコード」を参照してください。



図　83

3. 図に示すように、フットパッドをつま先で踏んで、スクイージーアセンブリーを床に下げます（図84）。
   スクイージーアセンブリーを上げるには、フットパッドの下につま先を入れて持ち上げます。
   バキュームモーターは、スクイージーが床面まで下がると自動的に始動します。



図　84

4. 1-STEPボタンを押して、洗浄機能を有効にします（図85）。 洗浄ヘッドが床へと下がります。



図　85

5. 方向レバーを前方に押して、前進します（図86）。
   逆方向に動かすには、レバーを後方に引きます。
   後退時は、スクイージーアセンブリーを持ち上げます。

安全のために：
本機の操作前に、スタートベイルを引く前に方向レベルを設定してください。



図　86

6. 洗浄を開始するには、可変速度コントロールスタートベイルを徐々に後ろに引いてゆっくり開始します。（図87）。
   曲がり角や交差点付近、および狭いエリアへの接近時には、スタートベイルをわずかにゆるめ、本機の速度を落としてください。



図　87

7. 洗浄速度を調整するには、スピードダイヤルを希望の速度まで回します（図88）。



図　88

8. 洗浄を停止するには、スタートベイルを放して、1-STEP ボタンを押します。
   本機を前進させて残りの水を吸い上げてから、スクイージーアセンブリーを床から上げます。
   キーをオフにします。

ダブル洗浄

ダブル洗浄は、汚れのひどい場所を2回以上洗浄するプロセスです。
1回目は、スクイージーを床から浮かせて行います（図89）。
これにより、汚れのひどい場所に洗浄液をより長い時間（3～5分）期間浸透させます。
2回目は、スクイージーを下げて行います。

ダブル洗浄は、ec-H2O洗浄システム（オプション）または従来の洗浄方法を使用して実施できます。

安全のために：
本機を使用するときは、つま先が覆われたノンスリップ（滑り止め付き）の靴を履き、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

安全のために：
本機を使用するときは、床が濡れている場合の現場安全対策に従ってください。



1回目 - スクイージーを浮かせた状態　2回目 - スクイージーを下げた状態

図　89

非常停止ボタン

緊急時には、非常停止ボタンを押します（図90）。
この赤色のボタンは、本機に接続されたすべての電源を切ります。
電源を復帰させるには、ボタンを時計回りに回して、キーを再始動させます。



図　90

スプレーノズルの操作（T600のオプション）

スプレーノズルは、以下の用途に使用します。
給水は本機の洗浄液タンクから供給されます。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの用途にスプレーノズルを使用しないでください。

- 回収タンクを洗浄する
- スクイージーアセンブリーを掃除する
- 洗浄ヘッドスカートを掃除する
- ブラシと洗浄ヘッドの下側を掃除する
- 床より高いエリア（幅木など）を掃除する

オフアイル洗浄など、本機が余分な水を回収できないエリアでスプレーノズルを使用しないでください。
本機本体の洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
本機を操作する際、滑る危険性があるため、オフアイル洗浄用にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。

スプレーノズルのスイッチを押して、スプレーポンプを始動します（図91）。
スイッチをもう一度押して、スプレーノズルをオフにします。

注記：
スプレーノズルのスイッチが作動中は、本機の運転は停止します。

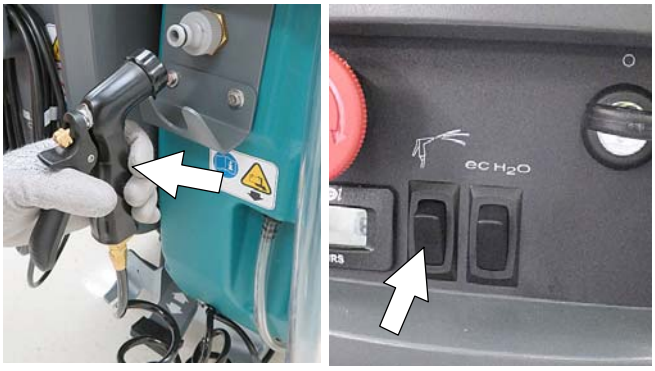


図　91

本機の運転時

⚠ 警告：
引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。 回収しないでください。

1. 清掃幅は5 cm重ねてください。
2. 床の表面仕上げを傷つけないように本機の動きを維持してください。

安全のために：
本機を操作する際は、最大2%の傾斜角度に限定してください。

3. 床の継ぎ目や敷居などの突起部に接近する場合は、洗浄ヘッドを床から上げてください。
   突起部の高さが1.27 cmを超える場合は、本機から洗浄ディスクを取り外してください。
4. 曲がり角や交差点付近、および狭い工リアへの接近時は、速度を落としてしてください。
5. 本機が柱や壁にぶつからないようにしてください。
6. スクイージーブレードの筋が残る場合は、ブレードを布で拭いてください。
7. 本機の排水や補水を行う際は、必ずオプションのSevere Environmentタンクを洗剤で補充してください。
8. 泡が過剰に発生する場合は、推奨消泡剤を汚水回収タンクに入れてください。

   注意：泡が多すぎるとフロート停止スクリーンが作動せず、その結果バキュームモーターが損傷する可能性があります。
9. 汚れがひどい場所には、ダブル洗浄を行ってください。
   まず、スクイージーを上げたまま汚れを洗浄し、洗浄液を3～5分なじませてから、今度はスクイージーを下げて汚れを洗浄してください。
10. 環状洗浄ヘッドモデル -
    タイルコーブ、ペデスタルシンクなどの床の据え付け品や壊れやすい物の付近で作業する際は注意してください。
    損傷を防ぐため、金属製の洗浄ヘッド端部を近づけないでください。
11. 本機から離れる場合は、平らな場所に停め、本機の電源をオフにしてキーを抜いてください。
12. 周囲温度が43°Cより高い、または2°Cより低い場所で本機を運転しないでください。
13. 本機が故障した場合は、「本機の後押し・輸送」の項で説明されているように押して移動することができます。

サーキットブレーカーパネル

本機は、電流過負荷から本機を保護する、リセット可能なサーキットブレーカーを装備しています。
サーキットブレーカーが作動したら、バッテリーケーブルコネクターを外し、ブレーカーが冷えてから、リセットボタンを押してブレーカーをリセットしてください。 バッテリーケーブルを再接続してください。
サーキットブレーカーがリセットされない、または繰返し作動する場合は、サービス担当者にご相談ください。

サーキットブレーカーパネルは、コントロールコンソールの下にあります。
サーキットブレーカーは、次のように識別されています（図92）。

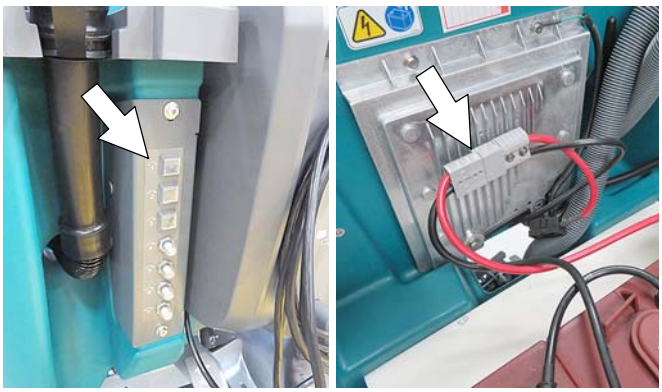


図　92

T600eモデル

サーキットブレーカー	定格	保護されている回路
CB1	2.5 A	キースイッチ回路
CB2	10 A	ec-H2Oシステム、自動バッテリー補水システム（オプション）
CB3	10 A	アクチュエーターモーター
CB4	40A	走行
CB5	25A	バキュームファン
CB6	30 A	左スクラブモーター
	30 A	スクラブモーター（環状モデル）
CB7	30 A	右スクラブモーター

T600モデル

サーキットブレーカー	定格	保護されている回路
CB1	2.5 A	キースイッチ回路
CB2	10 A	コントロールボード、ec-H2Oシステム、自動バッテリー補水システム
CB3	15 A	スプレーノズルポンプ（オプション）
CB4	40A	走行

安全のために：
本機を点検整備する際、すべての修理は訓練を受けた担当者によって行われる必要があります。

アワーメーター

アワーメーターは本機の運転時間を記録します。
アワーメーターは、特定の点検整備の実施や整備履歴の記録に使用します（図93）。



図　93

タンクの排水

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

汚水回収タンクの排水

回収タンクは、毎回の使用後に排水と洗浄を行ってください。

1. 本機を排水場所に移動します。
2. ドレンホースキャップ装備モデルでは、ホースを上向きに持ち続けながらキャップを外し、ホースをゆっくりと下ろして排水します。
   フローコントロールドレンホース装備モデルでは、ホースを下ろし、ゆっくりとバルブを開けて排水します（図94）。



図　94

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します（図95）。
   掃除後、スクリーンを再度取り付けます。



図　95

4. ごみトレーを取り外し、空にします（図 96）。
   掃除後、トレーを再度取り付けます。



図　96

5. 汚水回収タンクをきれいな水ですすぎ、残りの汚れをすべてふき取ります（図97）。



図　97

本機がオプションのスプレーノズルを搭載している場合、スプレーノズルを使用して回収タンクを洗浄します（図98）。
給水は本機の洗浄液タンクから供給されます。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの用途にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。



図　98

洗浄液タンクの排水

毎日、洗浄液タンクを空にしてください。

1. 本機を排水場所に移動します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

2. 洗浄液タンクから残りの水を抜くには、洗浄液タンクレベルホースをアクセサリーレールから外します（図99）。
   タンクの排水後、ホースをアクセサリーレールにしっかりと接続します。
3. 洗浄液タンクをきれいな水で十分にすすぎます。



図　99

4. 50時間運転毎に洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します（図100）。
   洗浄液のフィルターは本機背面の下側にあります。
   フィルターを取り外す前に、洗浄液タンクを空にしてください。

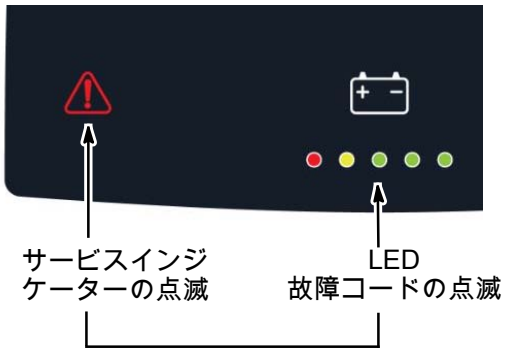


図　100

サービスインジケーターコード

本機または充電器が異常を検出するとサービスインジケーターが点滅します。
問題を特定するため、次のように故障コードが表示されます。

T600eモデルのサービスインジケーターコード



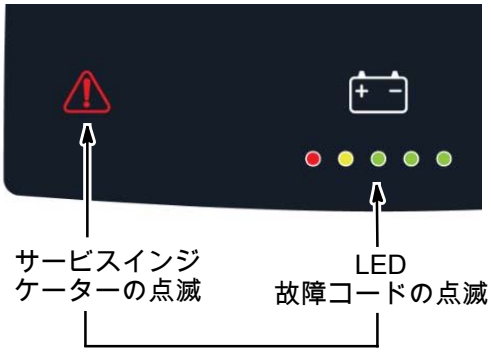
LED 故障コード ☼= 点滅	原因	解決策
☼☼☼☼☼	非常停止ボタンが有効化されています 電子パーキングブレーキシステムが解除されています（オプション）	非常停止ボタンを解除し、本機を再始動してください 「本機の後押し・輸送」を参照してください。
• ☼☼ • ☼	ヘッドリフトアクチュエーターの配線の不具合	接続を点検してください。 サービスセンターに連絡してください。
• ☼ • • ☼	洗浄液バルブの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	接続を点検してください。 サービスセンターに連絡してください
• ☼ • ☼☼	洗浄液バルブの過電流	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • •	ブラシモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • ☼	ヘッドリフトアクチュエーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼☼ •	プロペルサーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• • ☼☼☼	プロペルモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ • • • ☼	プロペルの故障	本機を再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
☼ • • ☼ •	バッテリー補水ポンプ配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ • • ☼☼	ブラシモーターリレーの短絡	床面の種類に対応するパッドかを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

T600eのサービスインジケーターコード - 続き

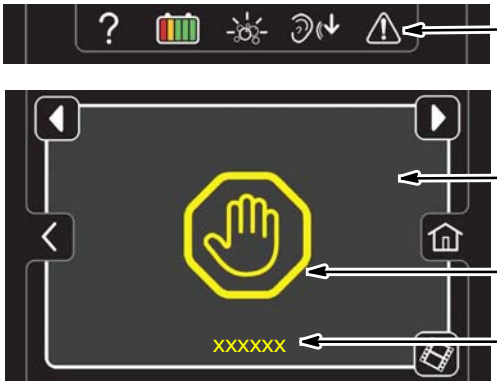
LED 故障コード ☼= 点滅	原因	解決策
☼ • ☼ • ☼	本機の電源スイッチを入れる前にスタートペイルが引かれているか、異物が詰まっています	本機の電源スイッチを入れる前に、スタートペイルを解除するか、異物を取り除いてください。
☼ • ☼☼ •	バッテリー補水ポンプボードの故障 ec-H2O ポンプコントロールボードの故障	バッテリーケーブルの接続を解除し、サービスセンターにコントロールボードの交換を依頼してください。
☼☼ • ☼ •	バッテリー補水システムの故障	サービスセンターに連絡してください
• ☼☼☼ •	充電器の通信不良 洗浄コントロールボードの通信不良 ec-H2O システムの通信不良 バッテリー補水 CAN の故障	再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

T600モデルのサービスインジケーターコード

PRO-MEMBRANE コントロールパネル



Pro-Panel コントロール (LCD)



LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ ☼ ☼ ☼ ☼	0xFFF0	非常停止ボタンが有効化されています 電子パーキングブレーキシステムが解除されています (オプション)	非常停止ボタンを解除し、本機を再始動してください 「本機の後押し・輸送」を参照してください。
• • • ☼ •	0x0201	ヘッドリフトアクチュエーター、配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • • ☼ ☼	0x0101 0x0111	ブラシモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ ☼ ☼ ☼ •	0x0102 0x0112	ブラシモーター 1 電圧損失 ブラシモーター 2 電圧損失	サービスセンターに連絡してください
• ☼ ☼ • ☼	0x0208	アクチュエーターの失速	異物の詰まりを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• ☼ • • ☼	0x0301	洗浄液バルブの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	接続を点検してください。 サービスセンターに連絡してください
• ☼ • ☼ ☼	0x0303	洗浄液バルブの過電流	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • •	0x0501	バキュームモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ • ☼	0x0601	Severe Environment 洗浄液ポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• • ☼ ☼ •	0x1005	洗浄モーターの電流不足	洗浄力がより強力なパッドを使用してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

T600のサービスインジケーターコード - 続き

LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
• • ☼☼☼	0x0901	プロペルモーターの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ • • • ☼	0x0900 0x0903 0x0904 0x0905 0x0908"0x0950 0x090A"0x093F	プロペル I-Drive の故障 プロペル I-Drive 通信の損失 プロペル出力サイクルの故障 プロペル電流制限の故障 プロペルの故障 プロペルの故障	サーキットブレーカーをリセットするか、本機を再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
☼ • • ☼ •	0x0B11	バッテリー補水ポンプ配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
☼ • • ☼☼	0x0103 0x0104 0x0105 0x0109 0x0106	ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の過電流 ブラシモーター 1 の加熱 ブラシモーター 1 の短絡	床面の種類に対応するパッドかを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。 サービスセンターに連絡してください
☼☼ • ☼☼	0x0113 0x0114 0x0115 0x0119 0x0116	ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の過電流 ブラシモーター 2 の加熱 ブラシモーター 2 の短絡	床面の種類に対応するパッドかを点検してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。 サービスセンターに連絡してください
☼ • ☼ • ☼	0x0902	本機の電源スイッチを入れる前にスタートベイルが引かれているか、異物が詰まっています。	本機の電源スイッチを入れる前に、スタートベイルを解除するか、異物を取り除いてください。

T600のサービスインジケーターコード - 続き

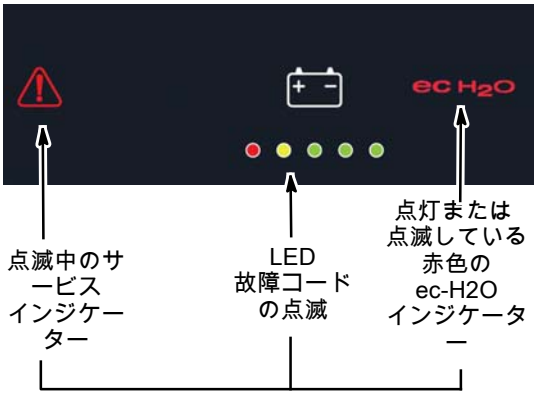
LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼ • ☼☼ •	0x0107 0x0117 0x0207 0x0307 0x0507 0x0607 0x0617 0x0B17 0x0717	ブラシモーター 1 コントロールボードの故障 ブラシモーター 2 コントロールボードの故障 アクチュエーターモーターコントロールボードの故障 洗浄液バルブコントロールボードの故障 バキュームモーターコントロールボードの故障 洗剤ポンプコントロールボードの故障 スプレーポンプコントロールボードの故障 バッテリー補水ポンプボードの故障 ec-H2O ポンプコントロールボードの故障	バッテリーパックからバッテリーケーブルコネクターを外して、サービスセンターにコントロールボードの交換を依頼してください。
☼ • ☼☼☼	0x0503 0x0504 0x0505 0x0506	バキュームモーターの過電流 バキュームモーターの短絡	異物がないか点検してください。 サービスセンターに連絡してください。
☼☼ • • •	0x0613 0x0614 0x0615 0x0616	スプレーノズルポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
☼☼ • • ☼	0x0603 0x0604 0x0605 0x0606	Severe Environment 洗浄液ポンプの過電流 Severe Environment 洗浄液ポンプの短絡	サービスセンターに連絡してください
☼☼ • ☼ •	0x0B01 0x0B13-16	バッテリー補水システムの故障	サービスセンターに連絡してください
☼☼☼ • ☼	0x1006	洗浄ヘッドが不安定	ブラシの磨耗を点検してください。 サービスセンターに連絡してください。
• ☼☼☼ •	0xF103 0xFF20 0x0704 0x0B04	充電器の通信不良 洗浄コントロールボードの通信不良 ec-H2O システムの通信不良 バッテリー補水 CAN の故障	再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。

T600e/T600の搭載型充電器サービスインジケーターコード

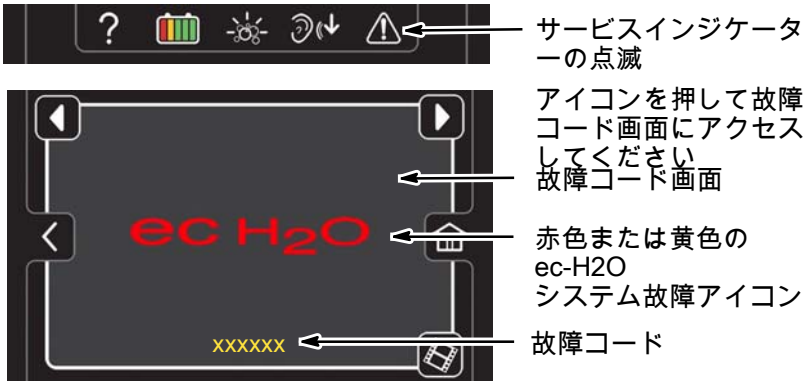
LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
☼☼☼ • •	0xF100 0xF104	充電器の異常状態。 充電器タイマーが最大充電時間を超過しています。充電サイクルを中断します	サービスセンターに連絡してください バッテリーを交換してください
• ☼☼ • •	0xF101	充電器がバッテリーパックに接続されていません	ケーブルの接続を点検してください
• ☼ • • •	0xF102	充電器のオーバーヒート	充電器を冷却してください。 換気の良い場所に移動してください。 80°F/27°C 以下の場所で充電してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• ☼☼☼ •	0xF103	充電器の通信不良	充電器を再始動してください。 故障コードの表示が消えない場合は、サービスセンターに連絡してください。

T600e/T600 ec-H2Oシステムのサービスインジケーターコード - オプション

Membraneコントロールパネル



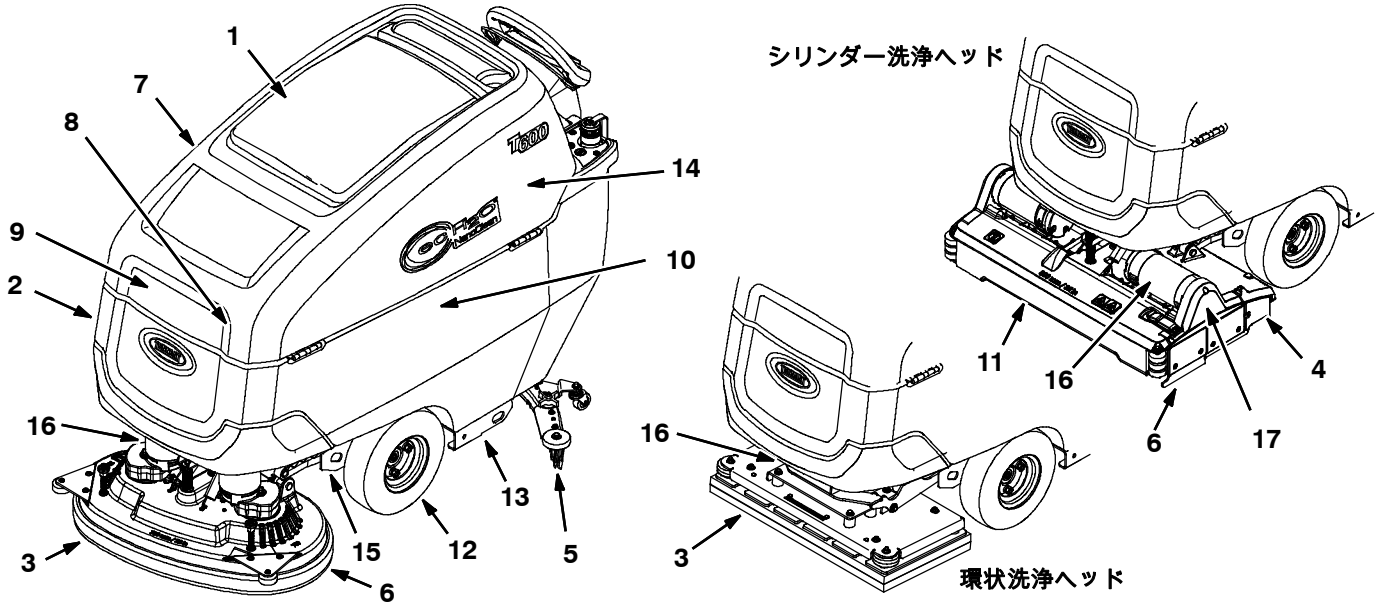
Pro-Panel コントール (LCD)



LED 故障コード ☼= 点滅	LCD 故障コード	原因	解決策
• ☼ • ☼ •	0x0711	ec-H2Oポンプの配線、コネクターまたはコントロールボードの不具合	サービスセンターに連絡してください
• ☼☼☼ •	0x0704	ec-H2Oシステムの通信不良	再始動してください。 故障が解消されない場合は、サービスセンターに連絡してください。
• ☼☼☼☼	0x0713 0x0714 0x0715	ec-H2O ポンプの過電流	サービスセンターに連絡してください
☼ • ☼ • •	0x0703 0x0712	ec-H2O システムブレーカーの作動 ec-H2O システムブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください。 ブレーカーが繰返し作動する場合は、サービスセンターに連絡してください。
ecH2Oインジケーター 赤色の点灯	0x0716 0x0717 0x0727 0x072A 0x0741 0x0746	ec-H2Oポンプの短絡 ec-H2Oの電気的故障 ec-H2Oコントロールボードの故障 ec-H2O電極異常 水質調整ポンプ開栓 水質調整ポンプ異常	サービスセンターに連絡してください
ecH2Oインジケーター 赤色の点滅*	0x0702 0x0708* 0x0721 0x0723 0x0726 0x0728 0x0729	ec-H2O圧力スイッチの作動 ec-H2Oシステムの過剰規制 ec-H2Oセルの電流なし ec-H2Oセルの過電流 ec-H2Oセルの短絡 ecH2Oセルレギュレーション超過 ec-H2Oセルレギュレーション未満	サービスセンターに連絡してください
ecH2Oインジケーターの青色/赤色の点滅	0x0707	水質調整カートリッジの有効期限が経過した	水質調整カートリッジを交換してください。

*洗浄液タンクに洗浄洗剤が追加されたか確認してください。ec-H2Oシステムに洗浄洗剤を入れて運転した場合は、洗浄液タンクを空にし、きれいな水を補充して故障コードの表示が消えるまで、ec-H2Oシステムを運転してください。故障が繰り返し発生する場合、故障コードの表示が消えるまで、キースイッチの始動を繰り返してください。

メンテナンス表



以下の表には、各作業の責任者が記載されています。
O = オペレーター　T = 訓練を受けた者

周期	責任者	参照番号	説明	点検内容
毎日	O	1	汚水回収タンク	排水、洗浄、フロート停止スクリーンとごみトレーの清掃
	O	2	洗浄液タンク	排水、洗浄
	O	3	パッド	点検、裏返し、または交換
	O	3	ブラシ	点検、清掃
	O	4	ごみ容器（シリンダーブラシ）	清掃
	O	5	スクイージー	清掃、損傷と磨耗の点検
	O	6	洗浄ヘッドスカート	損傷、磨耗の点検
	O	7	マシン	ウエスによる清掃
	O	8	Severe Environmentタンク（オプション）	点検、充填
	O	9	自動バッテリー補水タンク（オプション）	点検、充填
	O	10	バッテリー	必要に応じて充電
毎週	O	10	バッテリーセル	電解液レベルの点検
	O	10	バッテリー室	液体と排水の点検
	O	5	スクイージー アセンブリー ドリップ トラップ リザーバー	点検、清掃
50操作時間毎	O	11	シリンダーブラシ	ブラシの位置交換 磨耗の点検
	O	11	シリンダー洗浄ヘッド	洗浄ヘッド下側の清掃
	O	1	汚水回収タンク蓋シール	磨耗の点検
	O	2	洗浄液タンクフィルター	取り外して清掃
	O	12	エアー式タイヤ（オプション）	空気圧の点検
100操作時間毎	O	10	バッテリー補水システム（オプション）	ホースの損傷と磨耗の点検
	O	13	リヤキャスター	注油
200操作時間毎	O	10	バッテリー、端子、ケーブル	点検と清掃
750操作時間毎	T	14	バキュームモーター	カーボンブラシの交換
1250操作時間毎	T	15	走行モーター	カーボンブラシの交換
	T	16	ブラシモーター	カーボンブラシの交換
	T	17	ブラシベルト（シリンダーブラシ）	ベルトの交換

本機の点検整備

本機を良好な運転状態に保つために、以下の本機の点検整備の指示に従ってください。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

安全のために：
本機の点検整備をする際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
すべての修理は、訓練を受けた担当者が行ってください。

黄色のタッチポイント

本機にはシンプルな修理アイテムを示す黄色のタッチポイントが装備されています。
いくつかの例を以下に示します（図101）。
これらのメンテナンスでは工具が必要ありません。

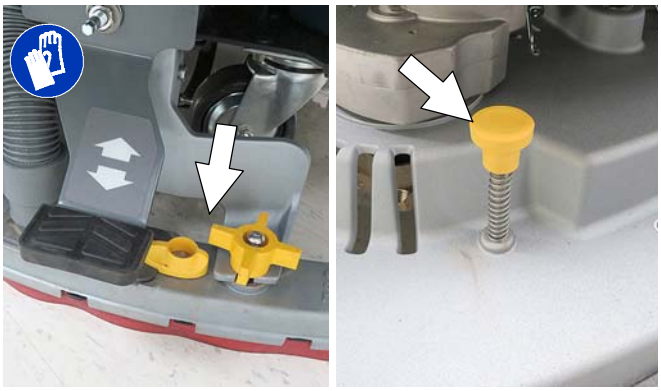


図　101

毎日の整備後

1. 汚水回収タンクを排水して洗浄します（図102）。
   「タンクの排水」を参照してください。



図　102

本機がオプションのスプレーノズルを搭載している場合、スプレーノズルを使用して回収タンクを洗浄します（図103）。
洗浄洗剤を洗浄液タンクに追加した場合、すすぎの目的にスプレーノズルを使用しないでください。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。



図　103

2. ごみトレーを取り外し、空にします（図104）。
   掃除の後、トレーを再度取り付けます。



図　104

3. フロート停止スクリーンを取り外し、掃除します（図105）。
   清掃後、スクリーンを再度取り付けます。



図　105

4. 洗浄液タンクを空にしてください（図106）。



図　106

5. ディスク洗浄ヘッド -
裏返すか、磨耗があった場合は交換してください（図107）。

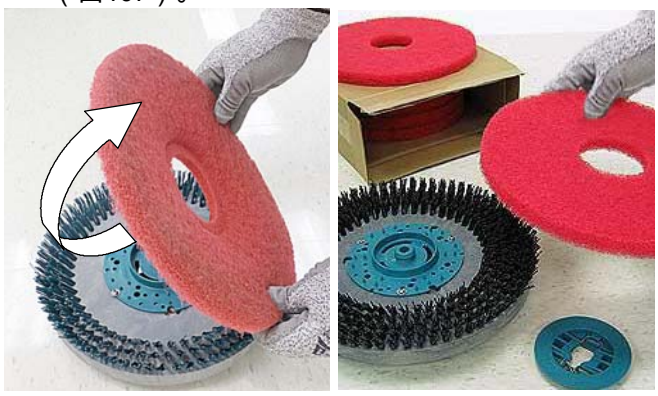


図　107

6. 清掃効果がなくなった、または毛先が摩耗して黄色のインジケーターが点灯したら、ブラシを交換してください（図108）。



図　108

環状洗浄ヘッド -
裏返すか、磨耗があった場合は交換してください（図109）。

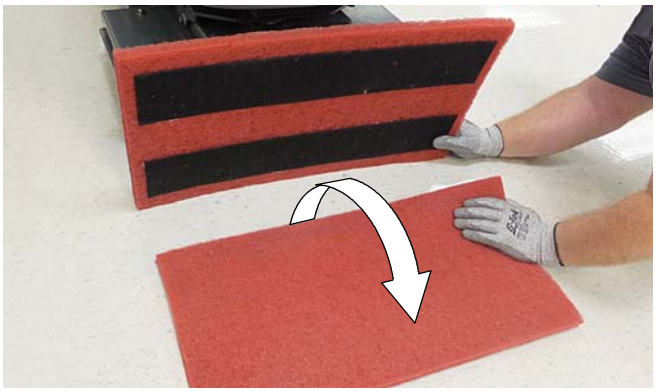


図　109

7. スクイージーブレードをきれいに拭いてください。ブレードの磨耗や損傷を点検してください（図110）。ブレードが磨耗していたら、ブレードの位置交換をしてください。「スクイージーブレードの交換」を参照してください。



図　110

8. 洗浄ヘッドスカートを掃除します。
磨耗や損傷を点検してください（図111）。
摩耗や損傷がある場合は交換してください。



図　111

9. 本機の外面は、汎用のクリーナーと湿らせたウエスを使用して清掃してください（図112）。

安全のために：
点検整備する際、本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。
電気系統が故障する可能性があります。
湿らせたウエスを使用してください。



図　112

10. シリンダー洗浄ヘッド -
ごみ容器を取り外して清掃します（図113）。



図　113

11. Severe Environmentオプション - Severe Environmentタンクに推奨洗浄洗剤を希釈せずに充填してください（図114）。
キャップを締めます。



図　114

12. 自動バッテリー補水オプション -
タンクに蒸留水を補充します（図115）。
キャップを締めます。

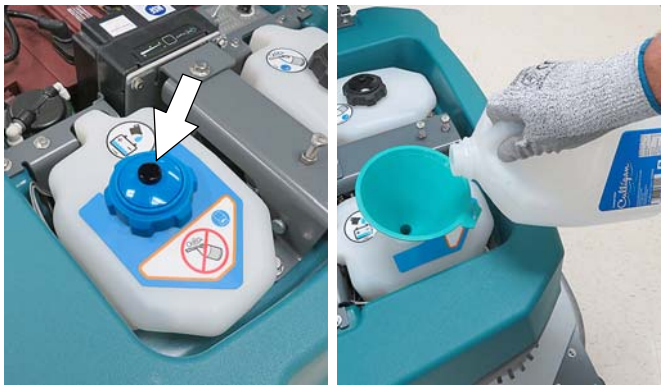


図　115

13. バッテリーを充電します（図116）。
「バッテリー」を参照してください。

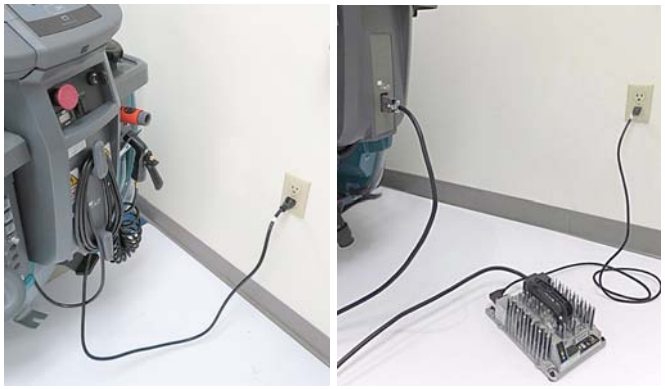


図　116

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

毎週の使用後

1. すべてのバッテリーの電解液レベルを確認します（図117）。
   「バッテリー」を参照してください。

注記：
本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー」を参照してください。

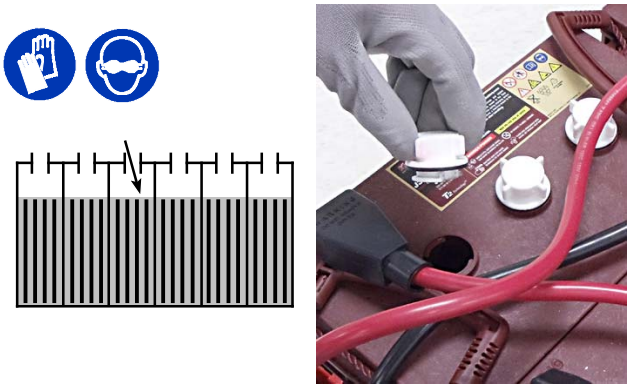


図　117

2. バッテリー室に液体がないかどうか点検してください。（図117）。
   詳細については、「バッテリー室のドレインホース」を参照してください。

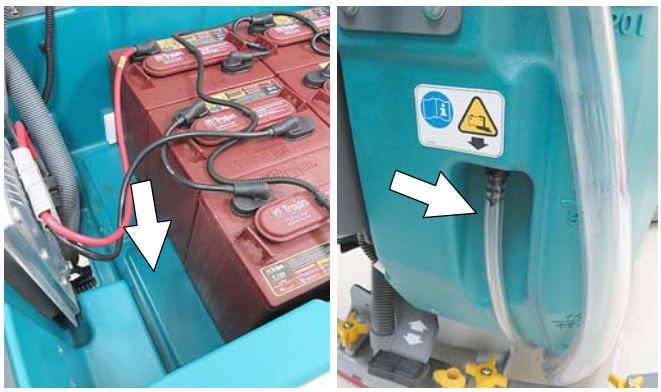


図　118

3. スクイージーアセンブリーからドリップトラップカバーを外し、リザーバーを清掃します（図119）。



図　119

50時間の運転毎の整備

1. 洗浄液タンクを排水してください。
   洗浄液タンクのフィルターを取り外し、スクリーンを清掃します（図120）。
   フィルターボールを左に回して外します。



図　120

2. 汚水回収タンク蓋のシールを点検して清掃します（図121）。
   損傷がある場合は、交換してください。



図　121

3. シリンダーブラシ -
   ブラシの前部と後部の位置交換をします（図122）。
   清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

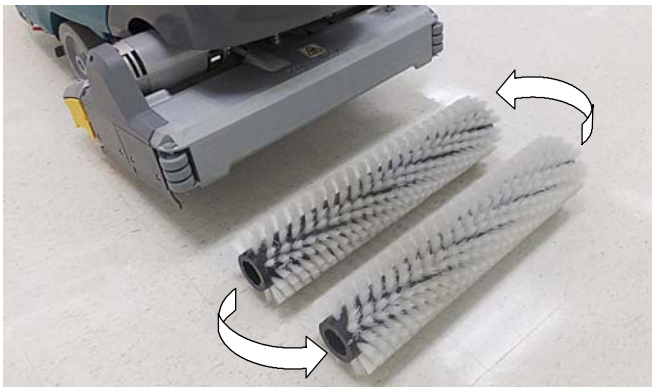


図　122

4. エアー式タイヤが装備されている場合は、タイヤ圧を確認します（図123）。
適正なタイヤ圧は60～65 psi（415～450 kPA）です。

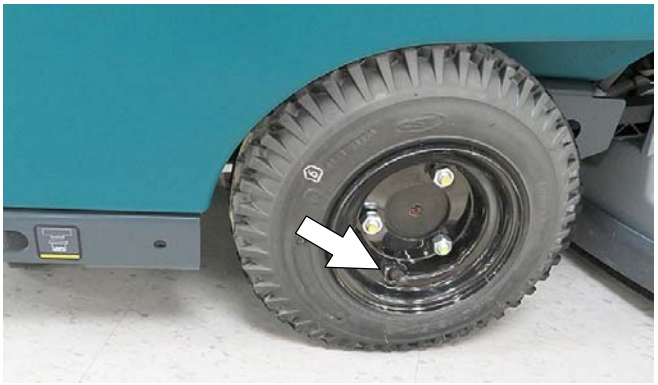


図　123

5. シリンダー洗浄ヘッド -
アイドラープレートやドライブハブを含む洗浄ヘッドの下側に蓄積された汚れを取り除きます（図124）。

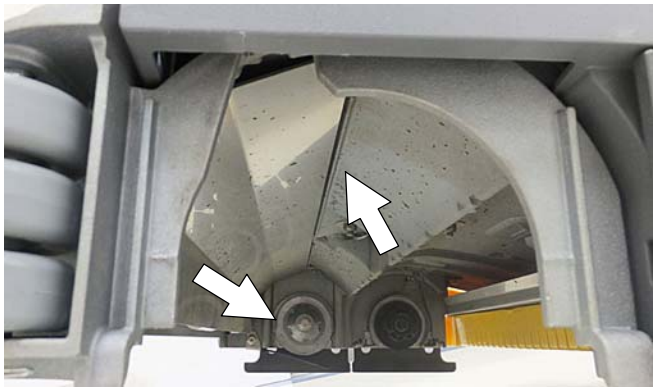


図　124

100時間の運転毎の整備

オプションのバッテリー補水システムが装備されている場合は、ホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検します（図125）。
損傷がある場合は、交換してください。

安全のために：
バッテリーを点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。



図　125

グリースガンを使用してリヤキャスターに注油します。 Lubriplate
EMBグリース（テナントパーツ番号01433-1）を使用します（図126）。



図　126

200時間の運転毎の整備

バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください（図125）。「バッテリー」を参照してください。

安全のために：
バッテリーを点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。



図　127

電動式モーター

説明に従って、モーターのカーボンブラシを交換してください。
カーボンブラシの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください。

カーボンブラシの交換	累積使用時間
バキュームモーター	750
走行モーター	1250
ディスクブラシモーター	1250
シリンダーブラシモーター	1250
環状ブラシモーター	1250

BELTS（シリンダーブラシモデル）

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

1250時間の運転毎にベルトを交換してください。
ベルトの交換については、訓練を受けた担当者に問い合せてください（図128）。

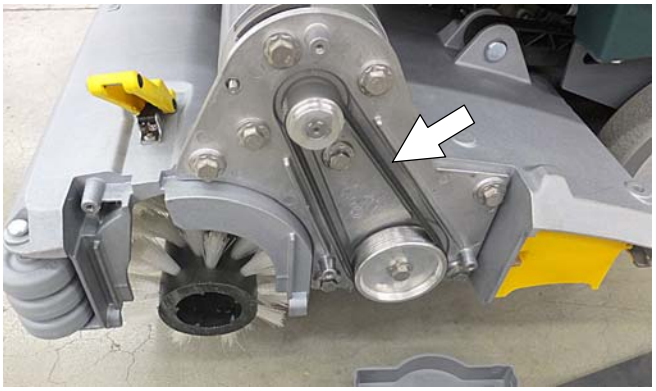


図　128

バッテリー

安全のために：
本機の点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

本機には、テナントが提供する液式（湿式）鉛酸バッテリーまたはメンテナンスフリー（密閉式AGM）バッテリーが装備されています。

バッテリー寿命は適切に点検整備されているかどうかにより異なります。
バッテリーを長く使用するためには、次の点に注意してください。

- バッテリーの充電は一日一回までとし、少なくとも15分以上使用した後に行ってください。
- バッテリーを部分的に消費した後、長期間放置しないでください。
- ガスの蓄積を防止するために、通気の良好な場所でバッテリーを充電してください。-
- 本機を再度使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。-
- 液式（湿式）鉛酸バッテリーセルの電解液レベルを毎週点検し、適切な電解液レベルを維持してください。

安全のために：
バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。

安全のために：
本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。
バッテリー液には触れないでください。

メンテナンスフリーバッテリー

メンテナンスフリー（密閉型AGM）バッテリーは補水が不要です。
清掃やその他の日常の整備点検は必要です。

液式（湿式）鉛酸バッテリー

湿式（鉛酸）バッテリーは、以下に示すように、定期的な補水を必要とします。
バッテリーは、毎週、電解液レベルを確認してください。

注記：
本機が自動または手動バッテリー補水システムを搭載している場合、「バッテリー補水システム」の説明を参照してください。

充電前に、図に示すように、電解液レベルがバッテリープレートのわずかに上であることを確認してください（図129）。
液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。
過充填に注意してください。
充電中に電解液が膨張し、溢れる場合があります。
充電後、確認用チューブの約3mm（0.12インチ）下まで蒸留水を補給できます。



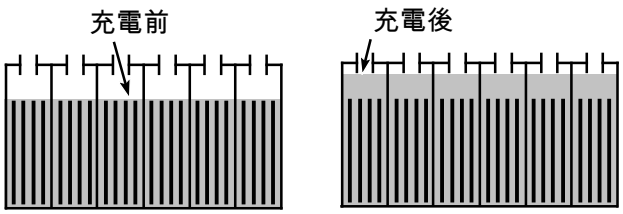


図　129

注記：
充電中はバッテリーキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
バッテリーの充電後、硫黄の匂いがすることがあります。これは問題ありません。

接続の点検/清掃

約200時間の運転後、バッテリーの接続に緩みがないか点検し、バッテリーが腐食しないように、端子、ケーブルクランプを含む、バッテリーの表面を清掃してください。
洗浄ブラシにはベーキングソーダと水の濃度の高い混合液を使用してください（図130）。
バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを外さないでください。



図　130

バッテリーの充電

本マニュアルに記載されている充電の説明は、本機に付属するバッテリー充電器を対象としています。
テナント社純正またはテナント社認定のバッテリー充電器以外の使用は禁止されています。

本機に定置型充電器が付属している場合、操作説明については充電器のオーナーマニュアルを参照してください。推奨バッテリー充電器については、販売店またはテナント社までご連絡ください。

安全のために：
互換性のない充電器を使用すると、バッテリーパックが損傷し火災を引き起こす恐れがあります。

重要事項：
バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。
異なる種類のバッテリーまたはバッテリー容量（液式/湿式鉛酸バッテリー、メンテナンスフリーバッテリー、密閉型バッテリー、AGM
バッテリーなど）に交換する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。
「バッテリー充電器の設定」を参照してください。

1. 本機を通気の良好な場所に移動してください。

⚠ 警告：バッテリーは水素ガスを排出します。
爆発や発火の危険があります。
充電中は、火花や裸火を近づけないでください。

2. 本機を平坦で乾燥した表面に停め、本機の電源を切り、キーを外します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

3. 本機に液式（湿式）鉛酸バッテリーが装備されている場合は、毎週、充電する前に電解液レベルを点検してください。
   自動補水システムを搭載しているモデルの場合、自動バッテリー補水タンクを再充填する必要があるか点検してください。
   液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。

4. 搭載型充電器を装備しているモデルの場合、充電器の電源コードをストレージフックから取り外し、適切に接地された壁面のコンセントに電源コードを差し込んでください（図131）。

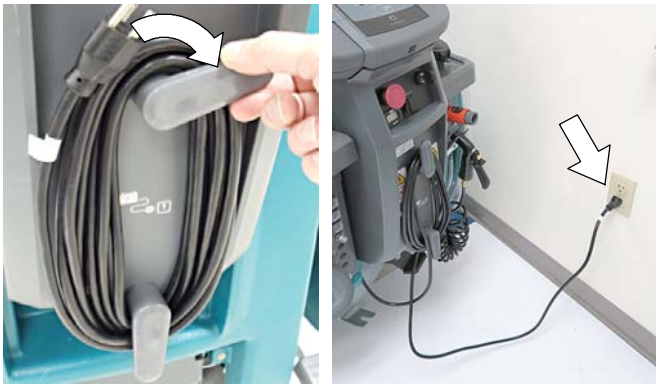


図　131

定置型充電器を装備しているモデルの場合は、最初に充電器のDCコードをバッテリー充電器のソケットに接続し、次にAC電源コードを適切に設置された壁面のコンセント差し込んでください。
（図132）。
操作説明については、定置型充電器のオーナーマニュアルを参照してください。

安全のために：
充電器の使用中は、定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。
アーク放電が発生することがあります。
充電を中断する場合は、最初に AC 電源コードを外してください。

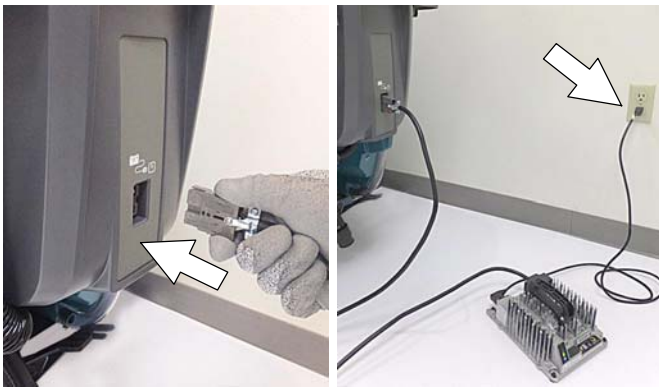


図　132

5. 充電器は自動的に充電を開始し、バッテリーが完全に充電されると電源が切れます。
   最大の充電サイクルは、バッテリーの種類により、6～12時間かかります。
   搭載型のバッテリー充電器：
   充電サイクル中はバッテリー放電インジケーターライトが順番に点滅を繰り返します。
   5つのライトのすべてが2回連続の点滅を繰り返す時点で、充電サイクルは完了しています（図133）。



Pro-Membrane　　Pro-Panel

図　133

注意：
充電器が電源に接続されている間は、バッテリーケーブルの接続を外さないでください。サーキットボードが損傷する可能性があります。

6. 充電後、電源コードを取り外し、コードフックの周りに巻き付けてください。
   定置型充電器を装備したモデルの場合、充電器を本機から取り外す前に、必ずAC電源コードを抜いてください。

バッテリー充電器の設定

バッテリー充電器は、本機に付属するバッテリーの充電専用に設定されています。
異なる種類のバッテリーまたはバッテリー容量に変更する場合、バッテリーの損傷を防止するために、バッテリー充電器のプロファイルを変更する必要があります。

また、バッテリーの損傷および/または稼働時間の短縮を防止するため、本機をバッテリーの種類に合わせてプログラムし直す必要もあります。

注記：
出荷時にバッテリーが搭載されていない機種の場合、本機と搭載型のバッテリー充電器はデフォルトでGELバッテリー対応に設定されています。
異なる種類のバッテリーを使用する場合、以下に説明するように、設定を変更する必要があります。

注記：
出荷時にバッテリーが搭載されておらず、定置型充電器が同梱された機種の場合、定置型充電器は工場出荷時に180～240
AH液式（湿式）鉛酸バッテリー対応に設定されています。
本機は、デフォルトでGELバッテリー対応に設定されています。
本機は、充電器の設定に適合するようプログラムし直す必要があります（下記の「定置型バッテリー充電器」を参照してください）。

定置型バッテリー充電器:

1. 定置型バッテリー充電器の設定を変更するには、*「定置型充電器ソケット設定」を参照してください。*
2. 定置型充電器の設定に適合するようにプログラムし直すには、下記を参照してください。

T600eのMembraneおよびT600 Pro-Membraneモデル - サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。サービスセンターにお問い合わせください。

T600のPro-Panelモデル-
「バッテリーの種類の選択」を参照してください。

T600eのMembraneモデル



T600のPro-Membraneモデル



T600のPro-Panelモデル



定置型充電器ソケット設定:

注記：
以下の手順は、テナント社製のDelta-Q定置型充電器モデルRC-900-U36を対象としています。

1. 現在のプロファイル設定を表示するには、「Select Charge Profile（充電プロファイルの選択）」ボタンを押します（図134）。
   プロファイル設定は、先頭の2つの赤色のフラッシュの後ろに続く緑色のフラッシュの数によって示されます。 このコードは2回繰り返されます。
   例: プロファイル設定3: ☼☼☼☼☼
   （フラッシュ: 赤-赤-緑-緑-緑）
   例: プロファイル設定4-3: ☼☼☼☼☼☼ ‖ ☼☼☼
   （フラッシュ: 赤-赤、緑-緑-緑-緑 - 休止 - 緑-緑-緑）



図　134

2. バッテリー選択モードを入力して新しいプロファイル設定を選択するには、「Select Charge Profile（充電プロファイルの選択）」ボタンを5秒間押し続けます。
   赤色ですばやく点滅すると、選択モードになったことを示します。
3. これにより、インジケーターに現在のプロファイル設定が表示されます。
   これが4回繰り返されます。
   例: プロファイル設定3: ☼☼☼☼☼
   （フラッシュ: 赤-赤-黄-黄-黄）
4. プロファイル設定を変更するには、現在の設定が4回繰り返される間に、「Select Charge Profile（充電プロファイルの選択）」ボタンを押します。
   表に示されるとおりに目的のプロファイル設定がフラッシュするまでボタンを押し続けます。

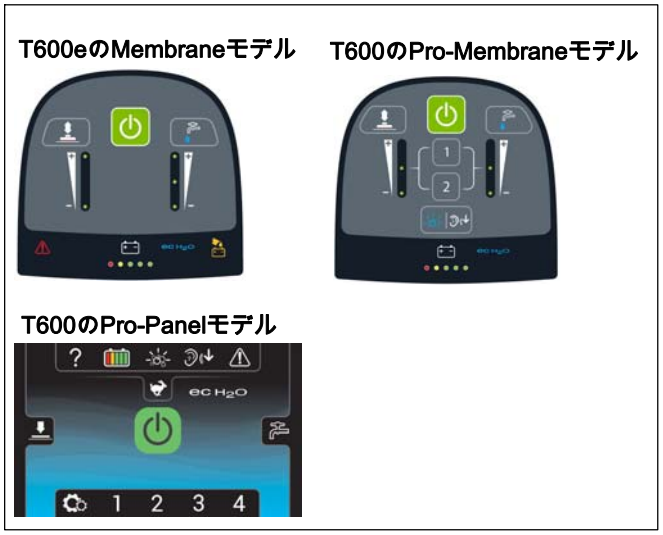
プロファイル設定	バッテリーの説明
3	湿式、Trojan 180~240 AH
7	湿式、Trojan 270~360 AH
2-1	湿式、TAB/Enersys 180~260 AH
2-8	Gel、Deka 180~200 AH
4-3	AGM、Discover 200~400 AH
5-1	Gel、Sonnenschein 150~250 AH
1-6-8	TPPL、12XFC48 / 12XFC58 / 12XFC60

5. 新しい設定を保存するには、新しい設定が緑色のフラッシュで表示されるまでボタンを7秒間押し続けます。
   新しい設定が2回繰り返されますが、この繰り返しの間に赤色のフラッシュが表示されます。
6. ステップ1を繰り返して新しい設定を確認します。

搭載型のバッテリー充電器：

T600eのMembraneおよびT600のPro-Membraneモデル
-搭載型バッテリー充電器の設定を変更し、本機のソフトウェアを再プログラムするには、サービスアプリケーションソフトウェアが必要です。
サービスセンターに連絡してください。

T600のPro-Panelモデル -
搭載型バッテリー充電器の設定を変更するには、*「バッテリーの種類の選択」を参照してください。*
バッテリー放電インジケーターは、バッテリーの選択に適合するように自動的に再プログラムされます。



バッテリーの種類の選択
（T600のPro-Panelモデル）

注記：
この手順を実施するには、本機が管理者モードに設定されている必要があります。
マニュアルの裏面の「管理者コントロール」を参照してください。

1. キーをオンの位置に回します。
2. ホーム画面の設定ボタンを押します（図135）。

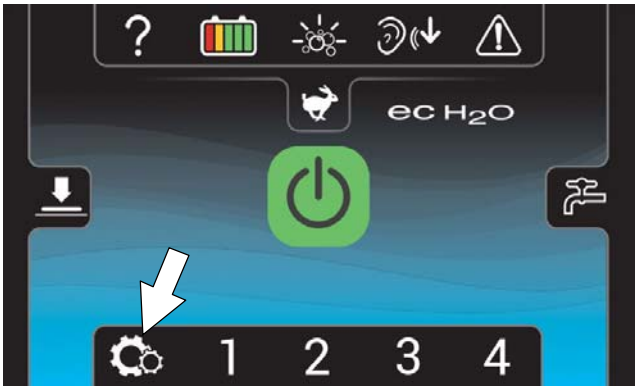


図　135

3. 「バッテリーの種類」ボタンを押します（図136）。

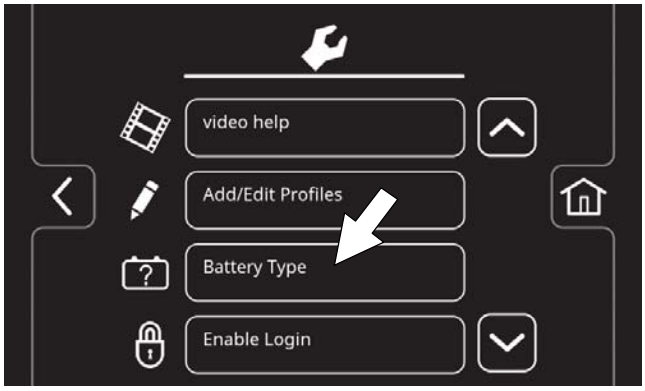


図　136

4. 本機に搭載されたバッテリーの種類とブランドを選択します（図137）。
バッテリーラベルを参照して、種類とブランドを見つけます。
上および下矢印を押して、バッテリーの選択をスクロールして参照します。

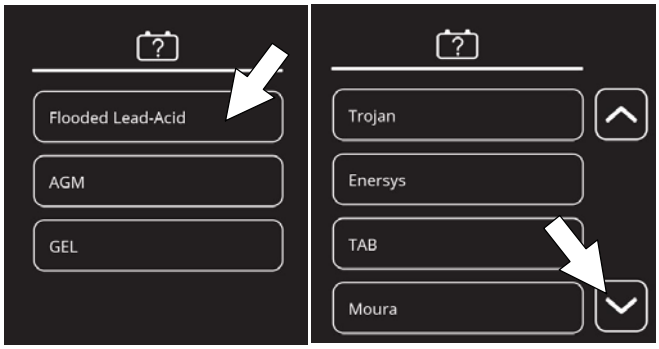
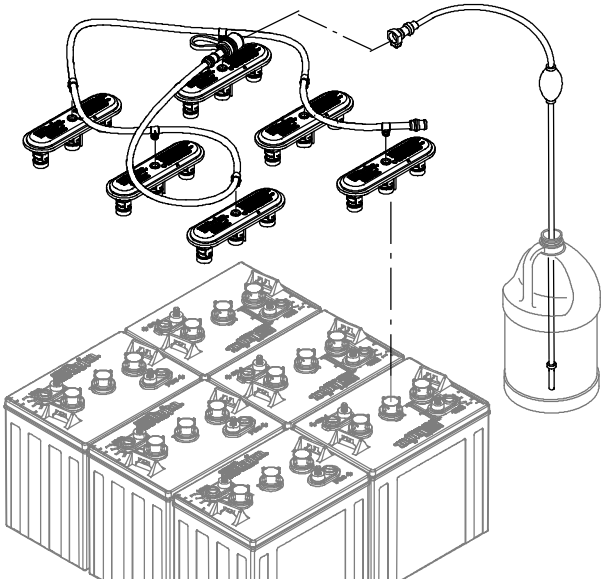


図　137

注記：
バッテリー充電プロファイルと本機のソフトウェアは、バッテリーの種類が選択されると自動的に再プログラムされす。

HYDROLINK³バッテリー補水システム（Trojan®バッテリーオプション）

以下の説明は、オプションのHydroLinkバッテリー補水システムを装備したモデルに適用します。



オプションのHydroLinkバッテリー補水システムは、バッテリーの適切な電解液レベルを安全かつ簡単に保つ機能を提供します。 本製品は、Trojan
液式（湿式）鉛酸バッテリー専用に設計されています。

安全のために：
本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

バッテリー補水システムを使用する前に、ホースと接続部に損傷や摩耗がないことを点検してください。

1. バッテリー補水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。
   充電前にバッテリーに水を加えないでください。
   充電中に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。
2. 充電完了後は、バッテリーカバーの上にあるバッテリー電解液レベルインジケーターで充電の状態を確認してください（図138）。
   レベルインジケーターが白色の場合は、以下に示す方法で水を追加してください。
   インジケーターが黒色の場合は、電解液レベルは正常です。水を追加する必要はありません。



図　138

3. バッテリー室内のバッテリーフィルホースカプラを見つけます。
   ダストキャップを外し、手動ポンプのホースを接続します（図139）。

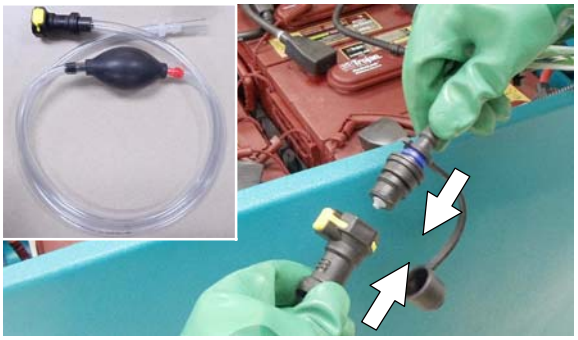


図　139

4. 手動ポンプのホースのもう一端を蒸留水タンクに挿入します（図140）。



図　140

5. 手動ポンプのホースの球体部分を握って放す動作を繰り返し、液体を注入します（図141）。
満タンになるとインジケーターが黒色に変わります。

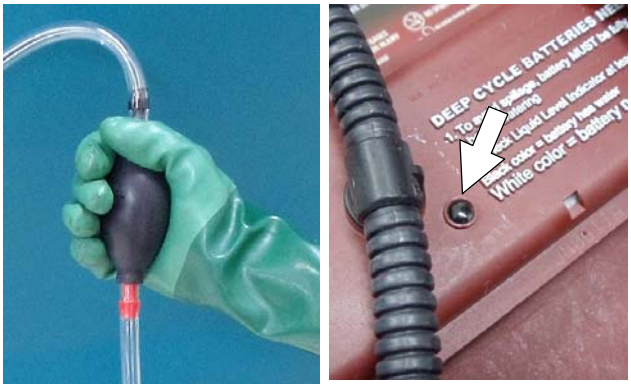


図　141

6. 給水後、バッテリーフィルホースのダストキャップを元に戻し、後日の使用に備えて手動ポンプのホースをバッテリー室に収納してください。

自動バッテリー補水システム（Trojan®バッテリーオプション ）

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

自動バッテリー補水システムは、本機が充電サイクルの制限数に達すると自動的にバッテリーを再充填するように設計されています。
バッテリーキャップを取り外して、手動でバッテリーに水を補充しないでください。

自動バッテリー補水システムのホースの漏れや接続の緩み、損傷や摩耗がないかを点検してください。（図142）。 損傷がある場合は、交換してください。



図　142

自動補水タンクの水位を定期的に点検してください。水位が低い場合は、蒸留水を補充してください（図143）。

安全のために：
本機を整備する際、自動バッテリー補水タンクの充填には必ず蒸留水のみを使用してください。

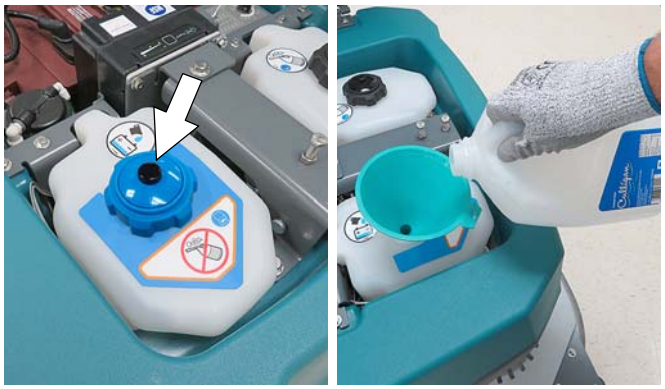


図　143

また、自動バッテリー補水インジケーターは、タンクが空になると、蒸留水を補充するようにユーザーにアラートを通知します（図144 ）。
詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

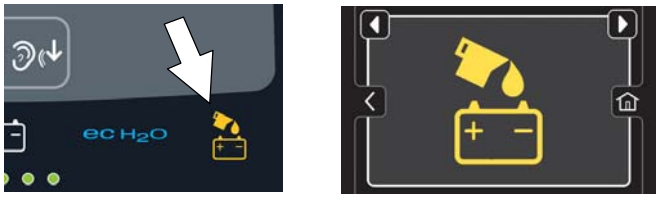


図　144

バッテリー室のドレインホース

バッテリー室から液体を排水するためには、バッテリー室のドレインホースを使用します。

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

安全のために：
本機の点検整備を行う際に、バッテリー室の液体を廃棄する場合は、必ず現場安全規則に従ってください。

1. バッテリー室から安全に排水できる場所に本機の後部を配置し、本機の電源を切り、キーを抜いてください。
2. バッテリー室のドレインホースをホースホルダーから引き抜き、バッテリー室から液体を慎重に排水します（図145）。

安全のために：
本機を点検整備する際は、必要に応じて、個人用保護具を着用してください。
バッテリー液には触れないでください。

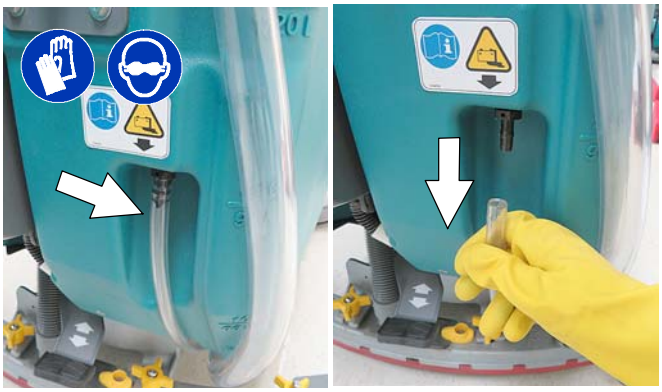


図　145

3. バッテリー室から排水したら、ドレインホースを再びしっかりと接続します。

スクイージーブレードの交換

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

各スクイージーブレードには4ヶ所の拭き取りエッジがあります。
ブレードが磨耗したら、新しい拭き取りエッジの部分を使用するように、両端を逆にするか上下を逆にしてください。
4ヶ所のエッジがすべて磨耗したら、ブレードを交換してください。

1. スクイージーアセンブリーを本機から取り外してください。
2. スクイージーアセンブリーの2つの外側のノブを完全に緩めてください。
   バネ式ブレードリテーナがスクイージーフレームから外れます（図146）。
   ノブを素早く緩めるには、ブレードリテーナとスクイージーフレームを互いに押し付けます。

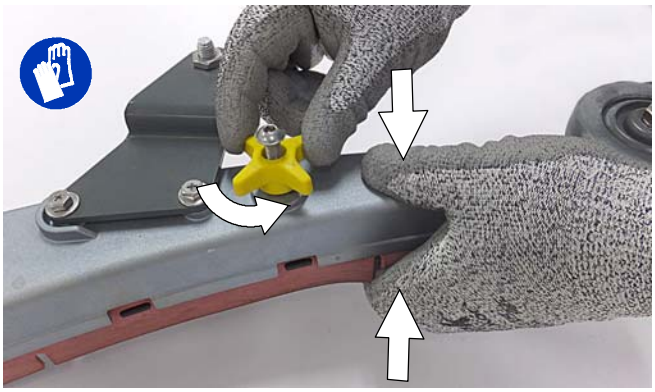


図　146

3. 摩耗したブレードをブレードリテーナから取り外します（図147）。



図　147

4. リヤブレードを新しい拭き取りエッジの位置に入れ替え、ブレードをもう一度取り付けます（図148）。
   ブレードのスロットの位置がリテーナのタブと合っていることを確認してください。

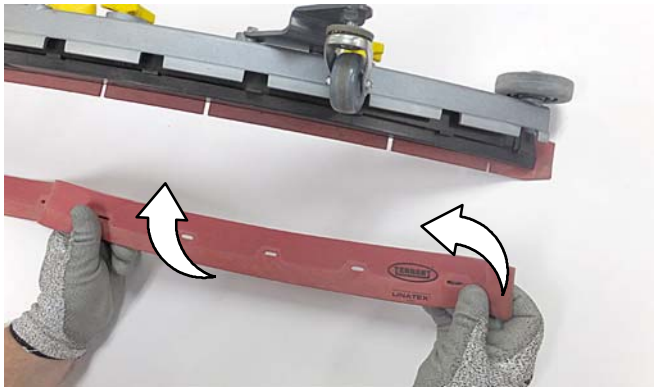


図　148

5. ブレードリテーナとスクイージーフレームを互いに押し付け、2つの外側のノブを再度締め付けます（図149）。

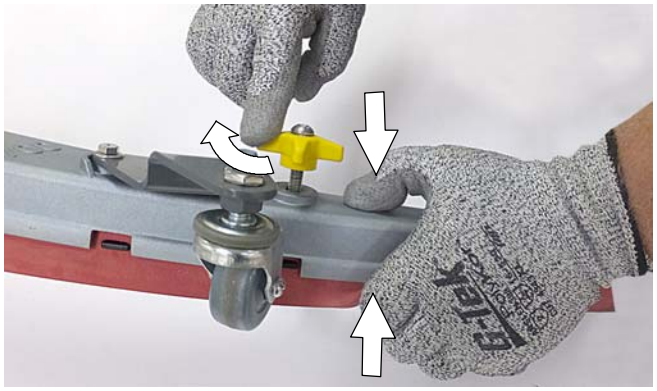


図　149

ec-H2O 水質調整カートリッジの交換

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

水質調整カートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達するかのいずれか早い方の時点で、カートリッジの交換が必要になります。
カートリッジの交換時期はコントロールパネルでお知らせします。
詳細は、「コントロールパネルの操作」を参照してください。

本機の使用状況や使い方によりますが、新しいカートリッジは、本機の使用頻度の高い場合は平均12ヶ月、使用頻度が低い場合は平均24ヶ月使用できます。

注意：*本機を初めて使用するとき、また水質調整カートリッジの交換後は、ec-H2O システムによって選択した洗浄液流量の設定が自動的に最長75分間無効になります。*

1. 本機を平らな場所に停め、キーを抜いてください。
2. 汚水回収タンクを持ち上げてec-H2O水質調整カートリッジにアクセスします（図150）。
   汚水回収タンクは持ち上げる前に空にしてください。



図　150

3. 灰色のカラーを内側に押し、コネクターを外側に引いて、カートリッジ上部から2個のホースコネクターを取り外します（図151）。
カートリッジを持ち上げて取り外します。



図　151

4. 新しいカートリッジのラベルに取り付け日を書き込みます (図152)。



図　152

5. 新しいカートリッジを取り付け、ホース2本を再接続します。
ホースコネクターがカートリッジにしっかりと挿入されていることを確認してください。

6. カートリッジのタイマーをリセットします。

すべての手順をよく読み、その内容を理解した上で、操作手順を実行してください。

a. キーをオンにします。
b. ec-H2O
モジュールにあるサービススイッチを10秒間押し続けます。
サービススイッチを放すと、3個のフローインジケータライトが（波状に）前後に点滅し始めます（図153）。
c. サービススイッチを放してから5秒以内に、インジケーターライトが前後に揺れ動いている間に、素早く、ec-H2O
モジュール上の洗剤流量ボタンを押して放します（図153）。
3つのインジケータライトが3回点滅し、タイマーがリセットされたことを知らせます。
3つのライトが3回点滅しない場合は、このプロセスを繰り返してください。



図　153

本機のジャッキアップ

安全のために：
本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を平らな場所に止め、電源を切り、キーを抜いてください。

整備のために本機をジャッキで持ち上げる際は、指定された場所を使用してください（図154）。
回収および洗浄液タンクを空にして、ジャッキアップする前に、本機を平坦な表面に停めてください。
ジャッキアップするときは、洗浄液タンクのフィルターボウルから離れてください。

安全のために：
本機を点検整備する際は、指定された場所でのみ本機をジャッキアップしてください。
ジャッキスタンドで本機を支えてください。
本機の重量に対応するジャッキまたはホイストを使用してください。

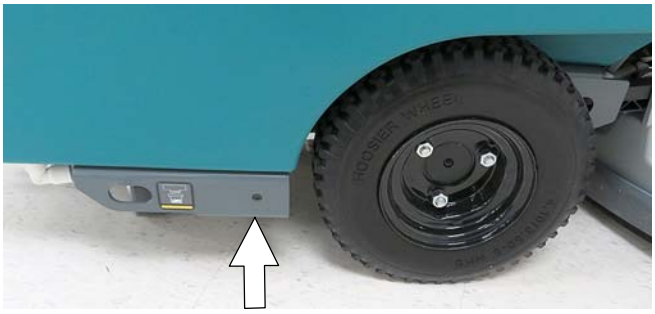


図　154

本機の後押し・輸送

本機の後押し

本機が故障した場合は、以下に示すように押して移動することができます。

本機を押す場合はごく短い距離に限定し、3.2 kph (2 mph) を超える力を加えないようにしてください。
本機は、長い距離や高速で押すようには設計されていません。

電子パーキングブレーキシステムを装備しているモデルの場合は、本機を押す前にブレーキを解除してください。
ブレーキを解除するには、トランスアクスルのブレーキレバーを下げてください (図155)。

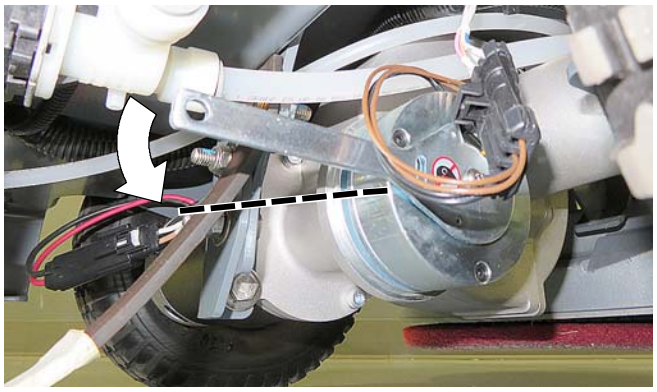


図　155

注意：
本機を長い距離押したり牽引したりしないでください。走行装置に損傷を引き起こすことがあります。

本機の移動後は直ちに、本機が動かないようブレーキレバーをかみ合わせてください。

注記：
ブレーキレバーが解除されている場合、レバーがかみ合わされるまで前進が無効になり、異常が検出されます。

安全のために：
本機を点検整備する場合、ブレーキが無効な状態で、本機を斜面で押さないでください。

本機の輸送

トレーラーまたはトラックで本機を輸送する場合は、積み込みおよび固定手順に慎重に従ってください。

1. タンクを空にして、洗浄ヘッドを持ち上げ、洗浄ディスクとスクイージーアセンブリーを取り外します。
2. 本機をトレーラーまたはトラックに慎重に積み込んでください。

安全のために：
積み込み/積み降ろしを行う際は、本機およびオペレーターの重量を支えられるランプを使用してください。

安全のために：
積み込み/積み降ろしを行う際は、最大2%の傾斜角度での操作に限定してください。

3. 本機の積み込みが完了したら、本機の前面をトレーラーまたはトラックの前面に向けるように配置してください。
   洗浄ヘッドを下げて電源スイッチを切ってください。
4. それぞれのホイールの後ろに輪留めを置いてください (図156)。
5. 固定用ロープを使用して、本機のフレームの固定ロープ用ブラケットで本機を固定します (図156)。
   トレーラーまたはトラックの床に固定用ブラケットを取り付ける必要がある場合もあります。

注記：
本機をオープントラックやトレーラーで輸送する際は、回収タンク蓋を固定してください。

注意：
コントロールコンソール部やアクセサリーレールを固定位置として使用しないでください。損傷する恐れがあります。

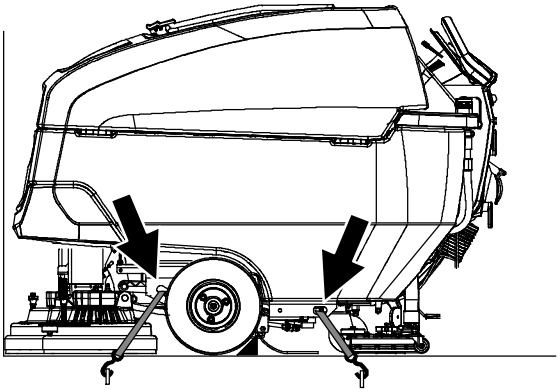
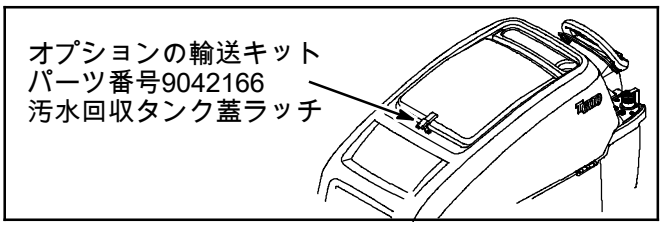


図　156



本機の保管

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。
   1か月に1回、バッテリーを再充電します。
2. 保管する前にバッテリーを外します。
3. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを空にし、洗浄してください。
4. スクイージーと洗浄ヘッドを上に上げたまま、乾燥した場所に本機を保管してください。

注意：
本機に雨がかからないよう、屋内に保管してください。

5. 汚水回収タンクの蓋を開き、空気の循環をよくしてください。
6. 本機を寒冷地で保管する場合は、「凍結防止」を参照してください。

注記：
本機が損傷する危険を避けるために、本機を齧歯動物や昆虫の生息しない環境で保管してください。

凍結防止

氷点下の環境での本機の保管。

1. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを完全に空にしてください。
2. 本機の下にある洗浄液タンクフィルターから水を抜いてください。
   フィルターを交換します（図157）。



図　157

3. 4リットルのプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れます。

   オプションの Severe Environment 洗剤タンク装備モデル -
   本機からタンクを持ち上げてタンクから洗剤を抜きます（図158）。 タンクを元に戻します。
   1リットルのプロピレングリコールを主成分とするRV用不凍液を洗浄液タンクに入れます。

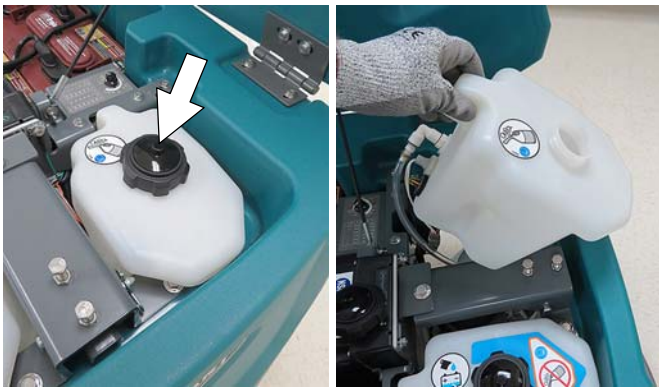


図　158

4. ec-H2Oシステム未搭載のモデル -
   本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量システムを作動させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。

   ec-H2O システムと Severe Environment モード搭載のモデル -
   洗浄洗剤混合率ダイヤルを最大流量に設定します。
   本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を「高」に設定します。 ec-H2O 洗浄を作動させ、Severe Environment ボタンを押して、両方のシステムに不凍液を循環させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。
   このプロセスは最長2分かかります。

   ec-H2Oシステム搭載のモデル -
   本機の電源スイッチをオンにして、洗浄液流量を設定し、ec-H2O洗浄を作動させて不凍液をシステムに循環させます。
   床に不凍液が見えたら、本機の電源スイッチをオフにしてください。
   このプロセスは最長2分かかります。

   オプションのスプレーノズル搭載のモデル -
   スプレーノズルを作動させてポンプに不凍液を循環させます。

5. 自動バッテリー補水タンク搭載のモデル -
本機からタンクを持ち上げて、タンクから水を抜きます (図159) 。

重要:
自動バッテリー補水タンクに不凍液を決して追加しないでください。

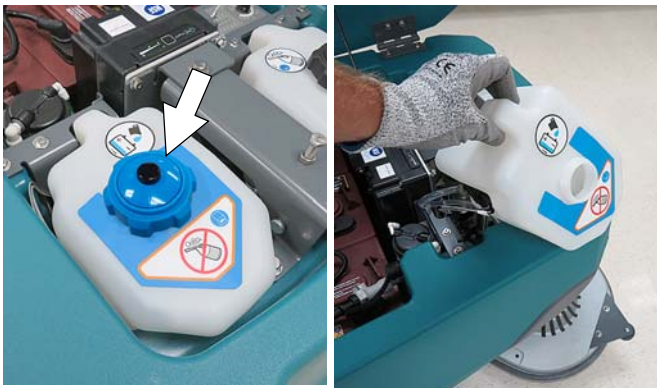


図　159

6. 本機を氷点下の環境で保管した後は、残りの不凍液を洗浄液タンクとオプションの Severe Environment 洗剤タンクから除去してください。洗浄液タンクとオプションの洗剤タンクにきれいな水を補充して本機とスプレーノズルを操作し、不凍液を洗い流してください。
7. 自動バッテリー補水タンクが搭載されている場合は、補水タンクに蒸留水を補充してください。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
サービスインジケーターアイコンの点滅	本機または搭載型充電器で異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
ec-H2O アイコンの赤色の点灯または点滅	ec-H2O システムで異常が検出されました	「サービスインジケーターコード」を参照
ec-H2Oアイコンの赤色および青色の点滅	ec-H2Oカートリッジが水の使用量の最大限度に達するか、有効期限に達した	ec-H2Oカートリッジを交換してください
本機が動作しない	非常停止ボタンが有効化されている	ボタンを回して、リセットしてください
	本機の故障が検出された	「サービスインジケーターコード」を参照
	バッテリーの放電	バッテリーを充電してください
	バッテリーケーブルの緩み	緩んだケーブルを締め付けてください
	バッテリーの故障	バッテリーを交換してください
	キースイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	スタートペイルスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
搭載型充電器が動作しない	プラグが電源に接続されていません	プラグの接続を点検してください
	バッテリーの過放電	バッテリーを交換してください
	充電器の異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	充電器の故障	充電器を交換してください
	電源コードの異常	電源コードを交換してください
本機が走行しない	走行で異常が検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	サーキットブレーカーの作動（T600e）	サーキットブレーカーをリセットしてください
	電子パーキングブレーキシステムが解除されている（オプション）	「本機の後押し・輸送」を参照してください
	走行モーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
ブラシモーターが動作しない	ブラシモーターで異常が検出されました。	「サービスインジケーターコード」を参照
	パッドモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動（T600e）	サーキットブレーカーをリセットしてください
	モーター内のカーボンブラシの摩耗	サービスセンターに連絡してください
	ベルトの損傷または緩み（シリンダーブラシモデル）	サービスセンターに連絡してください

故障診断 -続き

問題	原因	解決策
バキュームモーターが動作しない	スクイージーアセンブリーが床から浮いています	スクイージーアセンブリーを床まで下げてください
	バキュームモーターの異常検出	「サービスインジケーターコード」を参照
	バキュームモーターまたは配線の異常	サービスセンターに連絡してください
	サーキットブレーカーの作動	サーキットブレーカーをリセットしてください
洗浄 性能不良	ブラシ/パッドのごみの詰まり	ごみを取り除いてください
	ブラシ/パッドの摩耗	パッド / ブラシを交換してください
	不適切なブラシ圧	ブラシ圧を調整してください
	不適切なブラシ/パッドの種類	用途に適したブラシ/パッドを使用してください
	バッテリー残量の低下	バッテリーを充電してください
	ブラシ圧が不均等	洗浄ヘッド/ブラシが不均一です。 サービスセンターに連絡してください
	ベルトの損傷または緩み (シリンダーブラシモデル)	サービスセンターに連絡してください
水が残る、またはまったく水を吸引しない	汚水回収タンクが満杯または泡が過剰に発生	汚水回収タンクを空にしてください
	ドレンホースキャップの緩み、またはフローコントロールバルブが開放されています	キャップを締め直すか、フローコントロールバルブを閉じてください
	スクイージーブレードの磨耗	スクイージーブレードを位置交換するか、新しいものと交換してください
	スクイージーブレードのゆがみが不良	スクイージーブレードの高さを調節
	ドリップトラップの詰まり (スクイージーアセンブリー)	カバーを外し清掃してください
	スクイージーアセンブリーの詰まり	スクイージーアセンブリーを掃除してください
	バキュームホースの接続部の緩み	バキュームホースをしっかりと接続してください
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄してください
	バキュームホースの損傷	バキュームホースを交換してください
	汚水回収タンクのフロート停止スクリーンの詰まり	スクリーンを掃除してください
	汚水回収タンク蓋が完全に閉まっていない	蓋に異物が挟まっていないか確認してください
	汚水回収タンク蓋のシール不良	シールを交換してください

故障診断 -続き

問題	原因	解決策
洗浄液が殆どまたはまったく流れない	洗浄液タンクを空にしてください	洗浄液タンクに洗剤を入れてください
	洗浄液の流量設定が低い	洗浄液の流量を上げてください
	洗浄液タンクフィルターの詰まり	フィルターを清掃してください
	洗浄液供給ラインの詰まり	洗浄液供給ラインを洗浄してください
Severe Environment タンクから洗剤が散布されない	洗剤がない	タンクに洗剤を充填してください
	フロートスイッチの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプのポテンショメーターの故障	サービスセンターに連絡してください
	コントロールパネルの故障	サービスセンターに連絡してください
自動バッテリー補水タンクが水を供給しない	タンクが空	タンクに洗剤を充填してください
	ポンプの故障	サービスセンターに連絡してください
	ポンプが呼び水を差さない	サービスセンターに連絡してください
	コントロールボードの故障	サービスセンターに連絡してください
稼働時間が短い	バッテリー残量の低下	バッテリーを充電してください
	バッテリーのメンテナンスが必要	「バッテリー」を参照してください
	バッテリーの故障またはバッテリー寿命の限界	バッテリーを交換してください
	バッテリー放電インジケーター（BDI） の誤ったプログラム設定	「バッテリーの充電」を参照してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	ブラシの圧力設定が高すぎる	ブラシ圧を下げてください
洗浄液タンクの自動補水機能が不良	カプラの不適切な接続	カプラを接続してください
	停止フロートの故障	フロートを交換してください。 サービスセンターに連絡してください
	本機が平坦な表面に置かれていない	本機が平坦な表面に置いてください
洗浄ヘッドの過剰な騒音（環状モード）	洗浄ヘッド絶縁装置の損傷	絶縁装置を交換してください サービスセンターに連絡してください

本機の一般的な寸法/容量/性能

モデル	700 mmディスク	800 mmディスク	900 mmディスク
長さ	1617 mm	1671 mm	1761 mm
幅	764 mm	865 mm	955 mm
高さ	1107 mm	1107 mm	1107 mm
重量（バッテリーを除く）	210 kg	212 kg	214 kg
重量 （最重量バッテリー込み）	470 kg	471 kg	473 kg
車両総重量	591 kg	593 kg	595 kg
洗浄液タンク容量	121 L		
汚水回収タンク容量	140 L		
Severe Environmentタンク容量（T600）	4 L		
自動バッテリー補水タンク容量	4 L		
洗浄幅	700 mm	800 mm	900 mm
スクイージー幅	973 mm	1049 mm	1234 mm
ブラシ接地圧（T600e）	低： 68 kg、高: 90 kg		
ブラシ接地圧（T600）	低： 45 kg、中: 68 kg、高: 90 kg		
ブラシ接地圧 （T600eのヘビーデューティ用接地圧モデル）	データなし	低： 68 kg、 高： 90 kg ヘビーデューティ: 136 kg	データなし
ブラシ接地圧 （T600のヘビーデューティ用接地圧モデル）	データなし	低： 45 kg、 中： 68 kg、 高： 90 kg ヘビーデューティ: 136 kg	データなし
洗浄速度、可変式	4.8 km/時（79 mpm）		
走行速度、可変式	5.3 km/時（88 mpm）		
後退速度、可変式	2.6 km/時（43 mpm）		
通路転回幅	1650 mm	1700 mm	1775 mm
タイヤ	320 mmソリッド、ノンマーキング（標準）		
	320 mm泡充填、320 mmエアー式（圧力: 60~65 psi / 415~450 kPA）		
清掃効率 - 推定実際値	2230 m^2/時	2573 m^2/時	2916 m^2/時
ec-H2O生産性洗浄面積 - 標準	2681 m^2/時	3094 m^2/時	3248 m^2/時
最大運転勾配	2%		
洗浄液の流量	低： 1.89 L/分、中: 2.84 L/分、高: 3.78 L/分		
ec-H2O洗浄液の流量	低： 0.83 L/分、中: 1.25 L/分、高: 1.66 L/分		
ブラシモーター（T600e）	2~36 VDC、0.56 kW、22 A、200 rpm		
ブラシモーター（T600）	2~36 VDC、0.75 kW、30 A、300 rpm		
ブラシアクチュエーターモーター（T600e）	36 VDC		
ブラシアクチュエーターモーター（T600）	36 VDC		
走行モーター	36 VDC、380 W、12.6 A		
バキュームモーター	36 VDC、0.56 kW、15.6 A		
水吸引力	1270 mm		
ec-H2O洗浄液ポンプ	36 VDC、5 A、5.7 L/分、最小開放流量		
Severe Environment洗浄液ポンプ（T600）	24 VDC、0.06 L/分、最大開放流量		
自動バッテリー補水ポンプ	12 VDC、4 A、3.5 L/分、最小開放流量		
スプレーノズルポンプ（T600）	36 VDC、2.3 A、18.5 L/分、最大開放流量		

本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き

モデル	700 mmディスク	800 mmディスク	900 mmディスク
本機の電圧	36 VDC		
バッテリー容量（APAC）	6～6 V 240AH C/20 湿式、6～6 V 360 AH C/20 湿式		
総電力消費量	50 A 公称 / 1.8 kW		
バッテリー充電器 - 搭載型（グローバル）	100~240 VAC、50/60 Hz、36 VDC、25 A		
バッテリー充電器 - 定置型（スマート）	100~240 VAC、50/60 Hz、36 VDC、25 A		
保護等級	IPX3		
音圧レベルL_{pA}*	69.5 dB（A）		
音圧レベルL_{pA}* - 静音モード	62.2 dB（A）		
音の不確定性 K_{pA}*	3 dB（A）		
音響出力レベルの不確定性 L_{wA} + 不確定性 K_{wA} +*	89.3 dB（A）		
本機の手腕振動*	<2.5m/s^2		
動作周囲温度	最小： 2°C、最大: 43°C		

*IEC 60335-2-72基準値。仕様は事前の通知なく変更する場合があります。

本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き

モデル	700 mmシリンダー	800 mmシリンダー	700 mm環状
長さ	1637 mm	1625 mm	1590 mm
幅	792 mm	892 mm	746 mm
高さ	1107 mm	1107 mm	1107 mm
重量（バッテリーを除く）	218 kg	219 kg	222 kg
重量（最重量バッテリー込み）	477 kg	478 kg	481 kg
車両総重量	599 kg	600 kg	603 kg
洗浄液タンク容量	121 L		
汚水回収タンク容量	140 L		
Severe Environmentタンク容量（T600）	4 L		
自動バッテリー補水タンク容量	4 L		
洗浄幅	700 mm	800 mm	700 mm
スクイージー幅	973 mm	1049 mm	973 mm
ブラシ接地圧（T600e）	低： 23 kg 高： 41 kg		低： 48 kg 高： 77 kg
ブラシ接地圧（T600）	低： 23 kg 中： 32 kg 高： 41 kg		低： 48 kg 中： 61 kg 高： 77 kg
洗浄速度、可変式	4.8 km/時（79 mpm）		
走行速度、可変式	5.3 km/時（88 mpm）		
後退速度、可変式	2.6 km/時（43 mpm）		
通路転回幅	1700 mm	1713 mm	1540 mm
タイヤ	320 mmソリッド、ノンマーキング（標準）		
	320 mm泡充填、320 mmエアー式（圧力: 60~65 psi / 415~450 kPA）		
清掃効率 - 推定実際値	2230 m^2/時	2573 m^2/時	2230 m^2/時
ec-H2O生産性洗浄面積 - 標準	2681 m^2/時	3094 m^2/時	2681 m^2/時
最大運転勾配	2%		
洗浄液の流量	低： 1.89 L/分、中: 2.84 L/分、高: 3.78 L/分		
ec-H2O洗浄液の流量	低： 0.83 L/分、中: 1.25 L/分、高: 1.66 L/分		
ブラシモーター（T600e）	2~36 VDC、0.67 hp/0.55 kW、22 A、1800 rpm (ブラシモーター速度 760 rpm)		36 VDC、0.56 kW、18.5 A、2200 rpm

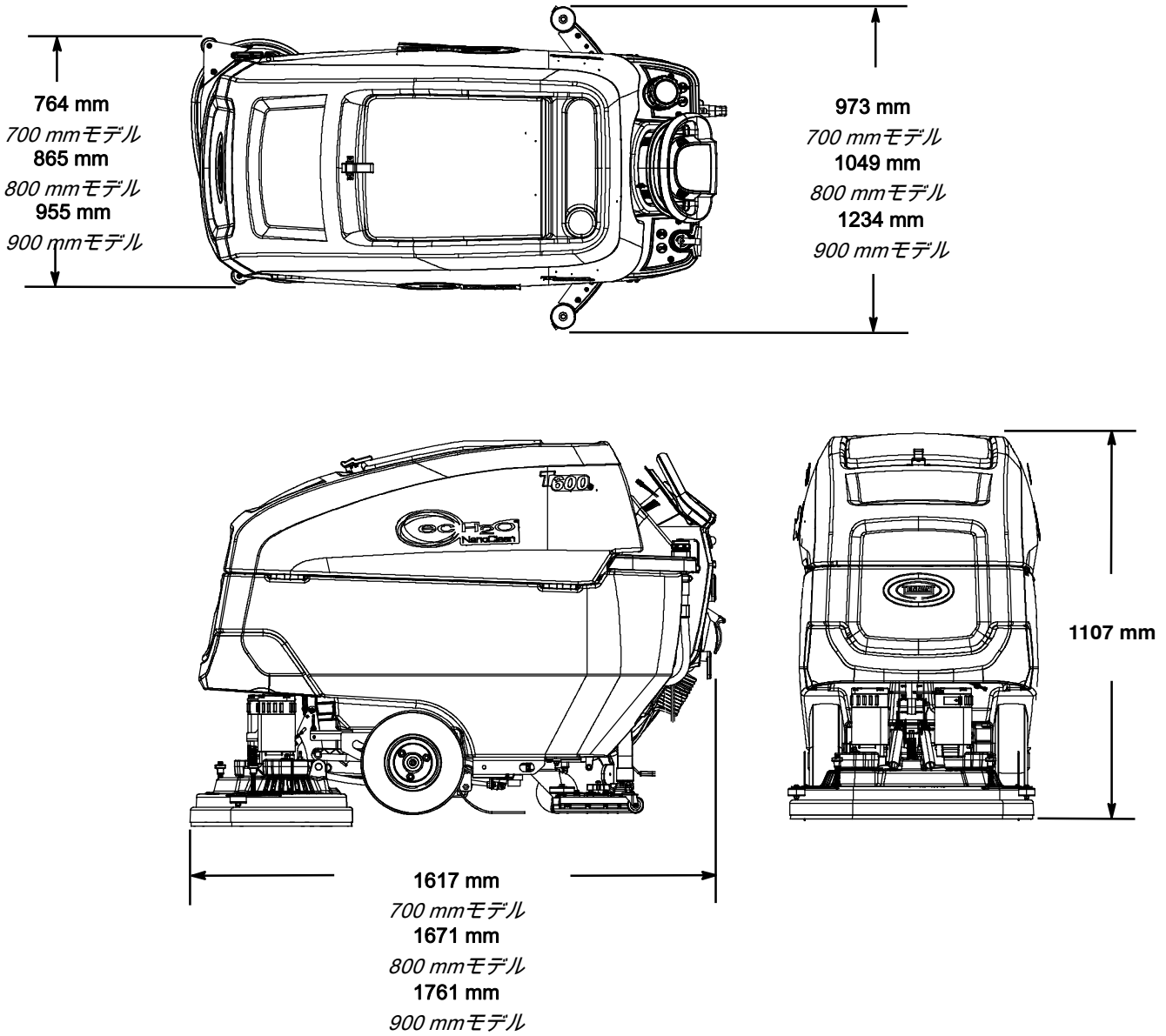
本機の一般的な寸法/容量/性能 - 続き

モデル	700 mmシリンダー	800 mmシリンダー	700 mm環状
ブラシモーター（T600）	2~36 VDC、0.67 hp/0.55 kW、22 A、1800 rpm (ブラシモーター速度 760 rpm)		36 VDC、0.56 kW、18.5 A、2200 rpm
ブラシアクチュエーターモーター（T600e）	36 VDC		
ブラシアクチュエーターモーター（T600）	36 VDC		
走行モーター	36 VDC、380 W、12.6 A		
バキュームモーター	36 VDC、0.56 kW、15.6 A		
水吸引力	1270 mm		
ec-H2O洗浄液ポンプ	36 VDC、5 A、5.7 L/分、最小開放流量		
Severe Environment洗浄液ポンプ（T600）	24 VDC、0.06 L/分、最大開放流量		
自動バッテリー補水ポンプ	12 VDC、4 A、3.5 L/分、最小開放流量		
スプレーノズルポンプ（T600）	36 VDC、2.3 A、18.5 L/分、最大開放流量		
本機の電圧	36 VDC		
バッテリー容量（APAC）	6～6 V 240AH C/20 湿式、6～6 V 360 AH C/20 湿式		
総電力消費量	50 A 公称 / 1.8 kW		
バッテリー充電器 - 搭載型（グローバル）	100~240 VAC、50/60 Hz、36 VDC、25 A		
バッテリー充電器 - 定置型（スマート）	100~240 VAC、50/60 Hz、36 VDC、25 A		
保護等級	IPX3		
音圧レベルL_{pA}*	69.2 dB（A）		69.5 dB（A）
音圧レベルL_{pA}* - 静音モード	62.2 dB（A）		62.3 dB（A）
音の不確定性 K_{pA}*	3 dB（A）		
音響出力レベルの不確定性 L_{wA} + 不確定性 K_{wA} +*	87.8 dB（A）		88.8 dB（A）
本機の手腕振動*	<2.5m/s^2		
動作周囲温度	最小： 2°C、最大: 43°C		

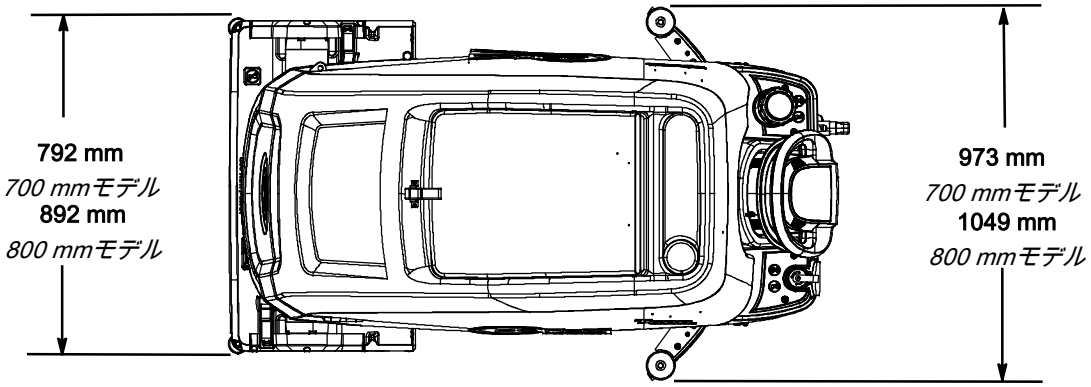
*IEC 60335-2-72基準値。仕様は事前の通知なく変更する場合があります。

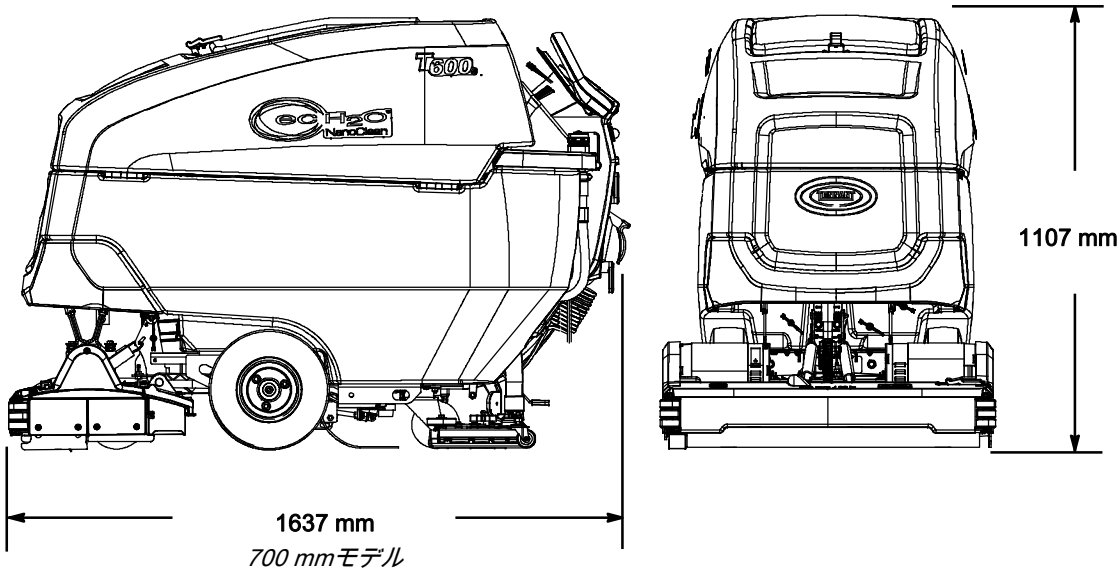
本機の寸法

ディスクモデル

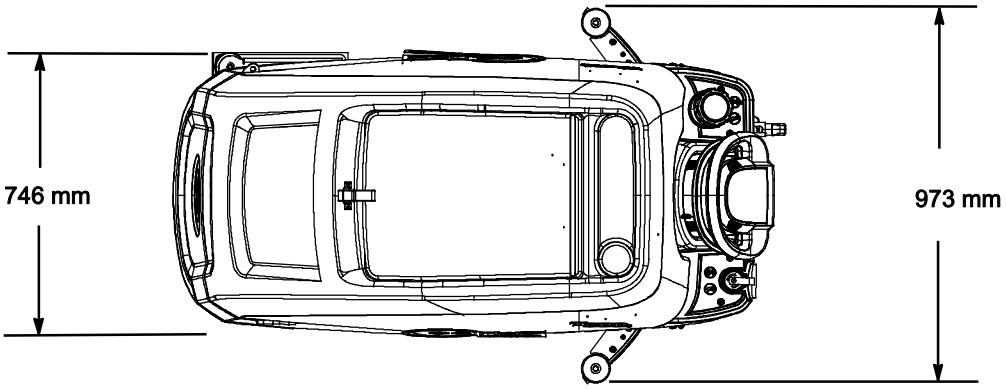


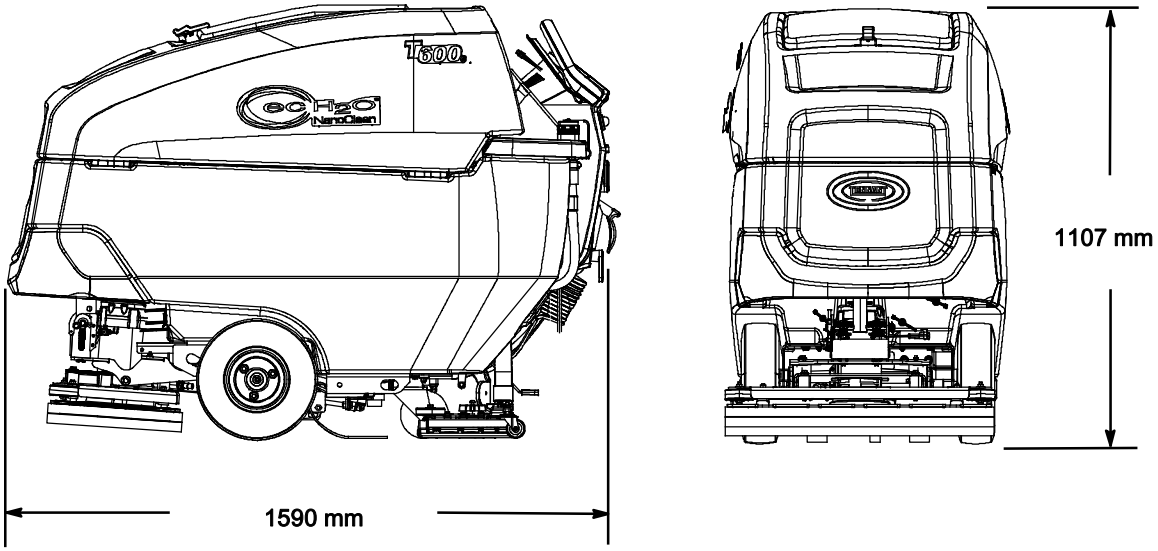
シリンダーブラシモデル





環状パッドモデル





管理者コントロール

注意：以下の手順は管理者のみを対象としています。必要に応じて、マニュアルから該当するページを削除してください。

管理者コントロール機能は、オペレーターが使用できるように本機の洗浄設定を管理者がプログラムすることを可能にします。
ロックアウト機能は、オペレーターによる洗浄設定の変更や保存を防止する機能です。

管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で再現可能な清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を短縮できます。

T600eモデル

本機には、次の2種類の管理者コントロールモードがあります：

ロック解除モード 1：
オペレーターには、ブラシ圧および洗浄液フロー設定の範囲を完全に使用できる機能が用意されています。ロック解除モード1は工場出荷時の初期設定です。

ロックアウトモード 2：
ブラシ圧および洗浄液フロー設定の最大制限は、管理者によってプリセットされ、ロックされます。

管理者コントロールモードの入力

1. 本機を平らな場所に停め、キーをオフ（O）の位置まで回します。
2. ブラシ圧ボタンを押したまま、キースイッチをオンの位置に回します。
   一番右側のバッテリー放電インジケーターLEDが点灯したらボタンを放します（図160）。

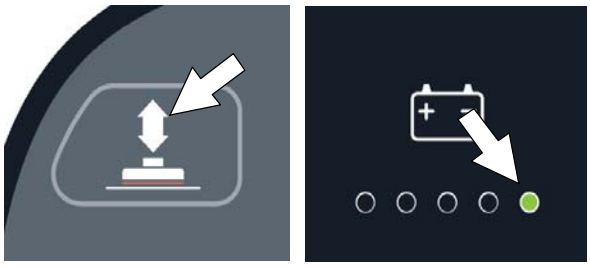
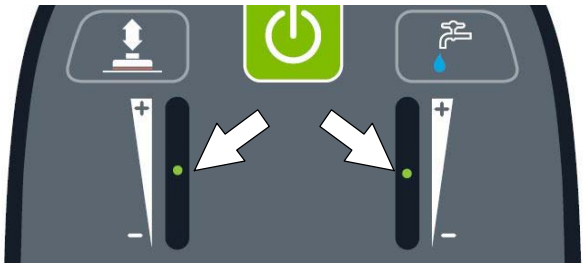


図　160

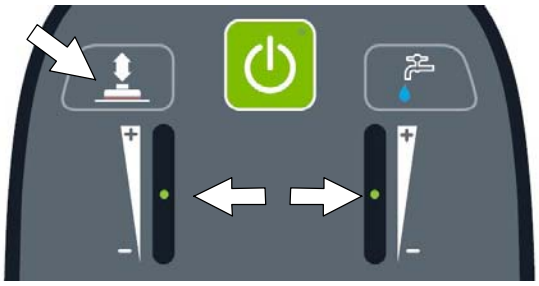
以下に示すように、アクティブモード設定がLEDによって表示されます（図161）。



ロック解除モード 1　　ロックアウトモード 2

図　161

3. ブラシ圧ボタンを押して、2つのモードを切り替えます（図162）。
   選択したモードのLEDが、保存されるまで点滅します。



ロック解除モード 1　　ロックアウトモード 2

図　162

4. 選択したモードを保存するには、LEDが点灯に変わるまで、ブラシ圧ボタンと洗浄液フローボタンを同時に約3秒間押し続けます（図163）。

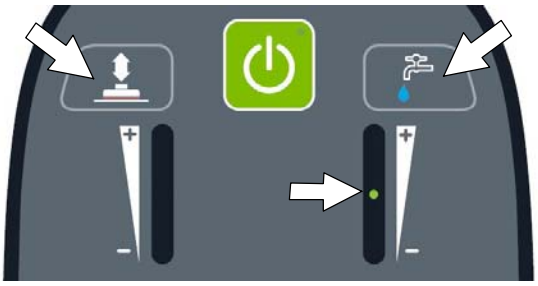


図　163

5. ロックアウトモード2が選択されていた場合、洗浄液フローボタンを押してから、洗浄液フローおよびブラシ圧設定の任意の最大制限を選択します（図164）。

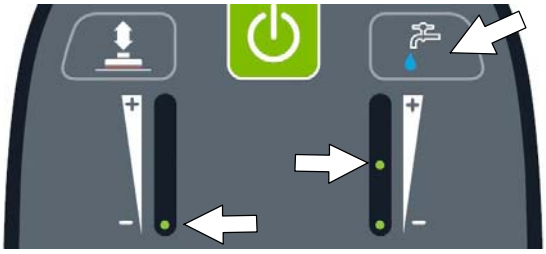


図　164

6. 最大制限を保存するには、LEDが点灯に変わるまで、ブラシ圧ボタンと洗浄液フローボタンを同時に約3秒間押し続けます（図165）。

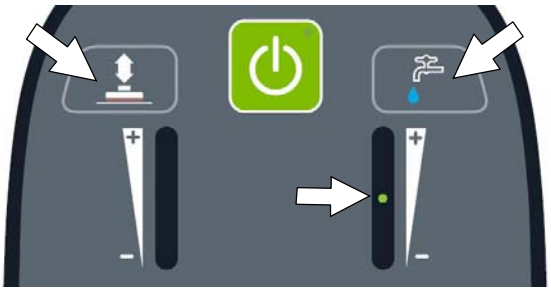


図　165

7. 管理者コントロールモードを終了するには、キーをオフにします。

T600のPRO-MEMBRANEコントロールパネルモデル

本機には、次の3種類の管理者コントロールモードがあります：

ロック解除モード 1：
オペレーターは、プリセットゾーンコントロールボタンを再設定する機能を使用して、すべての洗浄パラメータを制御することができます。
ロック解除モード1は工場出荷時の初期設定です。

ロックアウトモード 2：ゾーンコントロールボタンは管理者によってプリセットされ、ロックされます。
オペレーターはプリセットゾーンコントロールボタンの再設定機能を利用できますが、設定の保存はできません。

ロックアウトモード 3:
ゾーンコントロールボタンが管理者によってプリセットされ、ロックされます。
オペレーターができる操作は、管理者によってプリセットされたゾーンコントロールボタンの利用のみに制限されます。

管理者コントロールモードの入力

1. 本機を平坦な表面に停め、キーをオフ（O）の位置まで回します。
2. キースイッチをオンの位置に回しながら、ブラシ圧ボタンを押します。
   一番右側のバッテリー放電インジケーターLEDが点灯したらボタンを放します（図166）。
   ボタンを放すと、有効化された管理者コントロールモードが、ステップ 3
   の説明に示すように表示されます（図 167）。

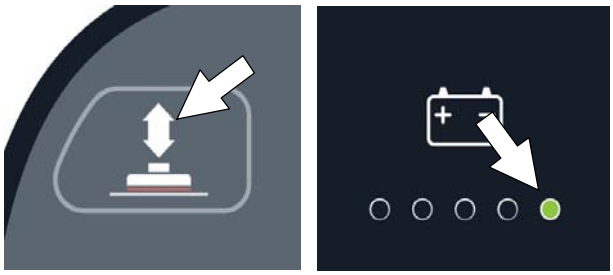
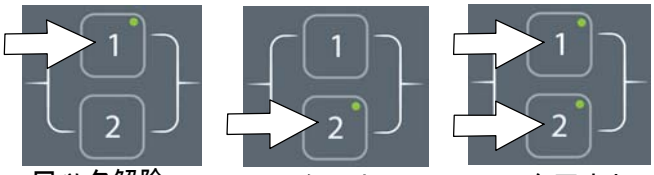


図　166

3. 管理者コントロールモードの選択または変更を行うには、LED
が3回点滅するまで、特定のゾーンコントロールボタンを押し続けます（図167）。
ロックアウトモード3の場合、ゾーンコントロールボタン1と2を同時に押し続けます。
選択を完了すると、LEDは点滅から点灯に変化して、新しいモードが有効化されたことを知らせます。

   ロック解除モード 1 = ゾーンコントロールボタン 1
   ロックアウトモード 2 = ゾーンコントロールボタン 2
   ロックアウトモード 3 = ゾーンコントロールボタン 1 & 2



ロック解除モード 1　ロックアウトモード 2　ロックアウトモード 3

図　167

4. 洗浄液流量ボタンを押して、ロックアウトモード 2 または 3
に対してゾーンコントロールボタンのプリセットを設定します（図 168）。



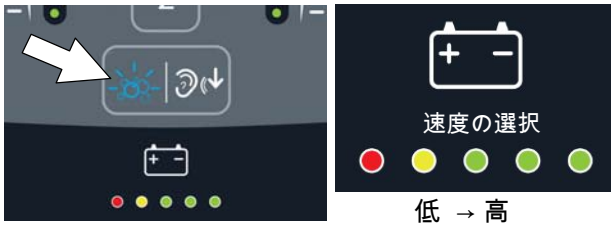
図　168

5. 以下のリストからゾーンコントロールボタンのプリセットを設定して、LED
が3回点滅するまで、ゾーンコントロールボタンを押し続けてプリセットの設定を保存します。
他の2つのゾーンに対しても同じ手順を繰り返します。
ゾーンコントロール3をプリセットするには、ゾーンコントロールボタン1と2を同時に押してください。

   ゾーンコントロールのプリセット：
   - ブラシ圧
   - 洗浄液の流量
   - Quiet-Mode ボタンのオン/オフ
   - ec-H2O モードスイッチのオン/オフ
   - Severe Environment ボタンのオン/オフ
   （ LED
   が点灯するまで3秒ボタンを押し続けます）
   - 最大洗浄速度の設定

   最大洗浄速度の設定を調整するには、Severe Environment
   ボタンを押して、以下の説明に示すように、5段階の速度から選択します（図169)。 Severe Environment
   ボタンのないモデルの場合、図に示すようにパネル上のエリアを押します。 ボタンは非表示です。

   バッテリー放電インジケーターLEDによって各速度が表示されます。
   赤色のLEDは最も遅い速度を表します。
   一番右側の緑色のLED
   は最大速度を表します（図169）。



低 → 高

図　169

注記：
最大洗浄速度の設定は、管理者コントロールロックアウトモード2および3でのみ調整できます。

6. 管理者コントロールモードを終了するには、キーをオフにします。

T600のPRO-PANELコントロール装備モデル

ホーム画面のインターフェースに表示されるユーザーモードは2種類あります。

オペレーターモード -
管理者によって制御された許可と制限の下で本機を運転することができます。
オペレーターモードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンへのアクセスが制限されます（図170 ）。



図　170

管理者モード -
すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機を運転できるほか、オペレーターモードに対する許可と制限やログイン機能を設定することができます。
管理者モードのホーム画面では、本機のセットアップボタンと最大洗浄速度ボタンにアクセスすることができます（図171 ）。

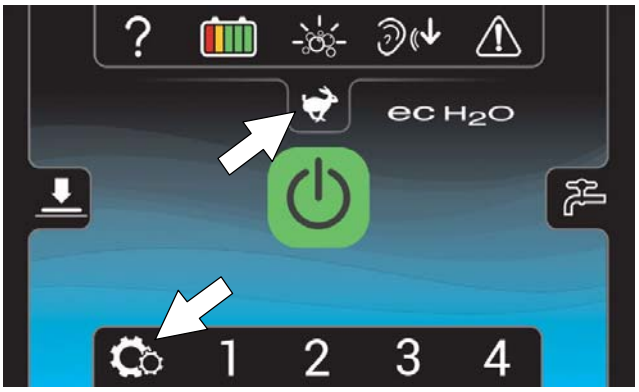


図　171

工場出荷後の初期状態では、本機は事前に割り当てられた管理者プロファイルに基づいた管理者モードで自動的に始動します。
本機の工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードは「1234」です。
このログインコードは有効化されるまで不要です。
初期設定の管理者プロファイル名とログインコードは本セクションで説明したように変更できます。
新規に割り当てられた管理者モードのログインコードを忘れた場合は、リカバリーログインコード「836626826」を使用してください。

管理者モードの入力 -

1. 本機の電源スイッチを入れます。
   本機の始動時にホーム画面が表示されます（図172 ）。 ヘルプボタンを押します。



図　172

2. ログインボタンを押します（図173 ）。

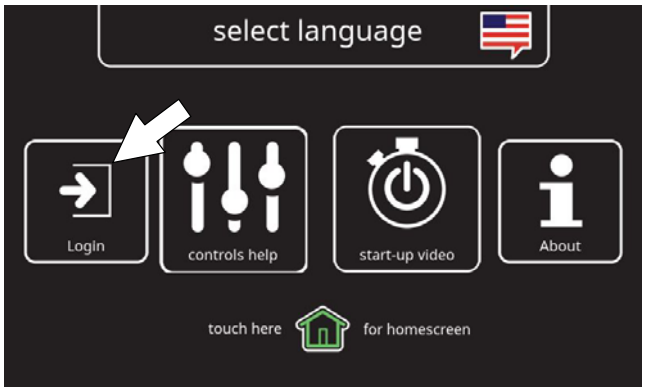


図　173

3. 初回使用 -
   工場出荷時に割り当てられた管理者モードログインコード「1234」を入力して、緑色の入力ボタンを押します (図 174)。

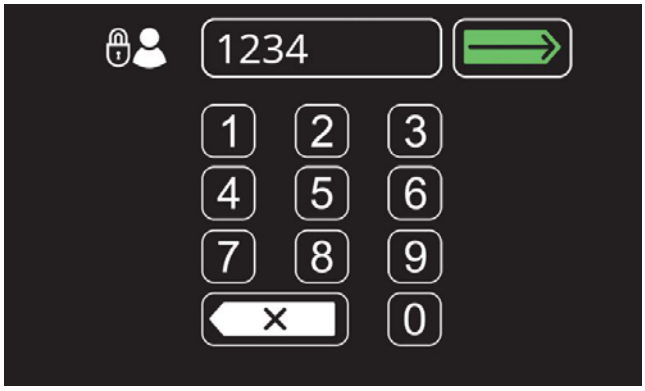


図　174

4. 管理者モードのホーム画面が表示されます (図175)。 本機の設定ボタンを押します。



図　175

5. 本機の設定画面には、以下のメニューへのアクセスが用意されています (図176)。

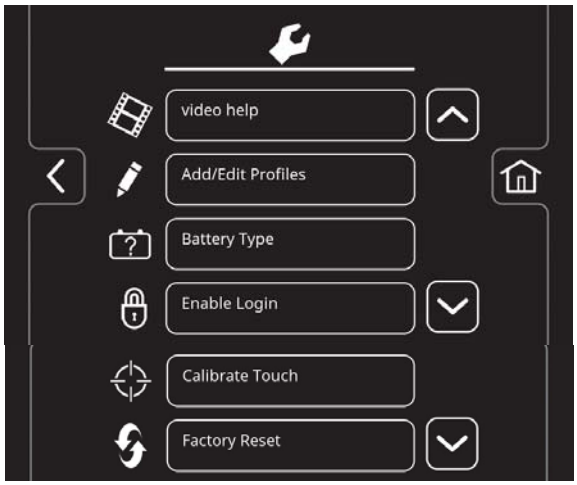


図　176

ビデオに関するヘルプ -
特定の操作とメンテナンスの手順を参照するために使用します。

プロファイルの追加/編集 -
本機の用途に対応するように、ユーザープロファイルを追加/編集するために使用します。

バッテリーの種類 -
異なる種類のバッテリーに対応するように本機を設定するために使用します。
「バッテリー」を参照してください。

ログイン可 -
本機の始動時に、本機を運転するのに必要なログインコードを有効化するために使用します。

タッチ補正アイコン -
タッチポイントの位置ずれがある場合にタッチ画面を補正するために使用します。

工場出荷時の状態にリセット -
管理者ログインコードを工場出荷時のデフォルトコード「1234」にリセットするほか、ユーザープロファイルを削除し、カスタマイズされたプリセットゾーンコントロールボタンを工場出荷時のプリセットゾーンにリセットします。

ユーザープロファイルの追加/編集

1. 「プロファイルの追加/編集」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを入力します（図177）。

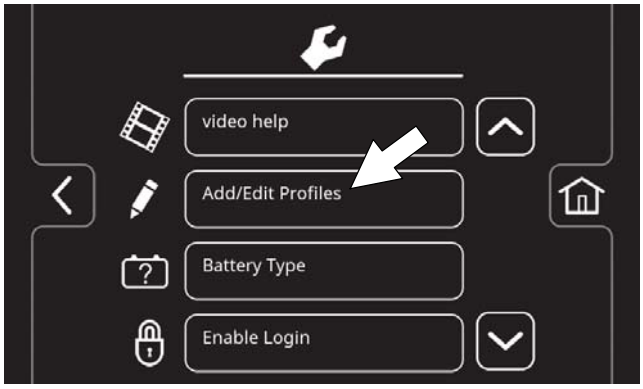


図　177

2. 「プロファイルの追加」ボタンを押して、新規ユーザープロファイルを追加します（図178）。



図　178

プロファイルの編集、コピー、削除ボタンを使用して、現在のユーザープロファイルを管理します。



現在のユーザープロファイルを編集するために押します。



現在のユーザープロファイルをコピーするために押します。



ユーザープロファイルを削除するために押します。

3. オペレーターボタンを押してオペレーターモードを追加するか、管理者ボタンを押して追加の管理者モードプロファイルを追加します（図179）。

注記：
本機のデフォルト管理者プロファイルはプロファイルリストから削除できません。

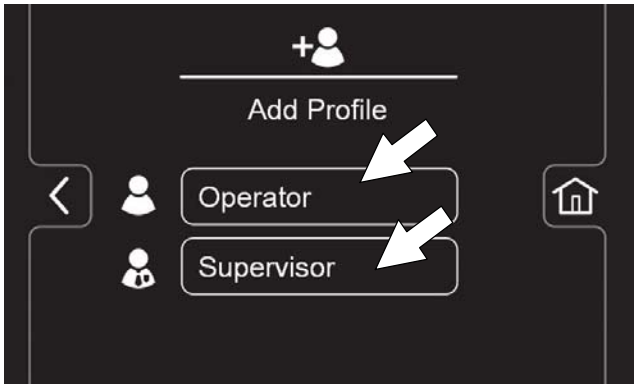


図　179

4. 新規ユーザープロファイルの名前を入力して、緑色の入力ボタンを押します（図180）。



図　180

5. 新規ユーザープロファイルに対してログインコードを割り当て、緑色の入力ボタンを押します（図181）。新しいログインコードは、3～8桁の範囲で任意の組み合わせが可能です。



図　181

6. 使用のアクセス許可を新規ユーザーに与えるコントロールを選択します（図182）。
   緑色はロック解除されたコントロール、灰色はロックされたコントロールを示します。
   点滅している保存ボタンを押して、新規プロファイルを保存します。

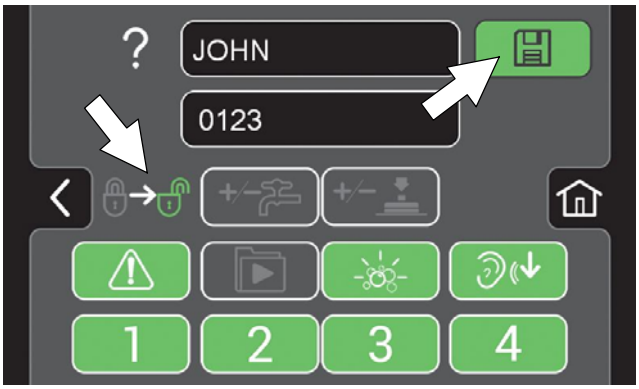


図　182

7. 図に示すように、これでオペレータープロファイルリストに新規ユーザープロファイルが保存されました（図183）。
   複数のオペレーターおよび管理者のユーザープロファイルを追加することができます。
   「戻る」矢印を押して前の画面に戻り、ユーザープロファイルを追加します。

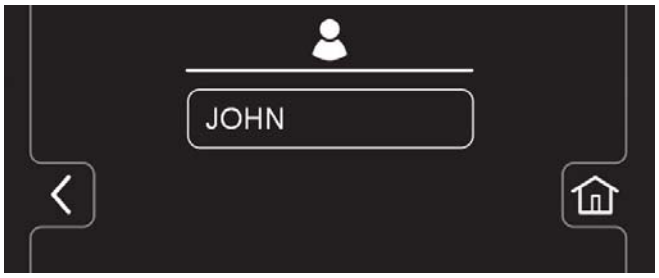


図　183

8. 始動時のログイン画面の有効化（図184）については、「ログインの有効化」を参照してください。

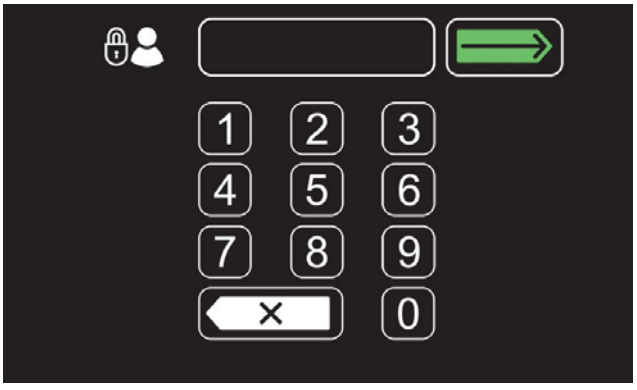


図　184

ログイン画面の有効化

1. 本機の電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします（図185）。
   「管理者モードの入力」を参照してください。

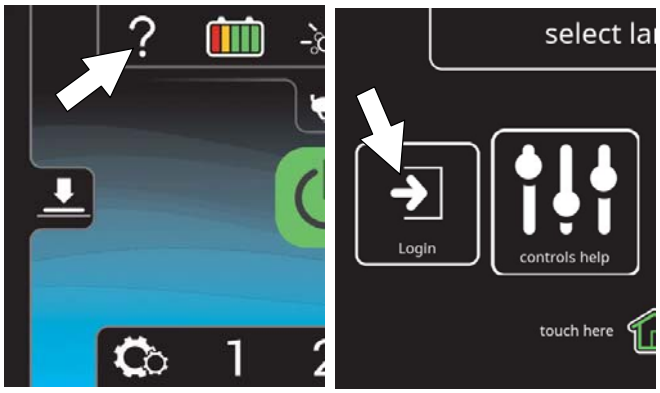


図　185

3. 本機の設定ボタンを押します（図186）。



図　186

4. 「ログイン可」ボタンを押します（図187）。
   「ログイン可」ボタンが、「ログイン可」から「ログイン不可」に変わります。

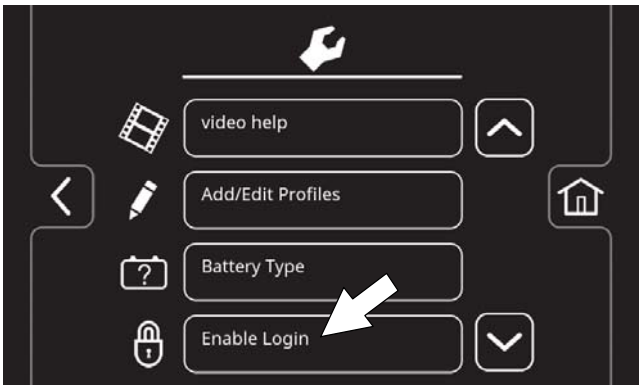


図　187

5　ログインを有効にするために、「はい」ボタンを押します（図 188）。



図　188

6　上記の設定が完了すると、本機の始動時にログイン画面が表示されます（図189）。
ユーザーは本機を操作するためにログインコードを入力する必要があります。

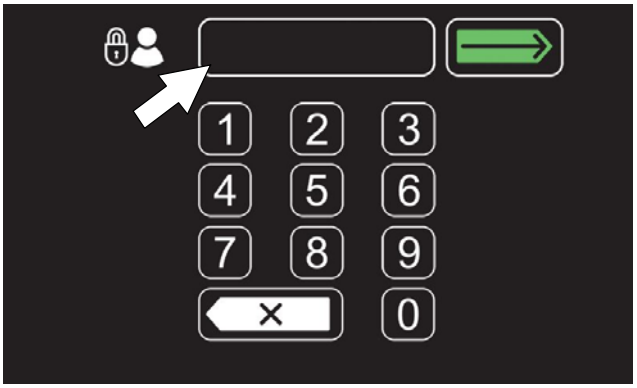


図　189

7. 本機の使用後、ユーザーはヘルプボタンを押してから、ログアウトボタンを押してログアウトすることが推奨されます（図190）。
キーをオフの位置に回してログアウトする方法もあります

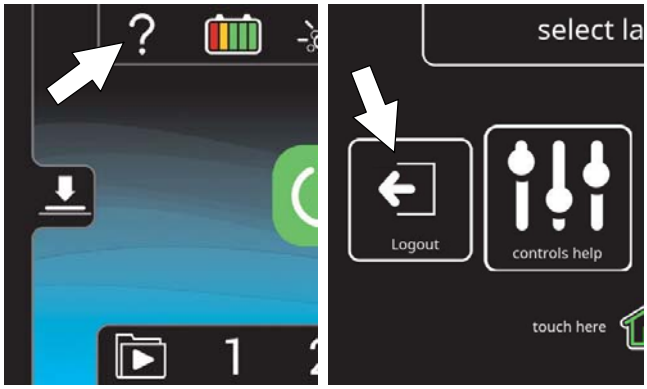


図　190

ログイン画面の無効化

1. 本機の電源スイッチを入れます。
2. ヘルプボタンを押して、管理者モードで本機にログインします（図191）。
「管理者モードの入力」を参照してください。

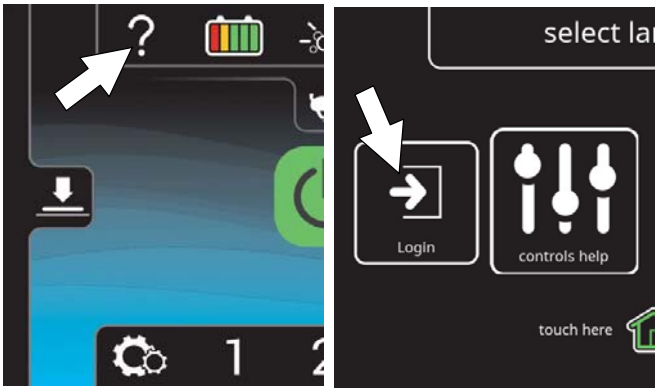


図　191

3. 本機の設定ボタンを押します（図192）。



図　192

4. 「ログイン不可」ボタンを押します（図193）。

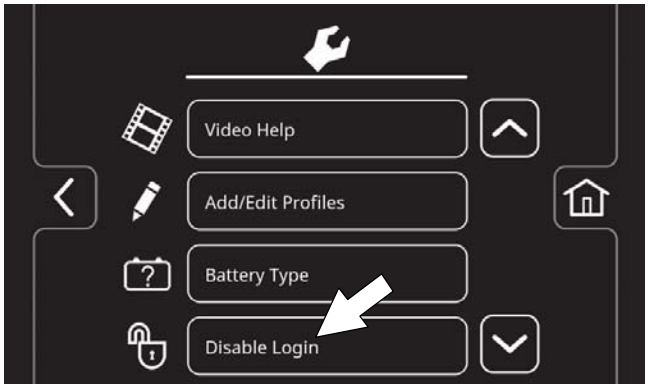


図　193

5 「はい」ボタンを押して、始動時でのログインを無効化します（図194）。



図 194

6 「オペレーター」ボタンまたは「管理者」ボタンのいずれかを押して、ログインなしのデフォルトのホーム画面として希望するユーザープロファイルを選択します（図195）。

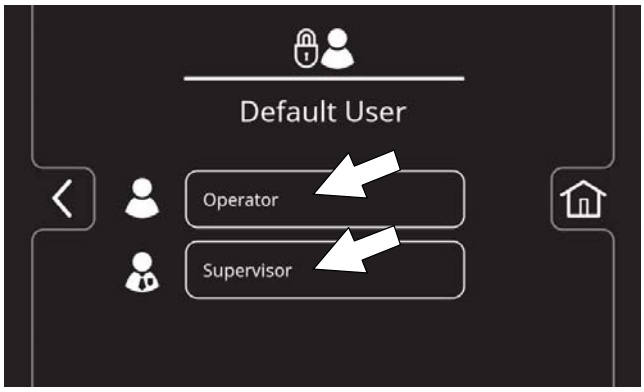


図 195

7. 事前に割り当てられたユーザープロファイルを選択します。
この例では、オペレータープロファイル「JOHN」が選択されています（図196）。
キーをオフにして設定を適用します。

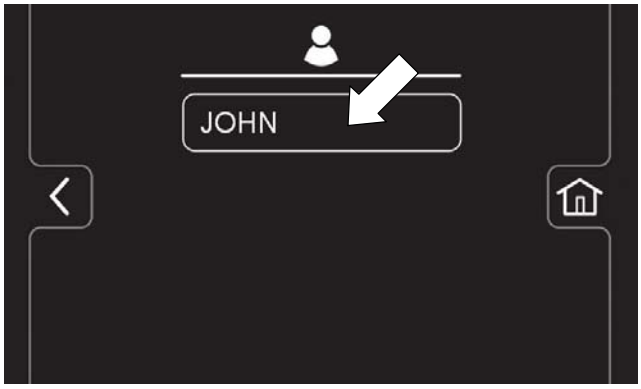


図 196

8. これで本機の始動時にログイン画面は、ログインなしのデフォルトとして希望するユーザープロファイルの設定が適用されます。

注記：
ログインなしのデフォルトホーム画面として異なるユーザープロファイルに変更するには、ログインを再度有効化して、ログイン指示を再度無効化する必要があります。

工場出荷時に割り当てられた管理者ログインコードの変更

1. 本機の設定ボタンを押します（図197）。



図　197

2. プロファイルの追加/編集ボタンを押します（図198）。

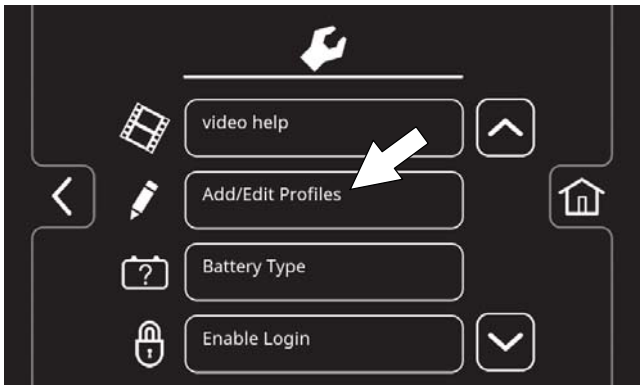


図　198

3. プロファイルの編集ボタンを押します（図199）。

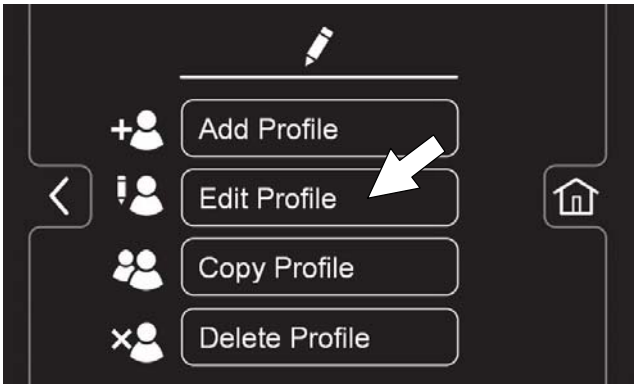


図　199

4. 管理者ボタンを押した後、デフォルト管理者ボタンを押します（図200）。

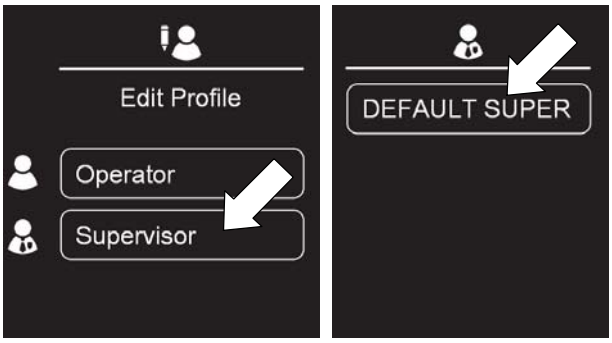


図　200

5. 工場出荷時に割り当てられたログインコードを押して、新規のログインコードを入力します（図201）。
   点滅している保存ボタンを押して、新規のログインコードを保存します（図）。

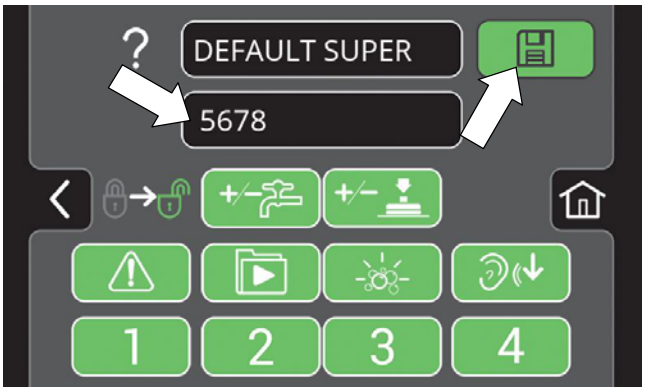


図　201